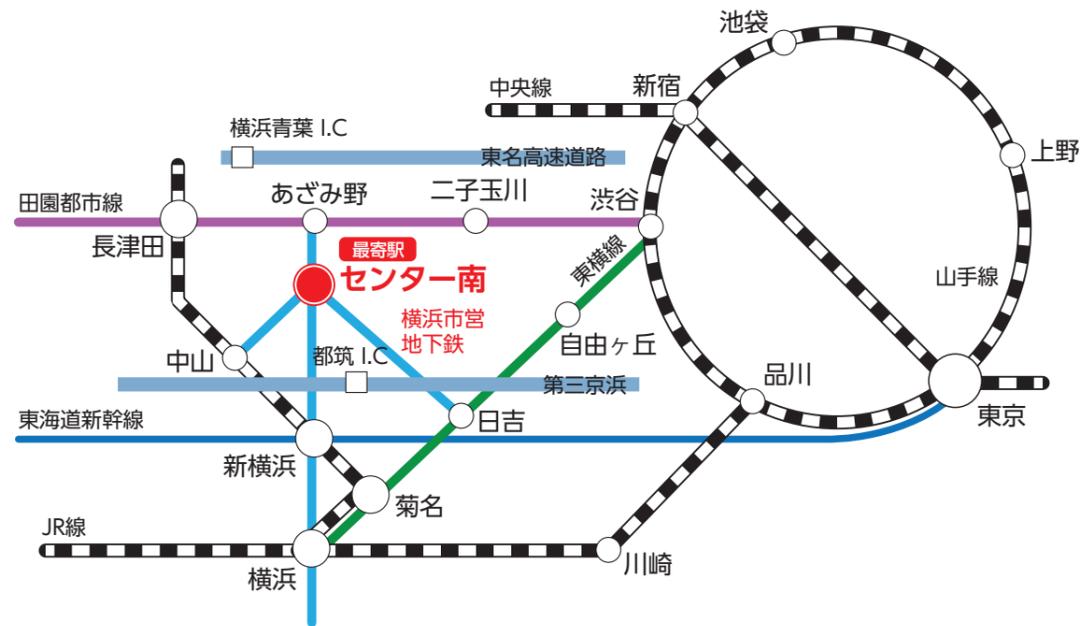


# 交通アクセス

## 電車でお越しの方

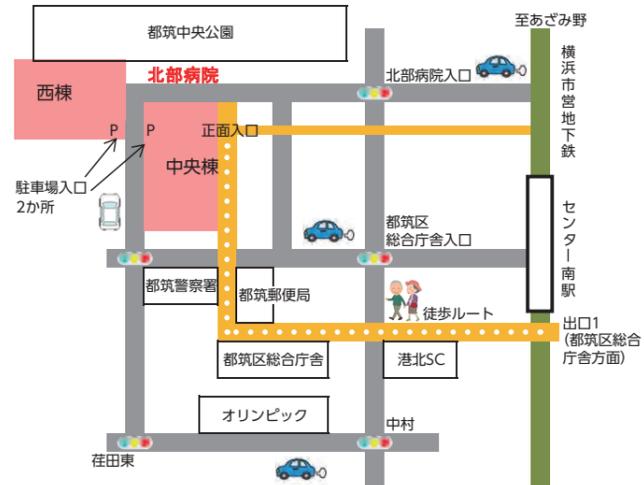


## 車でお越しの方



■ 都筑ICから約10分
 ■ 港北ICから約13分
 ■ 横浜青葉ICから約15分

## 病院周辺地図



■ 徒歩：センター南駅 出口1を出て右方向へ進むと右手奥に見えてきます



**昭和医科大学**  
**横浜市北部病院**

〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

TEL 045-949-7000(代表) FAX 045-949-7117

<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

2025年 診療科ガイド

# 診療科

## — 2025 —

# ガイド



昭和医科大学横浜市北部病院



**昭和医科大学**  
**横浜市北部病院**

至誠一貫

「まごころ」を尽くし、質の高い医療人を育成する

かけがえのない心身をゆだねられることは、  
本院への深い信頼と期待のあらわれである。  
本院はこの信頼や期待に応えることをもって目標とし、  
患者さんの権利や尊厳を守り、  
患者さんとともにチーム医療を実践する。  
本学創設の理念である“至誠一貫”の精神のもと、  
全スタッフが協力して他に誇れる品格をもつ病院を目指し、  
本院は

1. 常に心のこもった病院でありつづける
2. 無事故の病院になる
3. 現在のぞみうる最高の医療をおこなう

昭和医科大学横浜市北部病院の基本方針  
（“本院の理念”を実現させるための具体的な方策）

- 患者さんの権利や尊厳を守ることを義務とする
- 医療安全を他の全ての業務よりも優先する
- まごころを持って患者さんと共にチーム医療を実践する
- 病院全体がひとつのチームとなり患者さんの信頼や期待に応える
- 専門家がひとりの心ある人として最善をつくし未来への希望を贈る
- 最新の知識と技術をもって世界のどこにも劣らない医療を提供する
- 地域中核病院としてその役割をはたしながら学び、工夫しながら成長する

# 目次

昭和医科大学 建学の精神／昭和医科大学横浜市北部病院の理念・基本方針	
病院長からのご挨拶	2
TOPICS	3
病院概要	8

## 診療科紹介

呼吸器センター	10	内科	44
消化器センター	13	皮膚科	48
循環器センター		放射線科・放射線治療科	50
【心臓血管外科】	17	臨床病理診断科	53
【循環器内科】	19	外科	55
甲状腺センター	22	乳腺外科	58
こどもセンター		脳神経外科	60
【小児科・小児外科・新生児科】	25	整形外科	62
脳血管センター		産婦人科	66
【脳卒中科】	28	泌尿器科	69
女性骨盤底センター	30	眼科	72
メンタルケアセンター	32	耳鼻咽喉科	75
救急センター(ER)	37	麻酔科	77
緩和ケアセンター		歯科麻酔科	80
【緩和医療科】	38	リハビリテーション科	82
臨床遺伝・ゲノム医療センター	41	病院歯科	84

## 診療・検査の予約

医療機関からの緊急受診(Dr to Dr)	88
緊急受診(Dr to Dr)での来院	89
紹介患者の外来予約	90
医療機関からの検査予約／地域連携医療協力機関制度	91
診療情報提供書	
CT検査依頼書	
MRI検査依頼書	
PET／CT検査依頼書	
骨塩定量検査依頼書	
シンチ検査依頼書	

交通アクセス(裏表紙)

## 病院長からのご挨拶



昭和医科大学横浜市北部病院  
病院長 坂下 暁子

4月1日より、学校名が昭和大学から昭和医科大学に変更になったことに伴い、当院も「昭和医科大学横浜市北部病院」と改称いたしました。サイネージも一新し、書体も変更いたしました。開院から25年の節目を迎えるこの機会に、新たな気持ちで新年度をスタートしております。

この診療科ガイドは2017年11月に創刊し、毎年新しいメンバーや診療実績をご紹介するために、新年度の少し落ち着いた時期にお届けしています。年4回発行の「地域医療連携ニュース」や毎月の「病院だより」も併せてご覧いただければ幸いです。

当院が所在する都筑区は、子育て世代が多く、横浜市内でも最も平均年齢が若い地域のひとつです。しかしながら、今後短期間で急速に高齢化が進むことが予測されており、それに伴い、がんや心疾患患者さんの増加、すでに増加している誤嚥性肺炎や転倒・骨折による入院患者さんのケアと地域への円滑な復帰が大きな課題となっています。昨年度、都筑区医師会のご協力を得て、「ほくたいネット」という退院困難な患者さんについて共に考える場を設けていただきました。顔の見える関係を築きながら、地域包括ケアシステムをより一層有効に活用していきたいと考えております。

この診療科ガイドの後ろのページに記載されている「医療機関からの緊急受診 (Dr to Dr)」は、当院が最も重視している重要なシステムです。緊急を要する患者さんについて、地域の医療機関の先生方と当院の医師が直接お電話でご相談いただく仕組みになっております。Dr to Drを通じてご紹介いただく患者さんは、しばしば緊急入院に至るケースも多く、横浜市北部医療圏の急性期医療を担う中核病院として、今後も受け入れをお断りすることなく、より一層改善に努めてまいります。引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# TOPICS

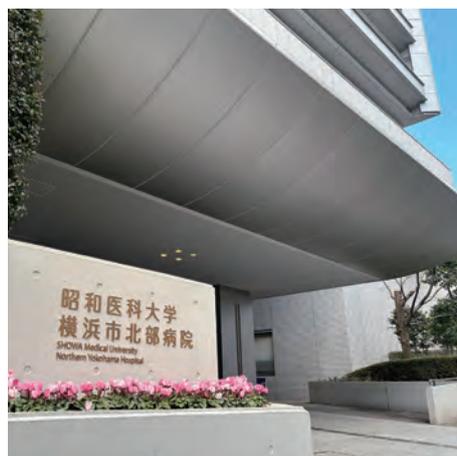
当院では「地域医療連携ニュース」を年4回（1月、4月、7月、10月）、外来予定表や病院だよりとともに地域医療機関のみなさまにお送りし、新任の診療科長からのご挨拶や病院の最近の取組などをご紹介します。

今後も様々な情報を発信してまいりますので、どうぞご覧ください。



## 病院名が変わりました

令和7年4月1日から、昭和大学は昭和医科大学に校名を変更し、当院は昭和医科大学横浜市北部病院となりました。地域医療機関の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 新任 診療科長

### 脳神経外科

### 診療科長・教授



わだ あきら  
和田 晃

卒業 昭和大学 平成8年卒

専門 脳血管障害、脳腫瘍  
顔面けいれん  
三叉神経痛

## 新規導入医療機器

### MRI装置

令和6年9月に、新規MRI装置「MAGNETOM Vida(3.0T)」を導入しました。本装置は、Bio Matrixテクノロジーを搭載しており、被検者が寝台に横たわるだけで自動的に呼吸や体動を検出し、スキャンに反映することができます。また、AI技術を活用した画像再構成により、ノイズを低減しながら解像度を向上させ、短時間で高精細な画像が取得できます。

心臓MRIでは「T1 mapping」が可能となり、心筋の線維化や異常を定量的に評価できます。これにより、拡張型心筋症や心アミロイドーシスなどの早期診断が可能となりました。さらに超高速脂肪抑制 T1強調像は、背景乳腺の影響を受けず病変の早期濃染を観察することが可能となりました。



MAGNETOM Vida

### X線透視装置

令和6年8月に、新規X線透視装置「CUREVISTA Apex」を導入しました。本装置は、X線管アームの動きを従来の装置で行っていた水平方向の「縦」「横」移動とは別に、X線管アームを頭尾方向および左右方向に角度を振って検査することが可能となり、被検者を動かす必要がなくなりました。また、透視画像の残像を抑える画像処理「局所動体追従型残像低減処理」や微細なガイドワイヤーの視認性を向上させる画像処理「HIREZOOM」などが追加され医師が手技をする際のガイドワイヤーなどデバイスの視認性が向上しました。被ばく低減技術「IntelliFRAME(フレーム補間処理)」では、透視画像の前後フレームより補間画像を生成することで、透視パルスレートを7.5パルス/秒に設定しても15フレーム/秒相当で表示するため、被ばく線量は、15パルス/秒設定時の半分にすることが可能となりました。



CUREVISTA Apex

### X線撮影装置

令和7年2月、新規撮影装置「DR BENE0-eX」「DR CALNEO Flow」「DR CALNEO GL」を導入しました。「DR BENE0-eX」は、多用途で効率的なデジタルX線撮影システムで、高度な画像処理技術により、撮影から診断までの時間を短縮し、患者さんの検査待ち時間の減少が可能となります。「DR CALNEO

Flow]はFPD装置で、高感度な薄型フィルムTFT基板の採用により低線量での撮影が可能となり、患者さんの放射線被ばく量を軽減できます。「DR CALNEO GL」は、長尺撮影に特化したデジタルX線撮影装置で、最大49インチの撮影面を持ち、全脊椎や全下肢を一度の撮影で確認可能です。また、画像ノイズを抑える画像処理技術により、鮮明な診断画像が提供可能となります。この3つの装置を組み合わせることで、一般的なX線撮影から特殊な長尺撮影まで、多様なニーズに対応可能となり、撮影時間の短縮や効率的な運用が可能となります。



DR BENE0 eX



DR CALNEO Flow



DR CALNEO GL

### 紫外線治療器(皮膚科)

皮膚科では新たに、ウシオ電機製の光線療法機器「セラビーム」を導入しました。本機は308nmのターゲット型紫外線照射が可能で、尋常性白斑、乾癬、アトピー性皮膚炎、悪性リンパ腫等の治療に有効です。従来機に比べ高効率なLED光源を採用し、短時間で安定した照射が可能で、患者さんへの負担も軽減されます。局所療法が必要な症例に幅広く対応できるため、他医療機関の先生方にもぜひ患者さんをご紹介頂ければと思います。



### パルスレーザー手術装置(眼科)

眼科では、新たに眼科用パルスレーザー手術装置「TANGO N-TW」(ルミバードメディカルジャパン)を導入しました。本装置は、後発白内障に対するYAGレーザー治療、および、開放隅角緑内障に対するSLT(選択的レーザー線維柱帯形成術)を高精度に施行可能です。低エネルギーで低侵襲な緑内障治療であり、患者さんの負担軽減が期待できます。



TANGO N-TW

## 最近の主な取組

最近の地域医療連携ニュースから、トピックスをご紹介します。

### 女性の健康を支える：婦人科腫瘍治療、再始動！

婦人科がんは増加傾向であり、特に子宮体がんと卵巣がんは増加しています。また、近年のHPVワクチンの接種不良により子宮頸がんも再増加しています。

地域の皆様にとって、婦人科腫瘍の診療および治療へのアクセスが容易にできることは極めて重要であり、この度婦人科腫瘍専門医・指導医の着任に伴い、婦人科腫瘍診療を本格的に再開いたしました。リニューアルな気持ちで再スタートし、まずは、早期子宮体癌に対するロボット支援下手術や婦人科癌における化学療法(分子標的薬も含めた)などを開始していきます。

その中で、地域の健康と幸福を第一に考え、患者さん中心のケアを提供し地域のニーズに応えることを使命としながら双方向性のある密な連携をとっていきたいと考えています。地域の患者さんのニーズを理解し、その中で最高水準の医療サービスを提供するように全力を注いでいきます。また、患者さんとその家族が安心して医療サービスが受けられるように医療に関わるスタッフ全員で、全力でサポートし、共に歩んでいきたいと考えています。

〈地域医療連携ニュース 2024年7月号掲載〉

### 助産師による妊婦健診(ローリスク外来)を開始しました



マタニティハウスでは、妊娠36週以降の正常な妊娠経過をたどられている妊婦さんを対象に助産師による妊婦健診(ローリスク外来)を開業いたしました。医師による健診と同様に、助産師が胎児エコーや診察を行い妊娠経過を把握します。その上で、妊婦さんが主体的に妊娠・分娩・産褥期を過ごせるように、それぞれの妊婦さんに合わせた継続的なケア提供を行っています。具体的には、健診時間にゆとりがあるため、リラックスした雰囲気の中で、ご家族と一緒に健診を受けていただくことができます。そのため、ご家族と一緒に赤ちゃんのエコー画像をゆっくりと見ることができたり、バースプランや分娩中の過ごし方などを一緒に考えたりすることが

できます。妊娠中はマイナートラブルや心配事が尽きないと思います。ぜひ、助産師による妊婦健診(ローリスク外来)をご活用いただき、助産師に何でもご相談ください。

〈地域医療連携ニュース 2024年7月号掲載〉

## 小児臍ヘルニアの土曜日 日帰り手術を開始しました

臍ヘルニアの80~90%は自然治癒するとされていますが、残りの10~20%は自然軽快せず、症状が残存します。そのような場合、当院では2歳を目安に手術をお勧めしております。当院での臍ヘルニア手術は火~木曜、木~土曜の2泊3日の入院で行っていましたが、2024年3月から土曜日の日帰り手術も選択できるようになりました。土曜日ですと、両親ともに仕事がお休みの家庭もあり、ご好評をいただいております。安全性については麻酔科を含めた関連部門と十分な協議をしたうえでシステムを構築しましたので、安心して手術を受けることができます。現在、第2週と第5週土曜日に臍ヘルニア日帰り手術を行っております。臍ヘルニアのお子さんがおられましたら、是非とも当院へのご紹介をお願いします。

〈地域医療連携ニュース 2024年7月号掲載〉

## アルツハイマー病治療薬 レカネマブによる治療を開始しました

当院ではアルツハイマー病による軽度認知機能障害(Mild Cognitive Impairment:MCI)および軽度認知症の患者さんに抗アミロイドβプロトフィブリル抗体、レカネマブによる治療を行います。レカネマブは脳内のアミロイドβの蓄積を取り除きアルツハイマー病の進行を抑制する点滴による薬物治療です。

当院では、脳神経内科(内科)と精神科(メンタルケアセンター)の専門の医師が診断や導入の判断を行います。初期導入施設として脳内のアミロイドβ沈着を確認するためにアミロイドPETと腰椎穿刺検査の双方を行うことができ、初回投与は内科病棟に2泊3日の入院を行い実施します。2回目以降は2週毎に外来で行います。

対象はMCIや軽度の認知症に限定されるため、MMSE得点が21点以下またはCDRが1.5以上の重症の患者さんや、レビー小体型認知症などアルツハイマー病以外の認知症は対象となりません。また微小脳出血等の副作用対応のためMRIの実施が必須となります。

現在、ご紹介を受けるための専門の窓口やフォローアップ機関との連携整備を進めています。詳しくはホームページに掲載していきますので随時ご確認ください。

〈地域医療連携ニュース 2024年10月号掲載〉

## 特定行為研修を行う指定研修機関になりました

2025年4月より、昭和医科大学横浜市北部病院が特定行為研修の指定研修機関として研修を開始します。本研修は、集中治療・手術麻酔・外科領域に特化し、看護師が医師の指示のもとで高度な医療行為を実践する能力を養うものです。

看護師による特定行為の導入により、患者さんは迅速な処置を受けられ、救命率の向上や治療の質の改善が期待されます。さらに、手術前後の管理が充実することで、痛みの軽減や早期回復にもつながります。医療チームの連携が強化されることで、安全で質の高い医療が提供され、患者さんが安心して治療を受けられる環境が整います。

本研修を通じて、重症管理や周術期ケアの向上を図り、地域医療の質を高めるとともに、医師と看護師の協働をより一層強化することを目指します。

〈地域医療連携ニュース 2025年4月号掲載〉

# 病院概要

名称	昭和医科大学横浜市北部病院
所在地	〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
電話番号	TEL：045-949-7000(代表) FAX：045-949-7117
URL	<a href="https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html">https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html</a>
病院長	坂下 暁子
副院長	緒方 浩顕、川崎 恵吉、池田 裕一
研修管理委員長	緒方 浩顕
開院年月	平成13年4月1日
許可病床数	689床
診療部門	呼吸器センター、消化器センター、循環器センター、甲状腺センター、こどもセンター、脳血管センター、女性骨盤底センター、メンタルケアセンター、救急センター(ER)、緩和ケアセンター、内科、皮膚科、放射線科、臨床病理診断科、外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、病院歯科、歯科麻酔科
特別診療施設	救急センター、緩和ケア病棟、メンタルケア病棟、国際消化器内視鏡研修センター
外来患者数	333,465人、1日平均 1,157.9人(2024年度)
入院患者数	216,335人、1日平均 592.7人(2024年度)
平均在院日数	10.3日(2024年度)
平均病床利用率	86.0%(2024年度)
手術件数	11,168件(2024年度)
分娩数	1,075件(2024年度)
剖検数	15件 剖検率 1.9%(2024年度)
救急患者数	10,790人(救急搬送数：6,671人 ウォークイン患者数：4,119人)(2024年度)
認可事項	(財)日本医療機能評価機構病院機能評価認定 NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定 地域がん診療連携拠点病院 地域医療支援病院 災害拠点病院
選定療養費	初診に係る特別の料金 再診に係る特別の料金 救急外来にかかる緊急性を要しない(いわゆる軽症)患者の時間外受診 予約診察による特別の料金(女性相談外来：特別予約診療) 特別の療養環境に係る料金 入院医療の必要性のない方で180日以上(老人は90日)の入院をされる方 制限回数を超える医療行為 水晶体再建術に使用する多焦点眼内レンズ 診療報酬に掲げる療養以外で間歇スキャン式持続血糖測定器の使用をされる方

# 診療科紹介

- 呼吸器センター
- 消化器センター
- 循環器センター
- 甲状腺センター
- こどもセンター
- 脳血管センター
- 女性骨盤底センター
- メンタルケアセンター
- 救急センター (ER)
- 緩和ケアセンター
- 臨床遺伝・ゲノム医療センター
- 内科
- 皮膚科
- 放射線科・放射線治療科
- 臨床病理診断科
- 外科
- 乳腺外科
- 脳神経外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 麻酔科
- 歯科麻酔科
- リハビリテーション科
- 病院歯科

※スタッフは4月1日現在

# 呼吸器センター

## センター長/呼吸器外科診療科長・教授



きた み あき ひこ  
北見 明彦

卒業	昭和大学 昭和62年卒
専門	呼吸器外科学
資格	日本外科学会：外科指導医・代議員 日本胸部外科学会：学会認定指導医 日本呼吸器外科学会：終身日本呼吸器外科学会指導医 日本呼吸器内視鏡学会：気管支鏡指導医 同学会関東支部：幹事 日本気胸・嚢胞性疾患学会：評議員・監事 胸腔鏡安全技術認定医 ほか

## 呼吸器内科診療科長・教授



まつ くら さとし  
松倉 聡

卒業	昭和大学 平成4年卒
専門	呼吸器内科学
資格	日本内科学会：総合内科専門医・内科指導医 日本呼吸器学会：呼吸器専門医・呼吸器指導医 日本アレルギー学会：アレルギー専門医・本学会認定指導医

## 診療内容・特色

呼吸器センターは内科と外科が一体となり、呼吸器疾患に対する診断および治療を迅速かつ適確に行っています。特に肺癌を含む胸部悪性腫瘍には、センターの和を活かし一丸となって手術治療、癌化学療法、放射線治療などの集学的治療について積極的に取り組んでいます。

内科が担当する疾患では気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、感染症、原発性肺癌、間質性肺炎が多く、入院治療では肺癌の薬物療法が最多です。外来診療では遷延性・慢性咳嗽の早期かつ的確な診断と治療、病診連携を重視しております。

一方外科は、原発性肺癌や転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、自然気胸などの手術を中心に、胸部外傷に対する外科治療、気道腫瘍に対するレーザー治療などにも取り組んでいます。最近では外科手術の低侵襲化の流れに乗り、完全胸腔鏡下手術に加え、肺癌や縦隔腫瘍に対するロボット支援下手術の件数も増加しています。

日々のカンファレンスはもとより、画像と病理の対比を主目的としたChest Conference、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士など多業種合同で行う呼吸器センター全体での症例検討会などを通じ、日常臨床の質の向上を目指しています。

## 主な対象疾患

原発性肺癌、転移性肺腫瘍、肺炎、間質性肺炎、気管支喘息、アレルギー性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、胸部外傷、縦隔気腫、乳び胸

## スタッフ

### 准教授



うえまつ しゅうご  
植松 秀護

卒業 昭和大学 平成16年卒

専門 呼吸器外科学

### 講師



すずき こうすけ  
鈴木 浩介

卒業 昭和大学 平成17年卒

専門 呼吸器外科学

氏名	卒業	専門
講師 はやし まこと 林 誠	昭和大学 平成17年卒	呼吸器内科学
助教 かきうち ゆうすけ 柿内 佑介	昭和大学 平成24年卒	呼吸器内科学
助教 さかい しょうご 酒井 翔吾	昭和大学 平成25年卒	呼吸器内科学
助教 たかの けんじ 高野 賢治	日本医科大学 平成27年卒	呼吸器内科学
助教 たかみや しんのすけ 高宮 新之介	昭和大学 平成27年卒	呼吸器外科
助教 たきしま ひろやす 瀧島 弘康	昭和大学 平成28年卒	呼吸器内科学
助教 きしの そうま 岸野 壮真	昭和大学 平成30年卒	呼吸器内科学
助教 おかだ ももか 岡田 桃華	東京女子 医科大学 令和1年卒	呼吸器外科学

氏名	卒業	専門
助教 みつなり たくや 三成 卓也	昭和大学 令和2年卒	呼吸器内科
助教 きし けいたろう 岸 啓太郎	昭和大学 令和3年卒	呼吸器内科
助教 こみやま しんさく 込山 新作	昭和大学 令和3年卒	呼吸器外科
助教 はるき はるな 春木 陽菜	山口大学 令和4年卒	呼吸器内科
助教 小澤 桃子	東京医科大学 令和5年卒	呼吸器内科
助教 本村 将	昭和大学 令和5年卒	呼吸器外科
助教 山田 貴久	昭和大学 令和5年卒	呼吸器内科

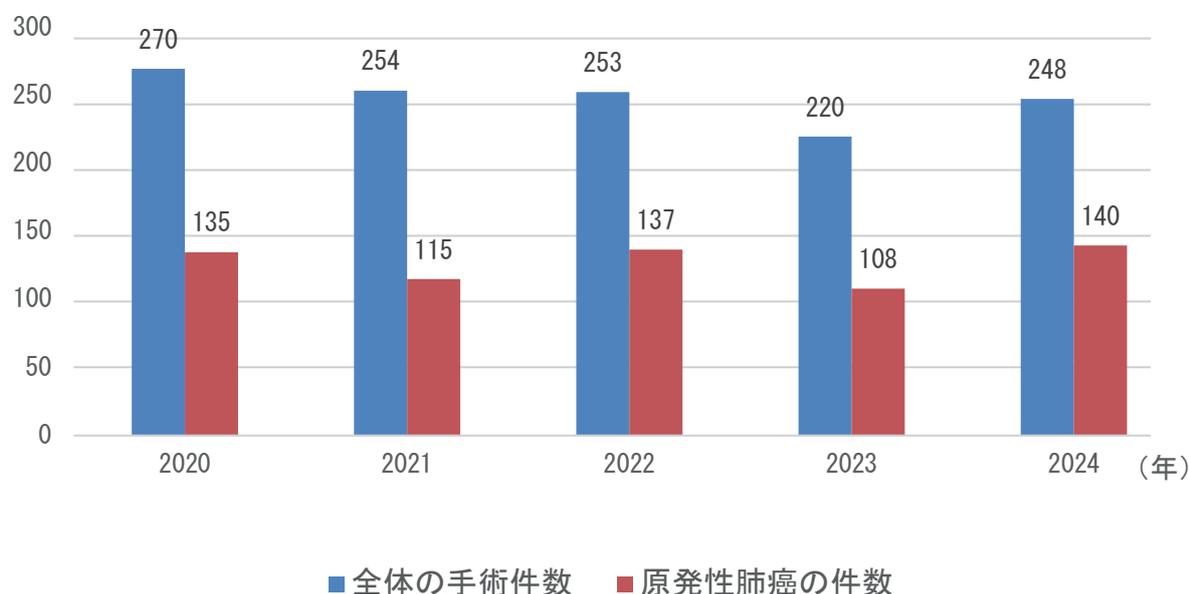
# 呼吸器センター

## 主な診療実績等

●2024年度 手術実績 計248例

原発性肺癌	140例	胸壁腫瘍	1例
転移性肺腫瘍	10例	肺感染症・膿胸	3例
縦隔腫瘍	16例	生検	12例
気胸嚢胞性肺疾患	42例	その他	20例
良性肺結節	4例		

### 全身麻酔下手術・原発性肺癌手術の件数



- 2024年度 気管支鏡検査件数は312件であり、例年300件を超える件数を実施しています。呼吸器内科では、肺癌に対して、抗癌剤、放射線治療を組み合わせた最新の治療を行っています。当センターでの原発性肺癌治療の新規導入は、例年100例を超えています。2024年の累積実績は900例を超えました。また肺癌以外では、気管支喘息などのアレルギー性肺疾患、呼吸器感染症、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患などを中心に治療を行っています。

# 消化器センター

## センター長／特任教授



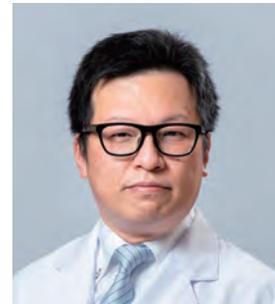
く どう しん えい  
工藤 進英

## 消化器内科診療科長・教授



ば ば とし ゆき  
馬場 俊之

## 消化器外科診療科長・准教授



さわ だ なる ひこ  
澤田 成彦

消化器センター  
診療科紹介

卒業	新潟大学 昭和48年卒
専門	消化器内視鏡学 大腸癌診断・治療
資格	日本大腸検査学会：理事長 日本消化器内視鏡学会：名誉会員 日本消化器病学会：功労会員 日本内視鏡外科学会：特別会員 大腸癌研究会：名誉会員 日本消化器癌発生学会：特別会員 日本消化管学会：功労会員 Fellow of the American Gastroenterological Association Member of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy Member of the European Association for Gastroenterology and Endoscopy 他

卒業	昭和大学 平成3年卒
専門	消化器内科学(肝臓、門脈圧亢進症)
資格	日本内科学会：認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会：消化器病指導医・消化器病専門医・関東支部評議員 日本消化器内視鏡学会：消化器内視鏡指導医・消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会：肝臓学会指導医・肝臓専門医・東部会評議員 日本門脈圧亢進症学会：評議員・技術認定医(内視鏡) 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本医師会認定産業医・健康スポーツ医 共用試験医学系臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会修了 臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了

卒業	徳島大学 平成7年卒
専門	消化器外科学 腹腔鏡手術(胃・大腸) ロボット支援手術
資格	日本外科学会：外科指導医・外科専門医 日本消化器外科学会：消化器外科指導医・消化器外科専門医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会：消化器病指導医・消化器病専門医 日本消化管学会：胃腸科指導医・胃腸科専門医 日本内視鏡外科学会：技術認定医・評議員 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医・暫定教育医 ICD 制度協議会：インフェクションコントロールドクター(ICD) 日本職業・災害医学会：海外勤務健康管理指導者 日本医師会認定産業医 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医 日本抗加齢医学会：抗加齢専門医 日本大腸検査学会：評議員 日本腹部救急医学会：評議員 Certificate of da Vinci Technology Training as a Console Surgeon 臨床研修指導医 緩和ケア講習会修了

## 主な対象疾患

- 食道疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、感染性・薬剤性食道炎、早期食道癌
- 胃・十二指腸疾患：胃潰瘍、胃炎(ヘリコバクテリア胃炎を含む)、胃悪性リンパ腫、早期・進行胃癌、十二指腸潰瘍、十二指腸腫瘍
- 大腸疾患：早期・進行大腸癌、感染性腸炎、腸結核、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、腸管ペーチェット
- 肝疾患：急性肝炎、慢性肝疾患(B型肝炎、C型肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、アルコール性肝障害)、非アルコール性脂肪性肝疾患、肝硬変(食道胃静脈瘤、腹水、肝性脳症)、原発性肝癌、転移性肝癌、肝内胆管癌
- 胆道疾患：急性胆嚢炎、急性胆管炎、閉塞性黄疸、胆石、胆嚢ポリープ、胆嚢癌、胆管癌、十二指腸乳頭部腫瘍
- 膵疾患：急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵管内乳頭状粘液腫瘍、膵癌

# 消化器センター

## 診療内容・特色

消化器センターでは、最小の負担で最大の効果をあげるため、内科と外科が協力し、診断から治療までシームレスな医療を実現しています。特に消化管領域は、大腸を中心に最新の内視鏡による早期発見と、根治性を損なわない限り内視鏡治療や腹腔鏡手術による最小の負担を目指しており、患者さんにやさしい、質の高い医療を心がけています。

上部・下部内視鏡は、それぞれ年間6000～7000件以上の検査を行っています。下部内視鏡には、当センターで開発したAIによる内視鏡画像診断支援ソフトウェア(EndoBRAINシリーズ)を導入し、より精度の高い腫瘍性病変の検出、深達度診断を行っています。内視鏡的粘膜下層切除術(ESD)は、胃、大腸を中心に年間200～300件以上を行っており、咽頭、食道、十二指腸と難易度が高い臓器にも対応しています。外科手術は、胃・大腸悪性腫瘍を中心に年間500件以上の手術を行っており、特に大腸の腹腔鏡手術率は86%を達成しております。また、2023年より胃がん・大腸がんに対するロボット支援手術も導入しました。なお、内視鏡治療や外科治療で根治が得られない進行癌には、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害を併用したがん薬物療法を行っており、ゲノム医療連携病として遺伝子パネル検査も行っています。

肝胆膵疾患にも柔軟に対応しており、胆道感染症や閉塞黄疸に対し、年間300件以上の内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)による胆道ドレージを行っており、内科と外科が協力して原因疾患の治療を行っています。胆嚢摘出術は年間200件以上行っており、殆どが腹腔鏡手術です。また、肝疾患にも幅広く対応し、慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌、門脈圧亢進症の治療を行っています。

近隣でご開業の先生方とは、Dr to Drや連携勉強会(新型コロナウイルス感染対策のため開催を見送っていますが、今後開催を計画しています)を通して連携を図り、患者さんが地域で継続性のある適切な医療を受けられるように努めていきたいと思っています。

## スタッフ

准教授

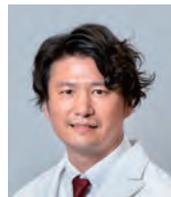


え なみ ゆう た  
榎 並 延 太

卒業 昭和大学 平成7年卒

専門 消化器外科学(肝胆膵)

准教授



わ か む ら く に ひ こ  
若 村 邦 彦

卒業 昭和大学 平成14年卒

専門 消化器内科学、がん化学療法

講師



は や し た け ま さ  
林 武 雅

卒業 昭和大学 平成14年卒

専門 消化器内科学、消化器内視鏡治療

講師

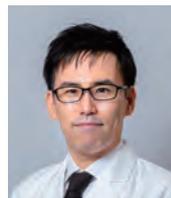


お が た の り ゆ き  
小 形 典 之

卒業 金沢大学 平成16年卒

専門 消化器内科学、炎症性腸疾患

講師



み さ わ ま さ し  
三 澤 将 史

卒業 新潟大学 平成17年卒

専門 消化器内科学、AI診断

講師



い ち ま さ か つ ろ う  
一 政 克 朗

卒業 東北大学 平成19年卒

専門 消化器内科学、AI診断

講師



まえだ やすはる  
**前田 康晴**

卒業	滋賀医科大学 平成20年卒
専門	消化器内科学、炎症性腸疾患

講師



なかはら けんた  
**中原 健太**

卒業	鳥取大学 平成20年卒
専門	消化器外科学

講師



おざわ よしあき  
**小沢 慶彰**

卒業	北里大学 平成18年卒
専門	消化器外科学

	氏名	卒業	専門
助教	ゆうた 神山 勇太	新潟大学 平成21年卒	消化器内科学
助教	たつや 桜井 達也	昭和大学 平成21年卒	消化器内科学
助教	まさひろ 阿部 正洋	群馬大学 平成24年卒	消化器内科学
助教	たいし 奥村 大志	杏林大学 平成24年卒	消化器内科学
助教	ようすけ みねぎし 峯岸 洋介	昭和大学 平成27年卒	消化器内科学
助教	ようじろう たかの 高野 洋次郎	杏林大学 平成27年卒	消化器外科学
助教	ゆうき たかしな 高階 祐輝	昭和大学 平成28年卒	消化器内科学
助教	ひろあき こばやし 小林 弘明	昭和大学 平成29年卒	消化器外科学
助教	かずみ たきしま 瀧島 和美	金沢医科大学 平成28年卒	消化器内科学 炎症性腸疾患
助教	ゆうき みやた 宮田 裕輝	昭和大学 平成29年卒	消化器内科学
助教	みほこ なかがわ 中川 美星子	昭和大学 平成30年卒	消化器外科学
助教	ゆりこ もりた 森田 友梨子	東京女子 医科大学 平成30年卒	消化器内科学
助教	たかのり くろき 黒木 貴典	昭和大学 平成30年卒	消化器内科学

	氏名	卒業	専門
助教	おさむ しいな 椎名 脩	藤田医科大学 平成30年卒	消化器内科学
助教	しげのり せんば 仙波 重則	昭和大学 平成31年卒	消化器内科学
助教	ともや しぶや 澁谷 智也	杏林大学 平成31年卒	消化器内科学
助教	ゆりえ かわばた 川端 悠里衣	昭和大学 平成31年卒	消化器内科学
助教	しょうへい まつど 松土 昇平	昭和大学 平成31年卒	消化器外科学
助教	こうき しばた 柴田 耕暉	昭和大学 平成31年卒	消化器外科学
助教	ゆう にいむら 新村 裕	聖マリアンナ 医科大学 令和2年卒	消化器内科学
助教	けいすけ ささべ 佐々部 啓介	昭和大学 令和2年卒	消化器内科学
助教	そうた こまい 駒井 聡太	東邦大学 令和2年卒	消化器外科学
助教	こうたろう こんどう 近藤 弘太郎	杏林大学 令和3年卒	消化器内科学
助教	れい すぎはら 杉原 黎	昭和大学 令和3年卒	消化器外科学
助教	まさき おかだ 岡田 昌樹	昭和大学 令和3年卒	消化器外科学
助教	ともたか たきざわ 滝沢 友崇	日本医科大学 令和4年卒	消化器内科学

# 消化器センター

氏名	卒業	専門
助教 たかはし 高橋 えみ 愛美	東海大学 令和4年卒	消化器内科学
助教 きもと 木本 ゆうすけ 裕介	杏林大学 令和5年卒	消化器内科学

氏名	卒業	専門
助教 おおた 太田 まさゆき 雅之	杏林大学 令和5年卒	消化器内科学
助教 きしもと 岸本 けいと 恵門	琉球大学 令和5年卒	消化器内科学

## 主な診療実績等

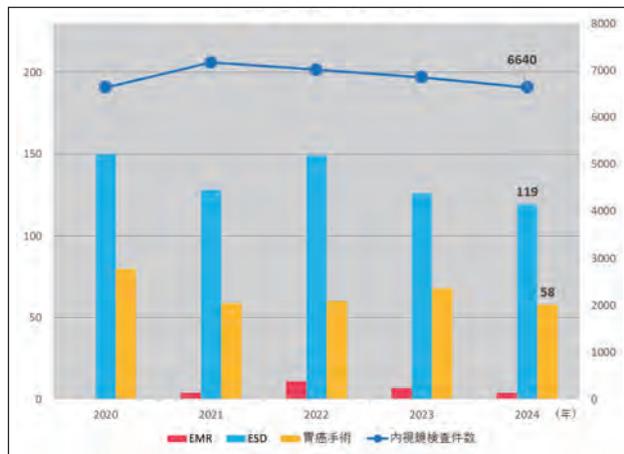
### ●内科領域 (2024年)

上部消化管内視鏡検査	6,640例
下部消化管内視鏡検査	6,249例
内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	278例 (咽頭1、食道36、胃75、十二指腸7、大腸159)
内視鏡的逆行性膵胆管造影 (ERCP)	365例 (経乳頭の処置：355例)
小腸内視鏡	バルーン内視鏡：49例、カプセル内視鏡：24例
超音波内視鏡 (胆膵領域)	EUS 61例 (FNA：2例)

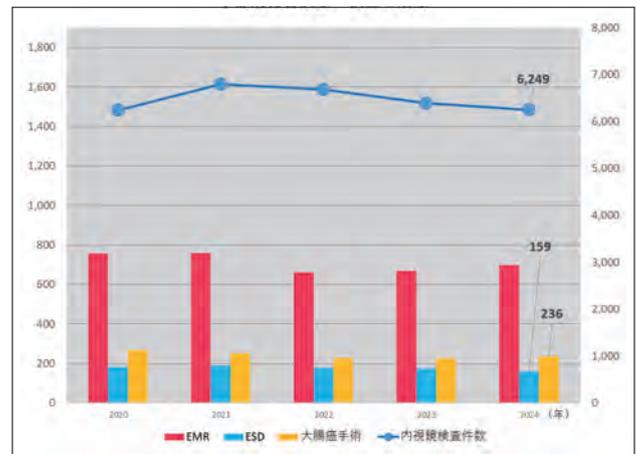
### ●外科領域 (2024年)

胃悪性腫瘍手術	58例 (ロボット併用腹腔鏡手術：36例、腹腔鏡手術：4例、開腹手術：18例)
胃局所切除術	4例 (鏡視下手術：4例、開腹手術：0例)
大腸悪性腫瘍手術	236例 (ロボット併用腹腔鏡手術：105例、腹腔鏡手術：98例、開腹手術：33件)
肝胆膵手術	231例 (胆嚢摘出術：171例 (鏡視下手術：170例、開腹手術：1例)、膵頭十二指腸切除：12例、肝切除：48例)

### ●上部消化管疾患 検査と治療



### ●下部消化管疾患 検査と治療



# 循環器センター 【心臓血管外科】

## センター長／特任教授



なぶち あきひろ  
南 明 宏

卒業	奈良県立医科大学 昭和58年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士 厚生労働省認定臨床研修指導医 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構：心臓血管外科専門医・修練指導医 日本循環器学会：循環器専門医 日本外科学会：外科専門医・外科指導医 アジア心臓血管外科国際会員

## 心臓血管外科診療科長・教授



おくやま ひろし  
奥 山 浩

卒業	東京慈恵会医科大学 昭和62年卒
専門	成人心臓血管外科
資格	医学博士 厚生労働省認定臨床研修指導医 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構：心臓血管外科専門医・修練指導医 日本外科学会：外科専門医・外科指導医 日本循環器学会：循環器専門医 アジア心臓血管外科国際会員

循環器センター  
【心臓血管外科】  
診療科紹介

## 診療内容・特色

循環器センター(心臓血管外科)は、2015年11月から現チームでスタート、2018年1月に小児心臓病の診療グループが旗の台の昭和大学病院に移転後、狭心症・心筋梗塞・弁膜症・大動脈疾患といった成人の心臓血管外科治療に特化した診療科となりました。

落合正彦先生が率いる循環器内科グループと綿密にタッグを組み、患者さんに適した治療方針の判断を行っています。特に最近はお互いの技術を最大限に生かした動脈瘤に対する血管内治療(ステントグラフト内挿術：TEVAR、EVAR)も施行しています。

2023年4月より心臓血管外科診療科長に奥山浩が就任しました。循環器センター長南明宏とともに、この体制で引き続き神奈川地区をはじめ関東全域での心臓血管外科手術の基幹病院となることを目標に日々精進していきたいと考えております。

心臓血管外科の歴史の中で重要とされる一つとして心拍動下バイパス術があります。この先駆者である南明宏センター長がその手技を全国に普及、教育してきた実績があります。その精神、技術を学びながら現在当院では後天性心疾患の広範囲な手術を施行、多くの患者さんへ貢献、心臓外科医の育成、指導を行っております。

## 主な対象疾患

- 成人後天性心疾患
- 虚血性心疾患、弁膜症(大動脈弁や僧帽弁などの狭窄・閉鎖不全)、大動脈瘤、末梢動脈疾患など
- 成人の不整脈：心房細動、心房粗動、上室頻拍、ペースメーカーなど

## スタッフ

講師



なか がわ ひろ ふみ  
中川 博文

卒業 三重大学 平成18年卒

専門 成人心臓血管外科

助教



なか むら けい すけ  
中村 圭佑

卒業 昭和大学 平成28年卒

専門 成人心臓血管外科  
ステントグラフト

助教



かわ はた たい し  
川幡 大嗣

卒業 昭和大学 平成29年卒

専門 成人心臓血管外科  
ステントグラフト

看護師

コーディネーター



ふか つ こ  
深津 より子

卒業

専門 医師、患者間を繋ぎ、術前、入院、術後の問題を円滑に管理しています

## 主な診療実績等

●成人心臓外科・手術（合併手術あり）

手術名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
冠動脈バイパス術	77件	73件	84件	57件	37件
弁膜症手術	57件	76件	66件	61件	36件
大血管手術	23件	24件	20件	18件	20件
心臓腫瘍	2件	1件	1件	1件	2件
末梢血管手術	17件	12件	25件	28件	34件
先天性手術	0件	2件	0件	1件	1件

### 循環器内科診療科長・特任教授



おち あい まさ ひこ  
落合 正彦

卒業	東京大学 昭和59年卒
専門	冠動脈インターベンション(特に慢性完全閉塞、高度石灰化病変に対するロータブレード治療)
資格	日本循環器学会：循環器専門医 日本内科学会：総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会：心血管カテーテル治療専門医 米国・欧州心臓病学会正会員 米国心血管インターベンション学会特別正会員

### 診療内容・特色

当科は24時間365日、医師が常時待機しており、急性心筋梗塞や急性心不全などの救急疾患に対応しています。大動脈バルーンパンピング(IABP)や経皮的心肺補助装置(PCPS/ECMO)、経皮的左室補助循環装置(Impella)を有しており、心原性ショックや致死性不整脈を伴う重症症例への救命処置が可能です。

また高速回転式アテレクトミー(Rotablator)の認定施設であり、糖尿病、維持透析の狭心症症例に多く見られる高度石灰化を伴う冠動脈病変に対するカテーテル治療(冠動脈形成術・ステント留置術)にも積極的に取り組んでいます。

心房細動などの頻拍性不整脈に対するカテーテルアブレーションや、徐脈性不整脈や心不全へのペースメーカー治療、下肢閉塞性動脈硬化症に対する末梢血管インターベンションにも力を入れています。

従来、外科的手術しか治療法がなかった構造的な心疾患や大動脈瘤へのカテーテル治療にも力を入れており、僧帽弁閉鎖不全症への経カテーテル的僧帽弁形成術、抗凝固療法困難な心房細動への心原性塞栓予防のための経カテーテル的左心耳閉鎖術、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術・コイル塞栓術なども実施しております。

当科は総合的・全人的な循環器診療を提供できるリソース、人員を要しておりますので、今後もこれら先進的な循環器治療を提供していきます。

### 主な対象疾患

- 虚血性心疾患(急性/陳旧性心筋梗塞、不安定/労作性狭心症)
- 心不全、心臓弁膜症(僧帽弁閉鎖不全症など)
- 不整脈(上室性頻拍、心房細動、心房粗動、心室頻拍、心室細動、洞不全症候群、高度房室ブロック等)
- 末梢血管疾患(閉塞性動脈硬化症、下肢末梢血管疾患、頸動脈硬化症、腎動脈狭窄症、鎖骨下動脈狭窄症)
- 肺動脈塞栓症、深部下肢静脈血栓症

# 循環器センター 【循環器内科】

## スタッフ

准教授



いそ むら なお えい  
磯村 直栄

卒業	防衛医科大学校 平成10年卒
専門	循環器内科一般、虚血性心疾患 冠動脈インターベンション(高度石灰化病変に対するロータブレード治療)

講師



おか べ とし たか  
岡部 俊孝

卒業	昭和大学 平成20年卒
専門	循環器内科一般、虚血性心疾患 冠動脈インターベンション(高度石灰化病変に対するロータブレード治療) 構造的な心疾患へのカテーテル治療 心不全、腹部大動脈瘤

講師



い がわ わたる  
井川 渉

卒業	昭和大学 平成24年卒
専門	循環器内科一般 冠動脈インターベンション 不整脈カテーテルアブレーション 経カテーテル的左心耳閉鎖

氏名	卒業	専門
講師 ふくおか ひろと 福岡 裕人	昭和大学 平成19年卒	循環器内科一般 心臓超音波
講師 おおやま ゆうじ 大山 祐司	昭和大学 平成25年卒	循環器内科一般 虚血性心疾患 冠動脈インターベンション (高度石灰化病変に対する ロータブレード治療) 構造的な心疾患へのカテーテル治療 心不全 腹部大動脈瘤
助教 えばら せい たらう 荻原 誠太郎	昭和大学 平成21年卒	循環器内科一般 冠動脈インターベンション
助教 きむら たろう 木村 太郎	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般 冠動脈及び末梢血管インターベンション
助教 しまづ すぐる 嶋津 英	昭和大学 平成27年卒	循環器内科一般 冠動脈及び末梢血管インターベンション
助教 ふじおか たつき 藤岡 立樹	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般 冠動脈及び末梢血管インターベンション

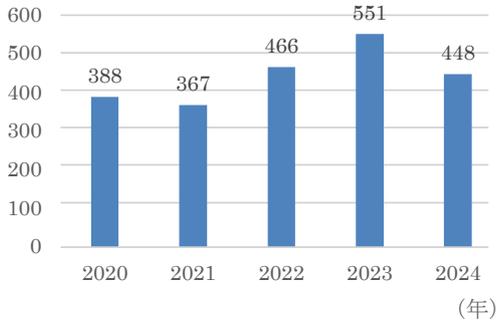
氏名	卒業	専門
助教 うすもと そういちろう 薄元 宗一郎	昭和大学 平成29年卒	循環器内科一般 冠動脈インターベンション 不整脈カテーテルアブレーション 経カテーテル的左心耳閉鎖
助教 いとう ゆうき 伊藤 有輝	東邦大学 平成30年卒	循環器内科一般 冠動脈インターベンション 心臓超音波
助教 おおくら たけし 大倉 武	昭和大学 平成30年卒	循環器内科一般 冠動脈及び末梢血管インターベンション
助教 ぎぼ ゆうま 宜保 雄磨	昭和大学 平成30年卒	循環器内科一般 冠動脈インターベンション 不整脈カテーテルアブレーション 経カテーテル的左心耳閉鎖
助教 よしひろ かつや 好廣 勝哉	昭和大学 令和2年卒	循環器内科一般 不整脈カテーテルアブレーション
助教 いしい かつまさ 石井 克政	昭和大学 令和3年卒	循環器内科一般

循環器センター  
【循環器内科】

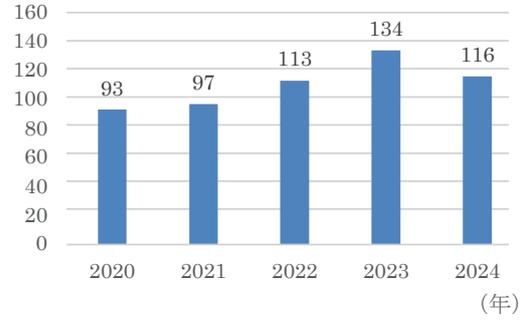
診療科紹介

## 主な診療実績等

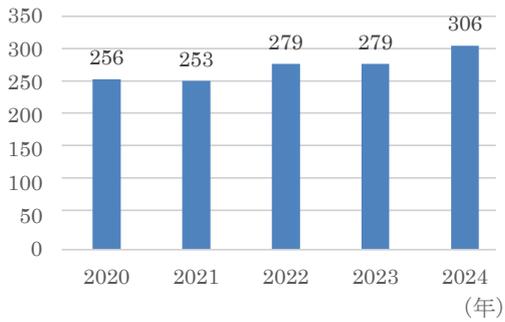
冠動脈インターベンション



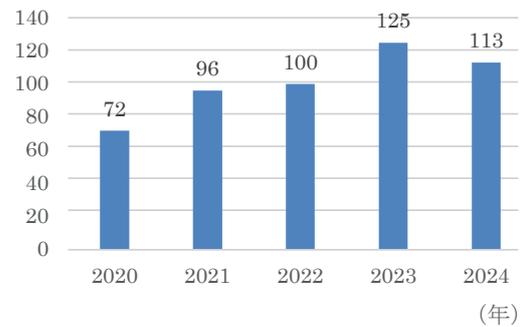
末梢血管インターベンション



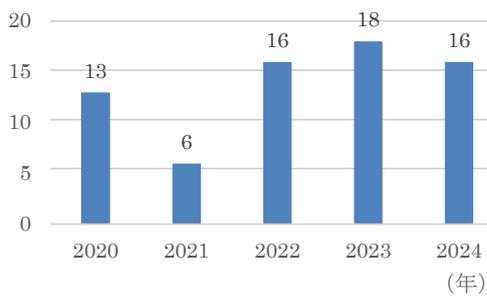
不整脈アブレーション



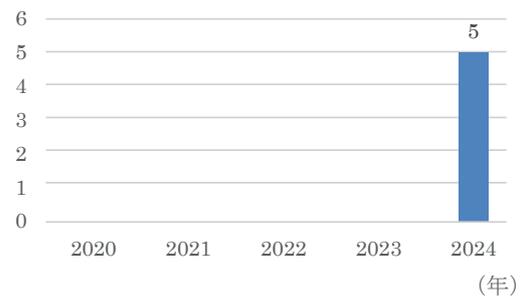
ペースメーカー等の植込み術



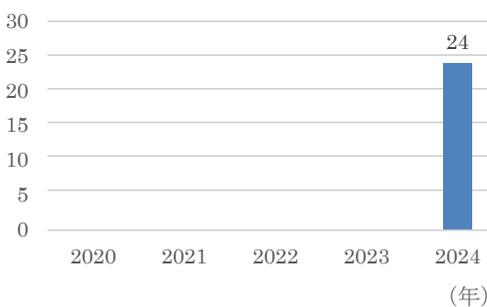
腹部大動脈ステントグラフト  
内挿術



経カテーテル的僧帽弁形成術  
(MitraClip)



経カテーテル的左心耳閉鎖術  
(Watchman)



# 甲状腺センター

## センター長／特任教授



ふく なり のぶ ひろ  
福成 信博

卒業	昭和大学 昭和59年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波、インターベンション治療
資格	日本外科学会：外科専門医・指導医 日本超音波医学会：超音波専門医・指導医 日本消化器外科学会：消化器外科専門医 日本甲状腺学会：甲状腺学会専門医・評議員 日本内分泌外科学会：内分泌外科専門医・評議員

## 診療内容・特色

全国の大学病院のなかで唯一の甲状腺センターです。甲状腺、副甲状腺疾患に対して診療科の壁をなくし、外科、内科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、病理診断科が協力して診療にあたりますので、様々な治療法の中で患者さんにとって最良の選択肢を提示できます。手術療法に関しては、小切開による手術、内視鏡下手術を取り入れ、創保護の方法も含めてできる限り術後に創部が目立たなくなるよう、様々な工夫をしています。非手術的な治療(エタノール注入療法(PEIT)、ラジオ波焼灼療法(RFA))も積極的に取り入れていますのでご相談下さい。当科は甲状腺ラジオ波治療を行う日本で唯一の施設で、これまでに400例以上の治療実績があります。

様々な合併症が併存する場合でも大学病院の特性を生かし、各診療科、集中治療室(ICU)と連携した治療が可能です。

## 主な対象疾患

- 甲状腺疾患：甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病、橋本病、甲状腺嚢胞 など
- 副甲状腺疾患：副甲状腺腺腫、副甲状腺癌

### 【甲状腺ラジオ波治療】

熱を用いて細胞を壊すことで、しこりを小さくしたり無くしたりすることができる、傷を作らない新しい治療法です。



## スタッフ

准教授



ふくしま みつひろ  
福島 光浩

卒業	日本医科大学 平成4年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波

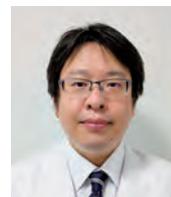
准教授



くに い よう  
國井 葉

卒業	日本医科大学 平成11年卒
専門	内分泌内科、甲状腺超音波 一般内科

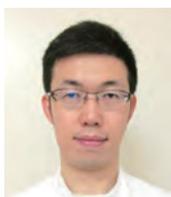
講師



さか うえ さと し  
坂上 聡志

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	内分泌外科、一般消化器外科

講師



なか の まさ ひで  
中野 賢英

卒業	昭和大学 平成18年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波

講師



た どころ り え  
田所 梨枝

卒業	日本大学 平成19年卒
専門	内分泌内科、糖尿病、一般内科

専任臨床  
検査技師



さ さ き えい じ  
佐々木 栄司

卒業	北里衛生科学専門学院 昭和62年卒
専門	甲状腺検査

氏名	卒業	専門
助教 つかもと 塚本 だい き 大樹	昭和大学 平成29年卒	内分泌外科、一般外科 救急医学

# 甲状腺センター

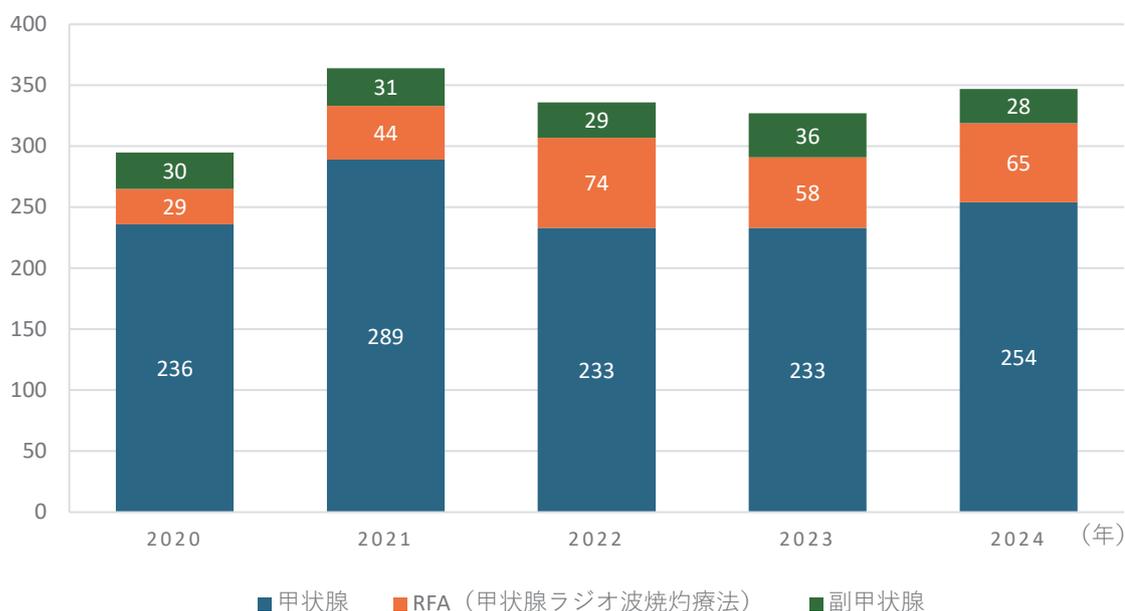
## 主な診療実績等

●2020年～2024年 手術件数推移

	2020	2021	2022	2023	2024
甲状腺	236	289	233	233	254
RFA*	29	44	74	58	65
副甲状腺	30	31	29	36	28

※甲状腺ラジオ波焼灼療法

### 手術件数推移



甲状腺センター

診療科紹介

### センター長/小児内科診療科長・教授/副院長



いけだ ひろかず  
池田 裕一

### 小児外科診療科長・准教授



すぎやま あきひで  
杉山 彰英

こどもセンター  
診療科紹介

卒業	昭和大学 平成7年卒
専門	小児腎臓、排尿障害
資格	日本小児科学会：小児科専門医・認定小児科指導医・代議員・関東地区資格認定委員 日本腎臓学会：腎臓専門医・腎臓学会指導医 日本小児泌尿器科学会：理事 日本夜尿症学会：理事 日本小児腎臓病学会：代議員 神奈川県災害時小児周産期リエゾン コンサータ処方登録医

卒業	昭和大学 平成9年卒
専門	小児外科一般、新生児外科、小児内視鏡外科
資格	日本外科学会：外科専門医・外科指導医 日本小児外科学会：小児外科専門医・指導医 日本周産期・新生児医学会：認定外科医

## 診療内容・特色

こどもセンターは小児内科、小児外科、NICUの各専門医から構成され、30名以上の医師が相互に協力して小児の総合診療に当たっています。当院は、横浜市北部地域における小児医療の拠点として位置付けられており、単に病気を治すだけでなく、お子様とご家族の気持ちや心にも寄り添った診療を提供することを重視しています。また、地域の小児医療に貢献するために、当センターを受診される患者さんに安心と温かさを感じていただけるよう努めています。

小児外科は手術を回避できる可能性がある症例は保存的療法を積極的に模索し、手術適応となった症例については侵襲が少なく整容性に優れた手術を行うように心がけております。症例数が最も多い鼠径ヘルニア手術は、大部分が腹腔鏡下手術(LPEC)の対象となっています。LPECは2~3mmの細径器具を用い、極めて良好な術後整容性を得られます。また、2023年度からは臍ヘルニアに対する日帰り手術を開始しました。

NICUは地域周産期母子医療センターとして、横浜ブロックの中核病院の役割を担っております。北部地域は横浜市内でも出生数が多く、新生児医療ニーズの高い地域です。出生体重が1000g未満の超低出生体重児から、出生後に疾患を持った新生児まで幅広い患者さんを対象にしています。先天性心疾患は、昭和医科大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センターとの協力体制を整えています。陰圧個室がありますので、感染症の児の対応も可能となりました。ご家族を診療ケアのパートナーとして新生児診療にあたる、Family Integrated Careの提供を心がけています。

今後、ますます多様化する疾患にも適切に対応できるように常に最新の知識を得て、最善の医療を提供できるよう、地域の診療所や保健所との連携を強化し、子ども達の健康増進も見据えた医療体制を構築していきます。

## 主な対象疾患

【専門外来診療】アレルギー外来、小児循環器外来、神経外来、腎泌尿器外来、内分泌外来、遺伝外来、免疫・膠原病、自己炎症性疾患、新生児フォローアップ外来、小児外科外来

【入院診療】(小児内科) 小児疾患全般

(NICU) 早産低出生体児、病的新生児、新生児仮死、新生児黄疸、染色体異常、新生児小児外科疾患

(小児外科) 鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、急性虫垂炎、消化管閉鎖・狭窄、消化管閉塞、消化管異物、胆道閉鎖症、胆道拡張症、体表腫瘤、腹腔内・胸腔内腫瘤 など

### スタッフ

准教授



むら せ まさ ひこ  
村瀬 正彦

卒業	昭和大学 平成12年卒
専門	新生児学

講師



た なか ひろき  
田中 拓

卒業	東北大学 平成14年
専門	小児外科一般、肝胆道外科疾患 新生児外科

講師



わた なべ つね き  
渡邊 常樹

卒業	昭和大学 平成16年卒
専門	小児腎臓、排尿障害

講師



い がわ み お  
井川 三緒

卒業	昭和大学 平成18年卒
専門	新生児学

講師



わた なべ よし たか  
渡邊 佳孝

卒業	昭和大学 平成21年卒
専門	腎臓病学

氏名	卒業	専門
助教 京田 学是 たかよし 学是	弘前大学 平成10年卒	神経学
助教 富永 牧子 まきこ 牧子	筑波大学 平成15年卒	先天異常症、臨床遺伝学
助教 岩久 貴志 たかし 貴志	昭和大学 平成16年卒	アレルギー
助教 安藤 晋介 しんすけ 晋介	東邦大学 平成22年卒	小児外科一般
助教 八木 勇磨 ゆうま 勇磨	日本医科大学 平成24年卒	小児外科一般
助教 浅井 秀幸 ひでゆき 秀幸	昭和大学 平成24年卒	新生児学
助教 河合 延啓 のぶひろ 延啓	帝京大学 平成25年卒	小児科一般

氏名	卒業	専門
助教 小宅 千聖 ちさと 千聖	昭和大学 平成26年卒	小児腎臓、排尿障害
助教 遠藤 翔太 しょうた 翔太	順天堂大学 平成26年卒	小児腎臓
助教 青木 真史 まさふみ 真史	昭和大学 平成27年	小児消化器
大学院生 茂木 桜 もてぎ 桜	昭和大学 平成27年	内分泌
助教 八木 直美 なおみ 直美	昭和大学 平成28年卒	内分泌
助教 井川 由貴 ゆき 由貴		臨床遺伝学
助教 野口 悠太郎 ゆうたろう 悠太郎	昭和大学 平成29年卒	新生児学

氏名	卒業	専門
助教 やまもと 山本 かずや 和也	昭和大学 平成29年卒	小児消化器
助教 よしみ 吉見 まりあ 鞠亜	横浜市立大学 平成29年卒	アレルギー
助教 あおき 青木 こういちろう 康一郎	昭和大学 平成31年卒	小児科一般
助教 あずま 東 みなみ	昭和大学 平成31年卒	新生児学
助教 ほんだ 本多 かな 加奈	昭和大学 平成31年卒	小児科一般
助教 みやじま 宮嶋 こうじろう 康次郎	旭川医科大学 平成31年卒	小児外科一般
助教 くめ 桑 けいこう 慧行	昭和大学 令和2年卒	小児科一般
大学院生 たての 立野 まさこ 茉咲子	昭和大学 令和2年卒	小児科一般

氏名	卒業	専門
助教 ながた 永田 さくら 桜子	埼玉医科大学 令和2年卒	小児科一般
助教 みやさか 宮坂 こう 豪	金沢医科大学 令和3年卒	小児科一般
助教 いまえだ 今枝 まち 真知	鹿児島大学 令和3年卒	小児科一般
助教 やぎ 八木 のりか 典佳	東邦大学 令和4年卒	小児科一般
助教 よしの 吉野 ひなこ 日奈子	北里大学 令和4年卒	小児科一般
助教 いはら 井原 ゆうき 悠貴	昭和大学 令和5年卒	小児科一般
助教 ふくい 福井 こうすけ 康介	昭和大学 令和5年卒	小児科一般
助教 よこい 横井 たけひろ 岳寛	山形大学 令和5年卒	小児科一般

## 主な診療実績等

2024年度

入院数	小児内科	1,481名
	新生児科	315名
手術件数	小児外科	198件（新生児3件）
救急受け入れ実績	救急患者数	3,081名
	救急車受け入れ台数	1,652件

# 脳血管センター 【脳卒中科】

## センター長／特任教授



寺田 友昭  
てらだ ともあき

卒業	和歌山県立医科大学 昭和55年卒
専門	脳神経血管内治療
資格	医学博士 脳神経血管内治療学会認定指導医 日本脳神経外科学会：脳神経外科専門医・指導医 日本脳卒中学会：脳卒中専門医・指導医 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

## 診療内容・特色

2021年6月に昭和大学横浜市北部病院に脳血管センター(脳卒中科)が新設され、センター長として寺田友昭が就任いたしました。脳血管センターは、脳ドックで発見される未破裂脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、超急性期脳主幹動脈閉塞症などの虚血性脳血管障害、破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形などの出血性脳血管障害を含めたすべての脳血管障害を扱いますが、それ以外に脊髄硬膜動静脈シャント、脊髄動静脈奇形などの脊髄血管障害、脳腫瘍、頭頸部動静脈奇形、難治性鼻出血、などの疾患を扱っています。特に大型の脳動脈瘤のフローダイバーターによる治療は、神奈川県下で最も多くの治療経験を有しています。また、新しい動脈瘤素材であるWEB、Pulsariderなど国内では施設限定で使用されているデバイスもすべて使用可能です。現状では、これらの疾患に対し、国内最高機種種のPhilips社の血管撮影装置Azurionを用いて脳神経血管内治療を行っております。センター長の寺田は、脳神経血管内治療の国内のパイオニアの一人であり、脳神経血管内治療が日本に導入された当初より本治療に携わっております(指導医番号9番)。日本脳神経血管内治療学会の理事、学会長を歴任し、血管内治療件数も6000例を超え、豊富な知識と高い技術を持っています。最近では、当院のみではなく、北海道から九州までの全国の病院で高難度脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈シャントの治療を数多く手がけています。また、国内のみではなく、海外の脳神経血管内治療関連の主要な学会でも役員も務めています。

2022年度より日本脳神経血管内治療学会 指定訓練施設となり、約1年間の研修で脳神経血管内治療専門医受験資格取得可能です。こちらでの脳神経血管内治療の専門研修を希望の方は寺田まで連絡ください。

## 主な対象疾患

- 脳動脈瘤
- 脳動静脈奇形(AVM)
- 硬膜動静脈シャント
- 超急性期脳主幹動脈閉塞症
- 頸動脈狭窄症
- 鎖骨下、椎骨、頭蓋内動脈狭窄症
- 脊髄血管障害
- 頭頸部血管奇形
- 難治性鼻出血

## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 やまが ひろお 山家 弘雄	愛知医科大学 平成7年卒	脳神経血管内治療

## 主な診療実績等

2024年度 脳血管内治療：134件 DSA検査：310件 検査・治療総数：444件

脳血管内治療内訳  (計134件)	脳動脈瘤コイル	25件	急性期血行再建	14件
	脳動脈瘤フローダイバーター	17件	脳、硬膜動静脈奇形	20件
	頸動脈ステント	26件	脳腫瘍 その他	23件
	PTA等	9件		

### ●得意とする疾患

- 1) 脳動脈瘤  
難易度の高い大型脳動脈瘤に対するフローダイバーター、複数ステント組み合わせによる治療を行っており、他府県からの多くの紹介患者に対応しています。すでにフローダイバーターの治療、指導実績は300件を超え、神奈川県下では最多数の治療実績を有しています。
- 2) 脳動静脈奇形 (AVM)  
ONYXを用いた塞栓術および集学的治療を他施設を含め年間20-30件行っています。最近では脳動静脈奇形に対する経静脈的塞栓術を国内で初めて成功させ、現在まで13例を経静脈的塞栓術で根治させています。他施設で治療できないと言われた脳動静脈奇形でお悩みの方は是非ご相談ください。
- 3) 硬膜動静脈シャント  
すべての硬膜動静脈シャントの治療を行います。現在まで500件近い治療実績があり、国内でも最多症例数を経験しています。それ以外に、通常の施設では行っていないバルーンカテーテルを用いて静脈洞を温存した状態でシャントのみを閉塞させる新たな手技を開発しています。特に軽症のType Iは拍動性耳鳴りで発症することが多く、根治は困難でしたが、本法で90%以上の割合で根治が得られます。本疾患に伴う拍動性耳鳴りの患者様も御紹介いただければ当科で精査、加療いたします。
- 4) 頸動脈狭窄症  
約1200件という国内最多の治療経験を有し、狭窄症のみでなく慢性期完全閉塞症に対して世界初の治療成功例を Journal of Neurosurgery 報告しています。
- 5) 脊髄血管障害  
脊髄硬膜動静脈シャント、脊髄動静脈奇形などの比較的まれな疾患ですが、難治性であり診断も困難な場合があります。両下肢のしびれ、膀胱直腸障害などで発症し、長期に放置した場合は回復が困難となります。硬膜動静脈シャントの場合は、かなりの割合で血管内治療により根治が期待できます。原因不明の歩行障害、両下肢のしびれ、排尿、排便障害のある方はご相談ください。
- 6) 頭頸部血管奇形  
拍動性耳鳴り、頭頸部の拍動性腫瘍で発見されることの多い疾患です。適切な血管内治療により根治が期待できます。最近では我々の開発したダブルバルーンによる経静脈的塞栓術で大部分の症例が根治可能です。
- 7) 難治性鼻出血  
血管奇形、動脈瘤などを合併している可能性があるため、頻回の大量鼻出血がある場合は受診してください。

# 女性骨盤底センター

## センター長／准教授



のむら ゆきこ  
野村 由紀子

## 客員教授



よしむら やすくに  
嘉村 康邦

卒業	昭和大学 平成10年卒
専門	女性泌尿器科、排尿障害 産婦人科全般、腹腔鏡下手術
資格	日本産科婦人科学会：産婦人科専門医・産婦人科指導医 日本排尿機能学会専門医 日本産科婦人科内視鏡学会：評議員・腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会：技術認定医 日本女性医学学会：女性ヘルスケア専門医 母体保護法指定医 da Vinci System Certificate(Console Surgeon) 日本女性骨盤底医学会：幹事、専門医

卒業	福島県立医科大学 昭和60年卒
専門	女性泌尿器科、排尿障害
資格	日本泌尿器科学会：泌尿器科専門医・泌尿器科指導医 日本排尿機能学会：代議員・教育委員・排尿機能学会専門医 日本女性骨盤底医学会：理事、編集委員、専門医 日本骨盤臓器脱手術学会：副理事長 アジア太平洋女性泌尿器科学会(APUGA)役員 da Vinci System Certificate(Console Surgeon)

## 診療内容・特色

女性のいわゆる“おしもの不具合”はなかなか相談しにくいものです。ほとんどの場合、適切な診断・治療により症状の改善が得られますが、多くの女性が受診をためらってしまいます。このような悩みを抱えている女性は非常に多いのです。子宮や膀胱などが腔から脱出する骨盤臓器脱や尿漏れといった不具合は、放っておいても死に至るような病気ではありませんが、その女性の生活の質は著しく低下してしまいます。何か活動をしたいと思っても、おしもの不具合があるために引っ込み思案になり、行動制限をしてしまうことで、生活の質の低下につながるのです。そして究極的には、社会からの孤立感さえ抱いてしまうと言われていました。したがって、たかが“おしもの不具合”ではなく、心豊かな人生を送る上での大きな障害であるわけです。

女性骨盤底センターは、まさしく“おしもの不具合”を専門に扱うセンターです。歴史的には泌尿器科や産婦人科のなかで、「女性泌尿器科」として発展してきた副専門分野です。女性の骨盤底は前方から膀胱・尿道、子宮・腔、そして直腸・肛門の3つに区分出来ます。おしもの不具合を抱える女性は多くの場合ひとつの区画だけの障害にとどまらず、多かれ少なかれ複数の区画の障害を認めます。そこで全区画を総合的に見渡せる診療科が必要となります。当センターの最大の特徴は、女性泌尿器科領域を専門とする泌尿器科医および産婦人科医が同じセンター内で、共同で診断・治療に当たることです。直腸肛門の障害に対しては消化器外科へのコンサルトが可能です。さらに骨盤底筋トレーニングを専門的に指導可能な理学療法士を配し、手術療法のみならず、質の高い理学療法、行動療法などの保存的治療も行えます。

## 主な対象疾患

骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤、小腸瘤など）、尿失禁、過活動膀胱、低活動膀胱、間質性膀胱炎、腔瘻（膀胱腔瘻、尿道腔瘻、尿管腔瘻など）、尿道憩室、尿失禁術後合併症（尿排出障害やメッシュ露出など）、反復性尿路感染症

## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 おかだ よしゆき 岡田 義之	産業医科大学 平成22年卒	女性泌尿器科 産婦人科全般 腹腔鏡下手術
助教 あおやま まりか 青山 茉莉香	昭和大学 平成29年卒	女性泌尿器科 産婦人科全般
助教 もり しょうじ 森 省二	信州大学 令和2年卒	女性泌尿器科、泌尿器一般

氏名	卒業	専門
助教 おの りょうたろう 小野 遼太郎	昭和大学 令和5年卒	女性泌尿器科 泌尿器科全般
理学療法士 しげた みわ 重田 美和	名古屋大学 平成18年卒 名古屋大学 大学院 平成20年卒	リハビリテーション (理学療法)

## 主な診療実績等

### ● 初診数・受診延数

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
女性骨盤底センター外来 初診数	340名	423名	488名	566名	454名
骨盤底リハビリ外来 受診延数	195名	435名	531名	636名	604名

### ● 2024年 手術件数 計248件

手術名	件数
経膈メッシュ手術	64件
腹腔鏡下仙骨腔固定術	3件
ロボット支援下仙骨腔固定術	31件
非メッシュ骨盤臓器脱修復術	70件 (うちvNOTES併用7件) (腔閉鎖術 56) (仙棘靭帯固定術 1) (Manchester 8) (仙骨子宮靭帯挙上術 2) (腔壁形成術 3)
尿失禁防止術 (TVT、TOT)	42件 (TVT 22) (TOT 1) (筋膜スリング 3) (テープ縫縮 7) (恥骨尿道靭帯縫縮 9)

手術名	件数
ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法	12件
膀胱水圧拡張術	1件
膀胱腔瘻・尿道腔瘻閉鎖術	12件
尿管膀胱新吻合術 (尿管腔瘻・尿管狭窄)	2件 (尿管腔瘻)
直腸腔瘻閉鎖術	0件
尿道憩室手術	13件
尿道脱手術	2件
尿道形成術	3件
その他	15件

# メンタルケアセンター

## センター長／診療科長・教授



いなもと あつこ  
稲本 淳子

卒業	昭和大学 昭和62年卒
専門	臨床精神医学全般、精神科救急、社会精神医学、統合失調症
資格	精神保健指定医 日本専門医機構：精神科専門医・精神科専門指導医 日本精神神経学会：認知症診療医 日本精神科救急学会：認定医制度指導医 日本臨床薬理学会：臨床薬理指導医

## 診療内容・特色

メンタルケアセンターは精神科・神経科医療を担当しています。神奈川県精神科救急医療の基幹病院として、毎日、措置入院・二次救急入院に対応しています。42床のスーパー救急病棟(精神科救急入院料病棟)と、認知症治療を中心としている50床の高齢者精神科病棟を有しています。

急性期入院治療ではクロザピン内服による治療抵抗性統合失調症の治療や、麻酔科と協力し修正型電気けいれん療法を定期的実施しています。また、うつ病の患者さんを対象に再発予防や認知機能の回復を目指した集団精神療法を実施しています。

外来診療では初診は完全予約制となります。そのためお待たせすることがありますので、入院の相談などのお急ぎの場合は、受診前に地域医療連携室へご相談ください。

専門外来として発達障害の診断・相談のための発達障害外来を設置しています。

総合病院内の精神科としてチーム医療を通して各診療科と連携し、精神科治療を含めた全人的な医療に取り組んでいます。

リエゾン医療では他診療科医とともに身体疾患に伴った精神症状の対応に取り組み、リエゾンチームによる回診、診療状況評価を実施しています。緩和医療チームに参加し院内のがん患者さんの治療に参加しています。産婦人科外来内に設置されている産科カウンセリング外来では、産婦人科に通院されている妊婦の方を対象に妊娠初期から産褥期以降を含めメンタルヘルスに関する相談や情報提供を実施しています。脳神経内科とともにアルツハイマー型認知症の抗アミロイドβ薬の治療も行っています。

## 主な対象疾患

- うつ病、躁うつ病
- 統合失調症(クロザピン導入が必要な難治性症例を含む)
- 不安障害(強迫症、パニック症などを含む)、適応障害
- 認知症
- 身体疾患に伴う精神障害(器質性精神障害、症状精神病、せん妄を含む)
- 発達障害(対象は中学生以上です。発達障害のデイケア、就労や社会復帰支援等のプログラムはありません。)
- アルコール精神病(依存症治療の専門プログラムはありません。)

現在、当センター外来ではカウンセリングの新規受付はしておりません。

## スタッフ

### 准教授



とみ おか ひろい  
**富岡 大**

卒業 昭和大学 平成13年卒

専門 臨床精神医学全般、精神腫瘍学  
神経心理学、認知症

### 講師



しん むら かず き  
**新村 一樹**

卒業 昭和大学 平成18年卒

専門 臨床精神医学全般

### 講師



なか むら よし ぶみ  
**中村 善文**

卒業 昭和大学 平成25年卒

専門 臨床精神医学全般

氏名	卒業	専門
助教 いがらし れいこ 五十嵐 礼子	金沢医科大学 平成26年卒	臨床精神医学全般
助教 いしい ひろあき 石井 宏明	岩手医科大学 平成29年卒	臨床精神医学全般
助教 きたかぜ かずや 北風 和也	昭和大学 平成31年卒	臨床精神医学全般
助教 くどう ともひろ 工藤 智博	埼玉医科大学 平成22年卒	臨床精神医学全般
助教 おおはし たかし 大橋 尊	熊本大学 平成29年卒	臨床精神医学全般
助教 あきかわ まな 秋庭 愛	東京医科大学 令和3年卒	臨床精神医学全般
助教 にい はるな 二井 はるな	昭和大学 令和4年卒	臨床精神医学全般

氏名	卒業	専門
助教 ほんごう ゆういちろう 本郷 裕一朗	聖マリアンナ 医科大学 令和4年卒	臨床精神医学全般
助教 みやわき けいいちろう 宮脇 啓一朗	昭和大学 令和4年卒	臨床精神医学全般
助教 かわかみ みき 川上 美紀	弘前大学 平成26年卒	臨床精神医学全般
助教 かね こ げん 金子 源	山梨大学 令和5年卒	臨床精神医学全般
助教 まつかね りょう 松兼 亮	日本医科大学 令和5年卒	臨床精神医学全般
助教 まつもと まや 松本 真弥	昭和大学 令和5年卒	臨床精神医学全般

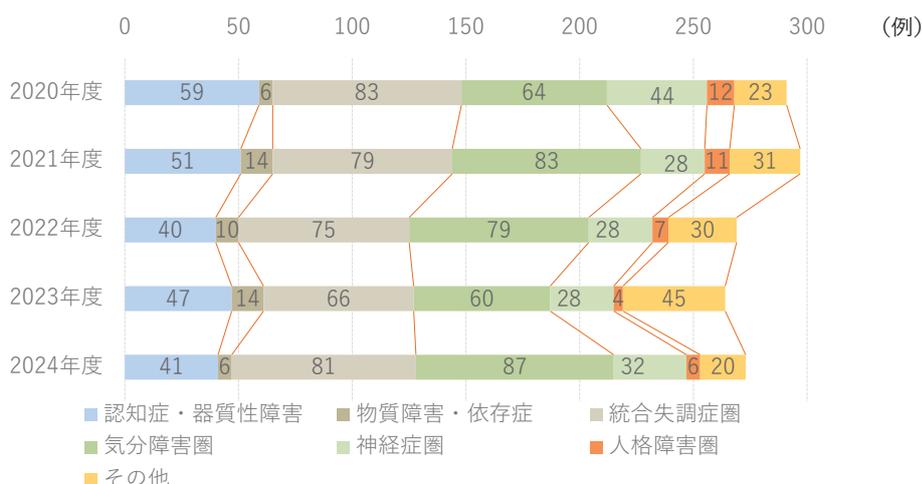
# メンタルケアセンター

## 主な診療実績等

2024年度

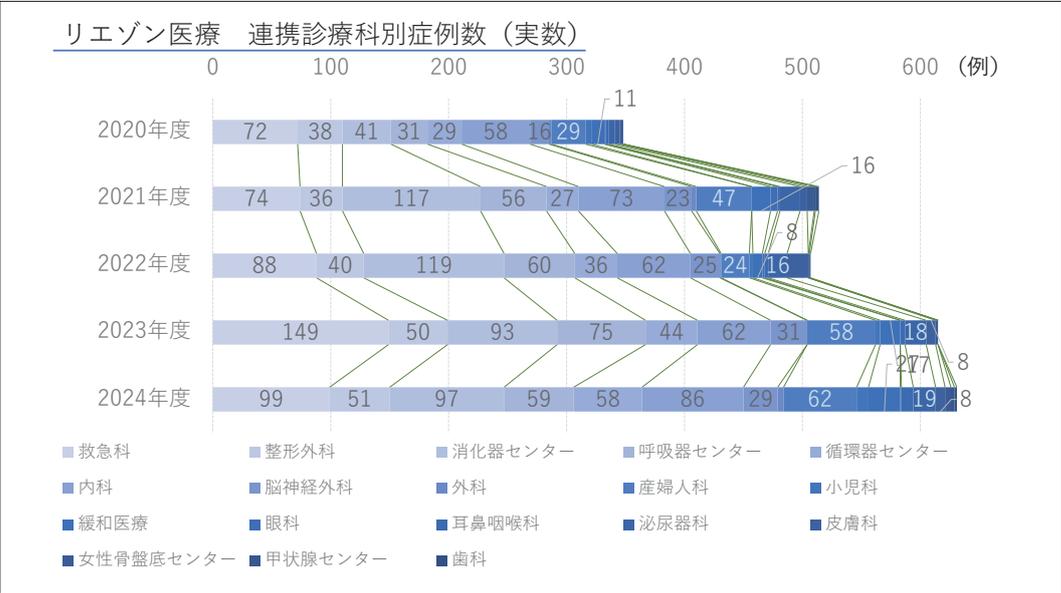
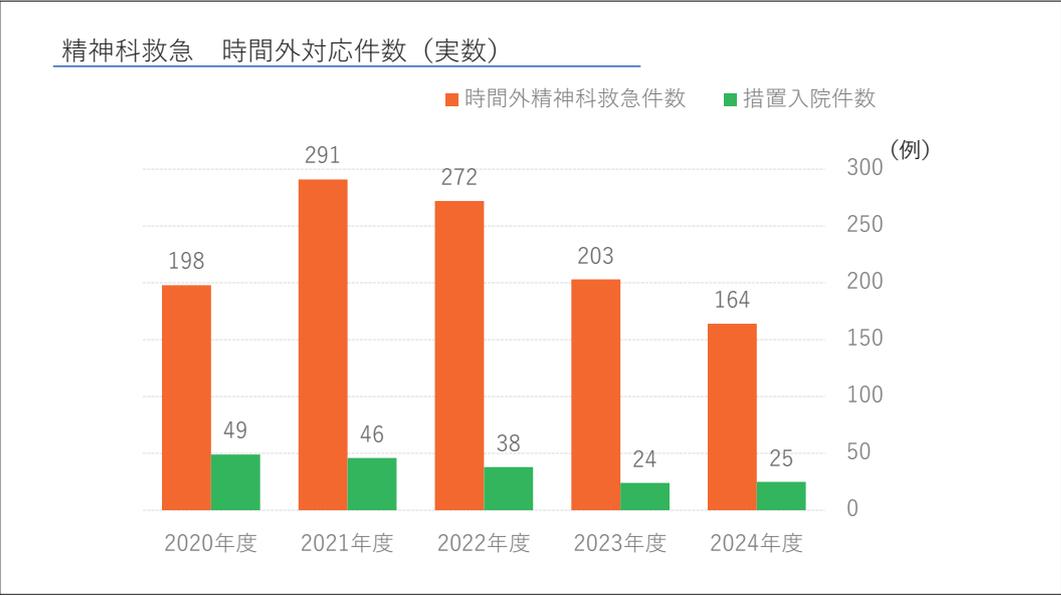
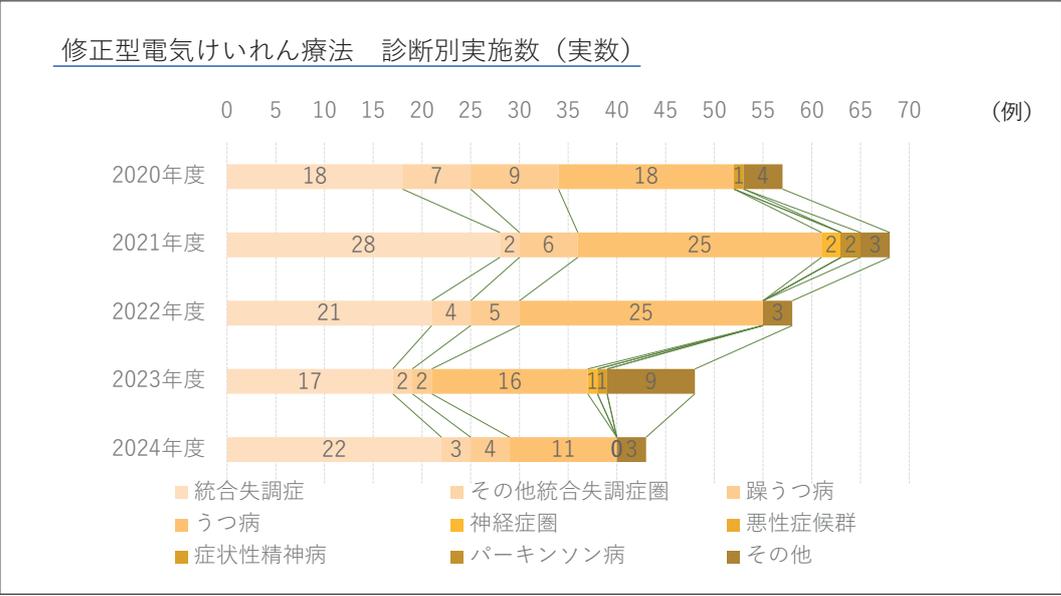
外来患者	3,482例	
入院患者	273例	精神科救急入院料病棟（スーパー救急病棟）：42床、 高齢者精神科病棟：50床
修正型電気けいれん療法症例	43例	
発達障害外来受診患者	20例	毎週木曜日：1枠、月1回水曜日1枠 対象：中学生以上
リエゾン診療（初診）	631例	
時間外精神科救急対応	164例	うち措置入院件数、 25件
産科カウンセリング外来（産科外来内）	79例	精神科医・心理士による相談外来 対象：当院産婦人科受診妊婦

入院患者 診断別症例数（実数）



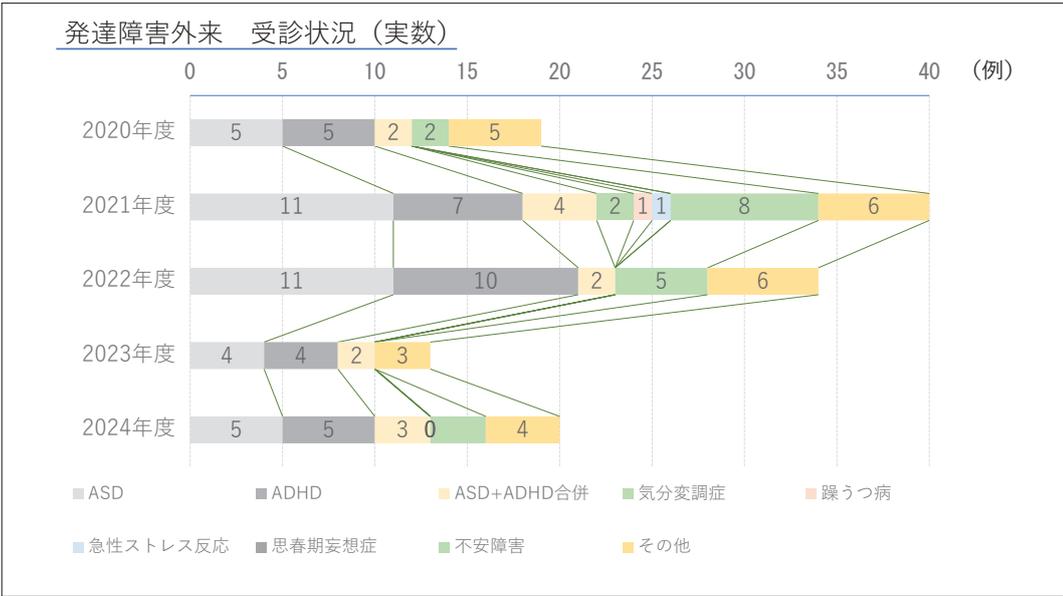
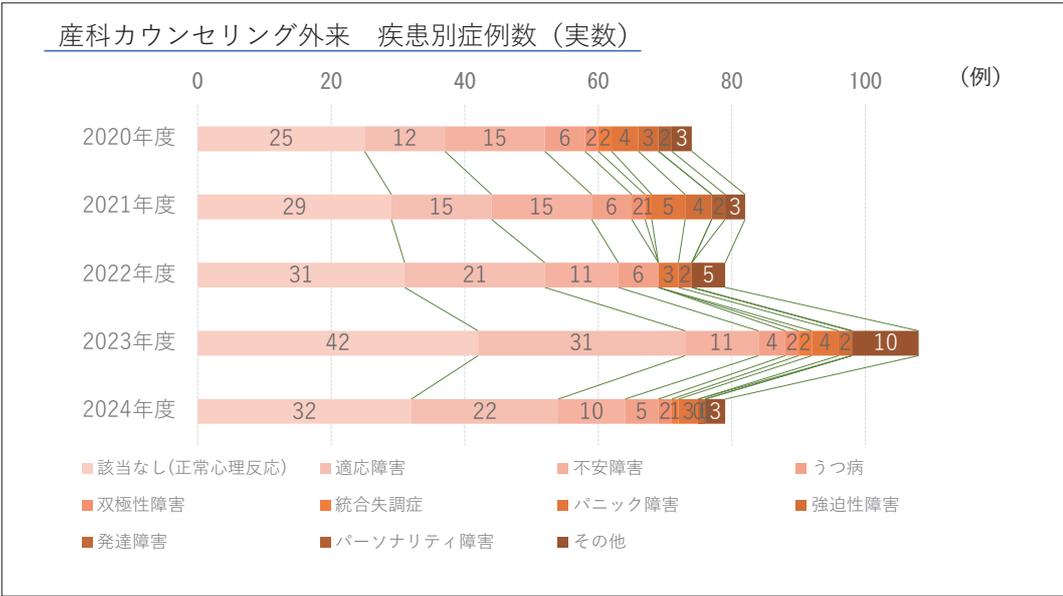
外来患者 診断別症例数（実数）





# メンタルケアセンター

メンタルケアセンター  
診療科紹介



# 救急センター (ER)

## センター長/診療科長・准教授



かとう あきひと  
加藤 晶人

卒業	昭和大学 平成17年卒
専門	救急医学
資格	日本救急医学会：救急科専門医

## 診療内容・特色

救急センターは、救急診療科医師と院内応援医師が救急車で搬送される方の診療をおこなっています。緊急入院・手術・処置が必要になった場合は院内の専門診療科と連携し専門診療につなげていきます。夜間・祝休日は救急車で搬送される患者さんに加え、直接来院される患者さんの診療にあたっています。当院は横浜市内に11存在する二次救急拠点病院Aの指定を受けており、心肺停止・ショックなどの重症な患者さんについても積極的に受け入れをおこない、地域中核病院として地域の救急医療に貢献しています。このため、救急診療科としての通常外来診療や予約診療は行っておりません。

また、メディカルコントロール体制に関しては、横浜市救命指導医(特定行為指示・助言)や、病院前救護に関する勉強会を開催し、救急隊員とともに病院前医療の充実・向上に努めています。

## 主な対象患者

一次・二次救急患者(直接来院される患者さんや救急車で搬送される患者さん)と心肺停止やショックを呈した患者さんの診療をおこないます。

## 主な診療実績等

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
救急搬送件数/年	4,889	5,282	6,210	6,642	6,671
救急外来受診者数/年	8,314	8,847	10,014	10,578	10,790
Cライン受入件数/年	228	201	236	215	237

Cライン：横浜市では心肺停止・ショックなどの重症例では横浜市救命指導医を通して指定の13病院に搬送しています。当院は横浜市二次救急拠点病院Aの指定を受け、重症患者の受け入れに努めています。

# 緩和ケアセンター

【緩和医療科】

## 診療科長・准教授



にしき におさむ  
西木戸 修

## 特任教授



おかもと けんいちろう  
岡本 健一郎

卒業	聖マリアンナ医科大学 平成10年卒
専門	緩和医療学、慢性疼痛
資格	日本緩和医療学会：緩和医療指導医・専門医・代議員 日本専門医機構：麻酔科専門医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本慢性疼痛学会：慢性疼痛専門医・評議員 日本サイコオンコロジー学会：登録精神腫瘍医

卒業	昭和大学 昭和55年
専門	緩和医療学、ペインクリニック
資格	日本緩和医療学会：緩和医療認定医 日本専門医機構：麻酔科専門医 日本ペインクリニック学会：ペインクリニック専門医・名誉会員

## 診療内容・特色

緩和ケアセンターは、緩和医療科、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、がん看護外来と緩和ケア病棟と協働し、がんと診断された時から患者さんとそのご家族の苦痛緩和にあたります。緩和ケア病棟は診療各科や専門チーム（口腔ケアチーム、リエゾンチーム、褥瘡チーム、がんリハビリテーションなど）とスムーズな連携をとることで苦痛症状の緩和をおこないます。院内からだけでなく、他の病院、診療所からも患者さんを受け入れており、様々な苦痛症状（がん疼痛、呼吸困難、悪心・嘔吐、せん妄など）を全人的苦痛の観点でとらえ、薬物療法やケアを中心に症状緩和を行い、積極的に自宅や施設への退院の調整を行っています。また緩和医療における地域との病診連携や病病連携を推し進めております。相談等ありましたら遠慮なくご連絡ください。

非がん疾患（慢性心不全など）の患者さんに対しても、当院入院患者に限定されますが、緩和ケアチームが主治医、病棟スタッフとともに症状緩和、療養環境調整のサポートも行っています。

## 主な対象患者

悪性腫瘍により引き起こされる苦痛症状があり、その症状を緩和する目的のがん患者さんが対象です。悪性腫瘍の種類に制限はありません。慢性心不全、慢性呼吸不全など非がん疾患の苦痛症状に対しては、原病の治療を担当している主治医と連携して治療に参加しています。

## スタッフ

講師



まつ いし じゅん  
松石 純

卒業	昭和大学 平成6年卒
専門	緩和医療学、呼吸器内科

氏名	卒業	専門
助教 しまだ しょうし 島田 翔士	昭和大学 平成20年卒	緩和医療学、消化器外科
助教 もちづき けんいち 望月 健一	昭和大学 平成27年卒	緩和医療学、消化器内科

氏名	卒業	専門
助教 しまざき さき 島崎 咲	島根大学 平成28年	緩和医療学、麻酔科

## 主な診療実績等

緩和ケア病棟は、各診療科（呼吸器センター、消化器センター、内科、産婦人科など）の診療を受けている患者さんだけでなく、院外から紹介して頂いた患者さんも広く受け入れています（予定・緊急入院）。薬物治療、ケアの追加、変更、療養環境の調整により、苦痛症状を緩和し退院を目指しています。

適時、遺族の代理評価を行い、人生の最終段階で利用した医療の質の評価をしています。家族が説明を受けたと感じ、家族お互いに感謝を伝える環境を整えるように努めています。

### ●緩和ケアセンター 診療実績

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
入院患者	270	293	338	290	323
予定入院	2	4	48	76	99
緊急入院	0	12	4	8	14
他院から転院	113	86	85	79	75
転棟	155	191	201	127	135
ケアチーム	163	171	187	187	251

### 2024年度 緩和ケア病棟入院患者

原発巣		結腸	54名	頭頸部	14名
肺	54名	肝	9名	婦人科	14名
膵	52名	胆管・胆嚢	16名	乳	9名
食道	11名	泌尿器	21名	その他	38名
胃	17名	血液	14名	合計	323名

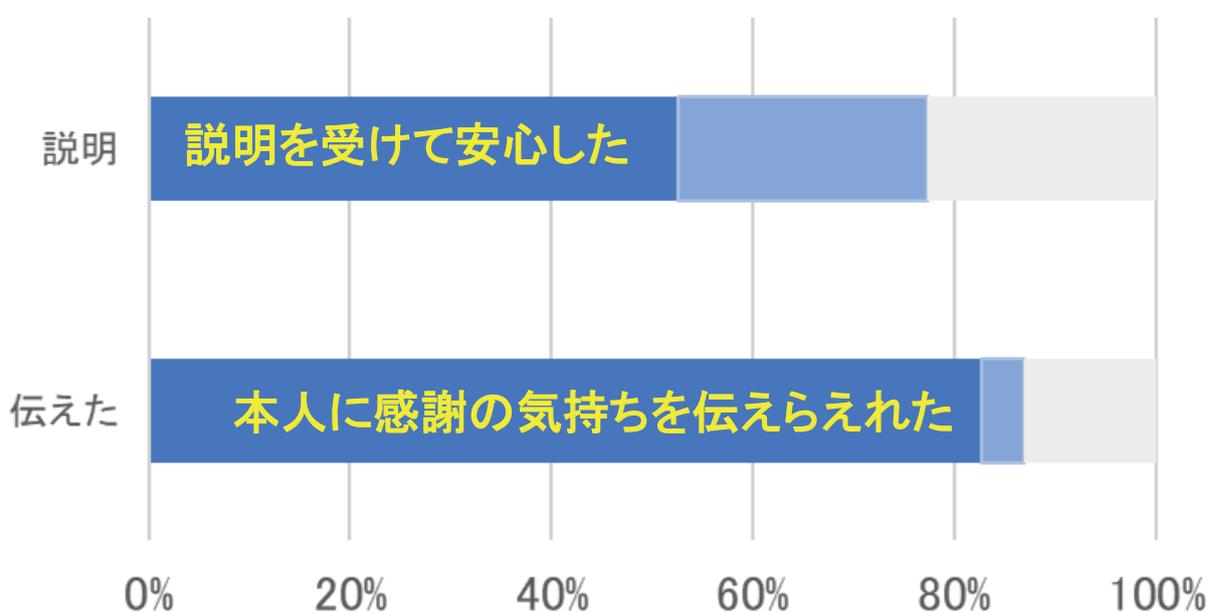
外来受診までの平均日数 5.6日

入院適応となってから入院までの平均日数 2.4日

生存退院数/全退院数 63名/317名 (19.9%)

入院日数	1～7日	8～30日	31～60日	61日以上	合計
人数	76 (30%)	133 (52%)	36 (14%)	9 (3%)	254

### 遺族の代理評価



# 臨床遺伝・ゲノム医療センター

## センター長／教授



いちがき きよたけ  
市塚 清健

卒業	昭和大学 平成5年卒
専門	周産期医学、超音波医学、臨床遺伝学
資格	日本産科婦人科学会：産婦人科専門医・産婦人科指導医 日本超音波医学会：超音波専門医・超音波指導医 日本周産期新生児医学会：母体・胎児専門医 臨床研修指導医 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医 Fetal Medicine Foundation オペレータ資格 新生児蘇生法インストラクター J-CIMELS インストラクター

臨床遺伝・  
ゲノム医療センター  
診療科紹介

## 診療内容・特色

近年の遺伝子解析技術の飛躍的な向上に伴い、様々な診療科において、遺伝学的検査による疾患の診断、治療方針の決定、将来の罹患予測、血縁者との遺伝情報共有など、遺伝診療の重要性が増しています。診療科の枠を超え、それらの遺伝診療に対応していくため、2020年4月、臨床遺伝・ゲノム医療センターが開設されました。

出生前診断、先天性疾患の診断・診療、その他、多領域にわたる遺伝カウンセリングを、各診療科での対応にとどまらず一元的に対応することにより、診療の幅が広がり、チームでクライアントやその家族をサポートすることが可能となっています。

また、2020年1月より、当院はがんゲノム医療連携病院に指定されています。神奈川県立がんセンターと連携し、個々の腫瘍細胞の遺伝子情報を基にしたがんゲノム医療を展開していますが、当センターは、膨大なゲノム情報を一元的に管理し、また、検査前後には患者との直接の対話を行い、各診療科におけるがんゲノム医療をサポートしています。

専門的な知識と豊富な経験が必要な分野であり、複数の臨床遺伝専門医をはじめ、がん治療に精通した医師や薬剤師、認定遺伝カウンセラーが一丸となり、質の高い遺伝診療を提供できる体制を整えています。臨床遺伝専門医研修施設にも認定され、後進の育成・指導にも力を入れています。

## 主な対象疾患

- 出生前検査：母体血胎児染色体検査 (NIPT)、クアトロテスト、羊水検査、絨毛検査
- ※ 超音波検査が必要な出生前検査は産婦人科で行いますが、検査前後のカウンセリングは当センターで行っています。
- 先天性疾患：染色体数異常 (ダウン症候群、13トリソミー、18トリソミー、ターナー症候群など)、染色体微細欠失・重複症候群 (22q11.2欠失症候群、ソトス症候群、プラダーウィリー症候群など)、単一遺伝子疾患 (マルファン症候群、ヌーナン症候群、骨系統疾患など)、原因不明のものも含む先天性疾患・多発形態異常など
- 遺伝性腫瘍：遺伝性乳がん・卵巣がん症候群、多発性内分泌腫瘍症、Lynch 症候群、家族性大腸腺腫症、Li-Fraumeni 症候群など
- その他、遺伝性神経疾患・腎疾患など
- がんゲノム医療：がんゲノムプロファイリング検査 (保険診療)

# 臨床遺伝・ゲノム医療センター

## スタッフ

教授



ちしま たかし  
千島 隆司

卒業 福島県立医科大学 平成3年卒

専門 乳腺疾患一般、乳がん検診

准教授



くぼた ゆうたろう  
久保田 祐太郎

卒業 昭和大学 平成15年卒

専門 腫瘍内科

准教授



まつなわ まなぶ  
松縄 学

卒業 昭和大学 平成12年卒

専門 血液内科

助教



とみなが まきこ  
富永 牧子

卒業 筑波大学 平成15年卒

専門 小児内科、先天異常症  
臨床遺伝学

講師



おくやま あゆみ  
奥山 亜由美

卒業 福島県立医科大学 平成21年卒

専門 周産期医学、超音波医学  
臨床遺伝学

講師  
薬剤師



いちくら だいすけ  
市倉 大輔

卒業 東京理科大学 平成14年卒

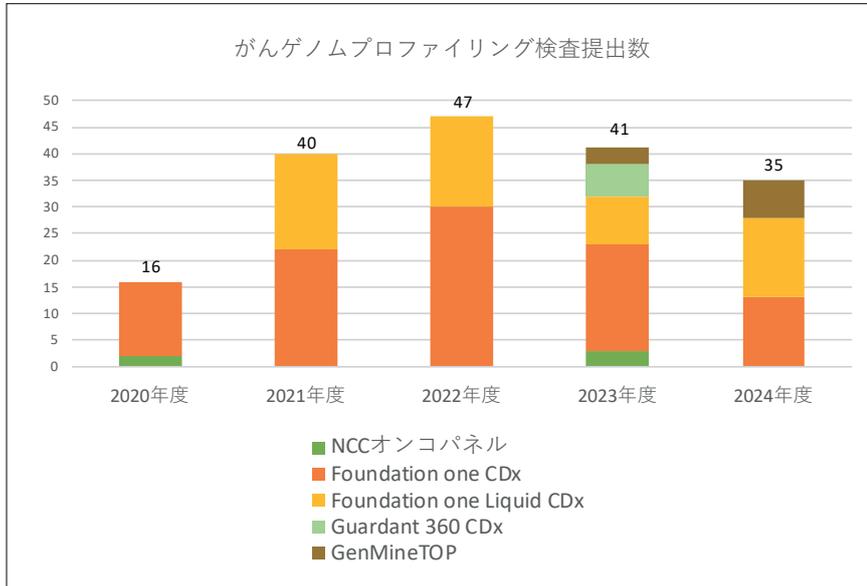
専門 臨床腫瘍薬学

氏名	卒業	専門
認定遺伝 カウンセラー いずみ みきこ 和泉 美希子	九州大学 平成10年卒	遺伝カウンセリング学

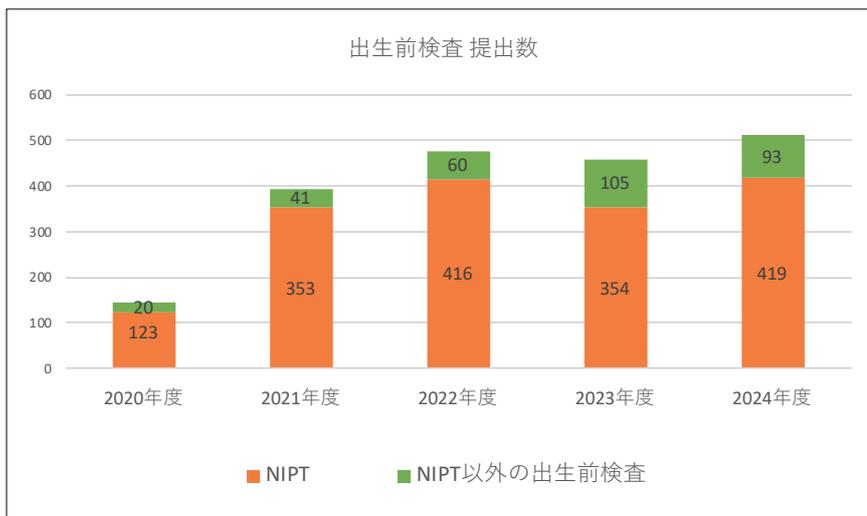
氏名	卒業	専門
認定遺伝 カウンセラー さくらい あやの 櫻井 彩乃	順天堂大学 令和2年卒	遺伝カウンセリング学

臨床遺伝・  
ゲノム医療センター  
診療科紹介

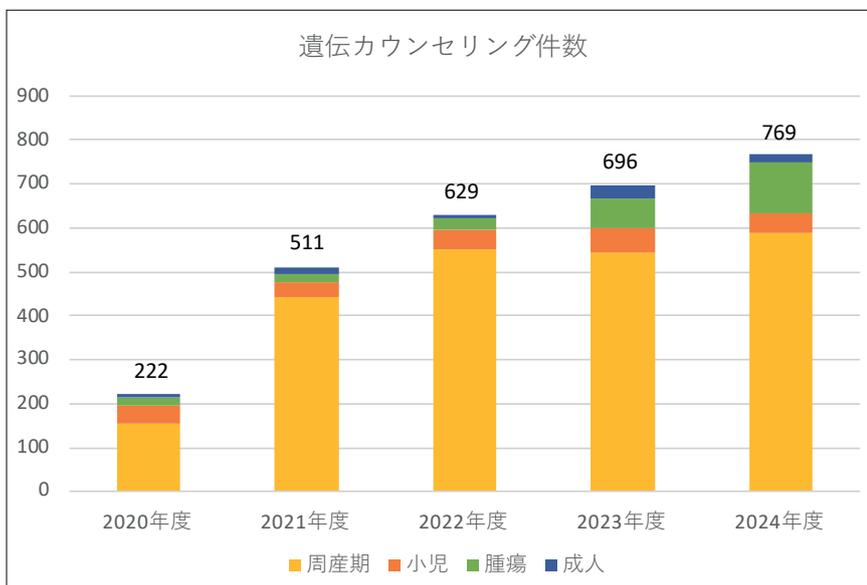
## 主な診療実績等



◆検査種類の増加に適宜対応し、がん診療を行う各診療科と連携を図りながら、保険診療の範囲内でのがんゲノムプロファイリング検査を実施している。



◆すべての出生前検査に対して検査前遺伝カウンセリングを行い、夫婦のニーズに合った検査を提出している。



◆周産期、小児・先天異常、遺伝性腫瘍、成人発症疾患、それぞれの分野の遺伝カウンセリングに対応している。

## 診療科長／准教授



いとう ひでとし  
伊藤 英利

## 特任教授／病院長



さかした あきこ  
坂下 暁子

卒業	帝京大学 平成7年卒
専門	腎臓内科、血液浄化療法
資格	日本内科学会：総合内科専門医・指導医 日本透析医学会：透析専門医・指導医 日本腎臓学会：腎臓専門医・指導医 腹膜透析医学会：腹膜透析認定医 多発性腎嚢胞協会：PKD 認定医 腎代替療法専門指導士 日本透析医学会：VA 血管内治療認定医 透析 VAVIT 医学会：VAVIT 認定専門医 透析 VAVIT 医学会：VAVIT 血管内治療医

卒業	昭和大学 昭和60年卒
専門	血液内科

## 診療内容・特色

当科には、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、血液内科、腫瘍内科の専門医が在籍しており、全身を総合的に診療できる体制を整えています。

細分化された専門領域にとらわれることなく、多彩な合併症を持つ症例にも対応できるよう、関連診療科やセンターと密接に連携し、横断的なチーム医療を実践しています。

## 主な対象疾患

- 腎臓内科：糸球体疾患（腎炎、ネフローゼ症候群）、腎不全（急性腎障害、慢性腎臓病）、電解質異常、腎代替療法（血液透析、腹膜透析）、透析シャントトラブル
- 脳神経内科：脳血管障害、感染症・炎症性疾患（髄膜炎、脳炎、脊髄炎など）、脱髄性疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎など）、末梢神経疾患、筋疾患、神経節接合部疾患（重症筋無力症など）、変性疾患（パーキンソン病、レビー小体型認知症）、発作性・機能的疾患（てんかん）
- 糖尿病・代謝・内分泌内科：糖尿病全般、内分泌全般（下垂体疾患、副腎疾患、甲状腺疾患など）
- リウマチ・膠原病内科：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎／皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、血管炎症候群（高安動脈炎から顕微鏡的多発血管炎）、リウマチ性多発筋痛症、ベーチェット病、成人発症スティル病、抗リン脂質抗体症候群、血清反応陰性脊椎関節炎（乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、反応性関節炎）、IgG4関連疾患、RS3PE 症候群
- 血液内科：現在、新規患者さんの受け入れを一時停止しております
- 腫瘍内科：乳がん、消化器がん、肺がん、婦人科がん、泌尿器がんなどの固形がん全般、軟部肉腫などの希少がん
- 感染症内科：敗血症、菌血症、抗微生物薬耐性微生物による感染症、真菌感染症

## スタッフ

教授  
副院長

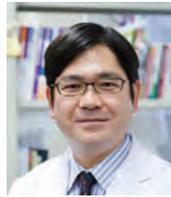


おがた ひろあき  
緒方 浩顕

卒業 信州大学 平成元年卒

専門 医学教育学、腎臓内科  
血液浄化療法Ca・骨代謝

准教授



みわ ゆうすけ  
三輪 裕介

卒業 昭和大学 平成8年卒

専門 リウマチ、膠原病

准教授



くに いよう  
國井 葉

卒業 日本医科大学 平成11年卒

専門 内分泌内科、甲状腺超音波

准教授



まつなわ まなぶ  
松縄 学

卒業 昭和大学 平成12年卒

専門 血液内科

准教授



くぼた ゆうたろう  
久保田 祐太郎

卒業 昭和大学 平成15年卒

専門 腫瘍内科

准教授



やの さとし  
矢野 怜

卒業 昭和大学 平成15年卒

専門 脳神経内科

講師

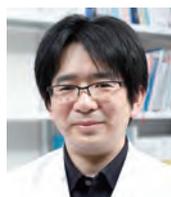


たくま たかひろ  
詫間 隆博

卒業 九州大学 平成9年卒

専門 感染症内科

講師



やまもと まさひろ  
山本 真寛

卒業 昭和大学 平成14年卒

専門 腎臓内科

講師



よしはら あや  
吉原 彩

卒業 東邦大学 平成16年卒

専門 糖尿病・代謝・内分泌内科

講師



たどころ りえ  
田所 梨枝

卒業 日本大学 平成19年卒

専門 内分泌内科、甲状腺超音波

内科

診療科紹介

# 内科

氏名	卒業	専門
助教 かとう 加藤 まさのり 雅典	昭和大学 平成20年卒	腎臓内科
助教 さいとう 齋藤 よしのり 佳範	昭和大学 平成22年卒	腎臓内科
助教 すがわら 菅原 ひろひと 浩仁	札幌医科大学 平成22年卒	腎臓内科
助教 にしみ 西見 しんいちろう 慎一郎	昭和大学 平成24年卒	リウマチ、膠原病
助教 ささき 佐々木 ようへい 陽平	昭和大学 平成27年卒	血液内科
助教 みき 三木 あやこ 綾子	昭和大学 平成27年卒	脳神経内科
助教 よしだ 吉田 きりゆう 輝龍	昭和大学 平成28年卒	腎臓内科
助教 ふじた 藤田 たかふみ 崇史	昭和大学 平成28年卒	腎臓内科
助教 みむら 三村 ゆうき 優樹	昭和大学 平成29年卒	糖尿病・代謝・内分泌内科
助教 しげまつ 重松 ひろや 寛哉	昭和大学 平成30年卒	腎臓内科
助教 おまち 尾町 たけまさ 健将	昭和大学 平成30年卒	糖尿病・代謝・内分泌内科
助教 いのうえ 井上 りょう 良	京都大学 平成30年卒	リウマチ、膠原病

氏名	卒業	専門
助教 おざわ 小澤 しゅうたろう 秀太郎	昭和大学 令和元年卒	糖尿病・代謝・内分泌内科
助教 おざわ 小澤 じゅんのすけ 準之輔	聖マリアンナ 医科大学 令和元年卒	脳神経内科
助教 ふきた 蒔田 じゅんぺい 淳平	昭和大学 令和元年卒	リウマチ、膠原病
助教 みずやま 水山 ひろき 拓紀	昭和大学 令和2年卒	腎臓内科
助教 ふくざき 福崎 ゆうり 由莉	北里大学 令和2年卒	腎臓内科
助教 あんざい 安西 こうのすけ 幸之助	聖マリアンナ 医科大学 令和3年卒	腎臓内科
助教 ふるた 古田 あきひろ 皓啓	昭和大学 令和3年卒	腎臓内科
助教 やまぐち 山口 てつろう 哲朗	岩手医科大学 令和4年卒	腎臓内科
助教 しのはら 篠原 たかひろ 隆宏	昭和大学 令和4年卒	脳神経内科
助教 ふくなり 福成 のぶと 信人	昭和大学 令和5年卒	腎臓内科
助教 みずの 水野 あや 彩	川崎医科大学 令和5年卒	腎臓内科

## 主な診療実績等

2024年度

腎臓内科	血液透析導入	40例	腹膜透析導入	7例
	腎生検	24件	バスキュラーアクセス関連手術	48件
	腹膜透析関連手術	22件	経皮的バスキュラーアクセス拡張術 (DCB5件含む)	149件
	カフ型カテーテル挿入	24件		
脳神経内科	脳血管障害	2例	感染症・炎症性疾患	25例
	脱髄性疾患	11例	末梢神経疾患	14例
	筋疾患	14例	変性疾患	36例
	発作性・機能的疾患	20例	脳波	150件
	神経伝導検査	100件	針筋電図	40件
	神経・筋生検	1件		
糖尿病・ 代謝・ 内分泌内科	糖尿病教育入院 (1型・2型糖尿病)	85例	糖尿病ケトアシドーシス・ 高浸透圧高血糖状態	13例
	内分泌疾患精査入院 (原発性アルドステロン症、 副腎不全、尿崩症、先端巨大症、 下垂体機能低下症など)	15例		
リウマチ・ 膠原病内科	関節リウマチ	181例	全身性エリテマトーデス	37例
	多発性筋炎・皮膚筋炎	20例	血管炎症候群	47例
	強皮症	21例	lgG4関連疾患	23例
	その他の膠原病疾患	155例		
腫瘍内科	乳がん	23例	肺がん	10例
	消化器がん	6例	原発不明がん	3例
	婦人科がん	2例	軟部肉腫	1例
	胚細胞腫瘍	1例	その他	1例
感染症内科	血液培養陽性患者	276例	コンサルトほか	19例

内科

診療科紹介

# 皮膚科

## 診療科長・教授



わた なべ ひで あき  
渡辺 秀晃

卒業	昭和大学 平成7年卒
専門	重症型薬疹・アトピー性皮膚炎・乾癬
資格	日本皮膚科学会：認定皮膚科専門医 医学博士 日本皮膚科学会東京支部代議員 日本研究皮膚科学会評議員 日本皮膚免疫アレルギー学会代議員 日本皮膚免疫アレルギー学会薬疹専門部会委員 医薬品医療機器総合機構(PMDA)専門委員 昭和大学病院臨床試験審査委員会(IRB)委員 神奈川県乾癬治療研究会理事

## 診療内容・特色

当皮膚科では、アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、湿疹皮膚炎群、蕁麻疹、真菌症、带状疱疹・蜂窩織炎などのウイルス・細菌感染症、水疱症、皮膚腫瘍など皮膚科全般の疾患を診療しています。

2024年度より最新の紫外線療法機器(UVB-LED光源を搭載)を導入し、アトピー性皮膚炎や乾癬、類乾癬、円形脱毛症、悪性リンパ腫などの保険適応となっている疾患に対応いたします。また、重症を含む薬疹・多形紅斑・中毒疹などの積極的な受け入れ、アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤の導入、手術室を用いた皮膚外科手術に特に注力いたします。

重症薬疹の受け入れは二次救急拠点病院Aの指定を受けている横浜市北部病院ならではの特色としていきたいと思っております。アトピー性皮膚炎や乾癬の生物学的製剤導入後のフォローはご紹介頂いた先生方へお願いする、二人主治医制度に力を注いでいきます。手術室を用いた皮膚外科手術で「安心・安全・綺麗」な環境での手術を患者さんに提供致します。

入院に関しましては、蜂窩織炎や带状疱疹などの感染症、天疱瘡や類天疱瘡などの水疱症、スティーヴンス・ジョンソン症候群や中毒性表皮壊死症などの重症な皮膚疾患の入院治療を行います。

クリニックや皮膚科医の常住していない病院の先生方には、重症の皮膚疾患をご紹介いただければと思います。当院での治療が終了され落ち着いた患者さんには、ご紹介元での加療(逆紹介)を積極的にお願いさせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。

## 主な対象疾患

アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、蕁麻疹、痒疹、紫斑病、皮膚潰瘍、褥瘡、熱傷、水疱症、膿疱症、膠原病、皮膚腫瘍、母斑、爪甲疾患、脱毛症、蜂窩織炎など細菌性疾患、带状疱疹や麻疹などウイルス性疾患、足白癬など真菌感染症など。

特に

- ・専門医性を活かして適切なアトピー性皮膚炎や乾癬に対する生物学的製剤の導入を行っています。あらゆる生物学的製剤の使用が可能です。
- ・重症型薬疹(多形紅斑重症型、Stevens-Johnson症候群/中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群(DIHS))への集約的治療に力を入れています。
- ・2022年度から手術室を使った手術を行っています。
- ・2024年度より最新の紫外線療法機器(UVB-LED光源を搭載)を用いた紫外線療法を行っています。

## スタッフ

准教授



ほ さか ひろ おみ  
保坂 浩臣

卒業 昭和大 平成8年卒

専門 薬疹

氏名	卒業	専門
助教 さかい なおひろ 境井 尚大	福井大学 平成28年卒	皮膚科全般、乾癬 アトピー性皮膚炎
助教 すなが ちさと 須永 知里	川崎医大 平成28年卒	皮膚科全般 アトピー性皮膚炎、乾癬

氏名	卒業	専門
助教 やまぐち ぶん たろう 山口 文太郎	昭和大 平成28年卒	皮膚科全般、皮膚外科
助教 さくらい たかよし 桜井 隆喜	昭和大 平成30年卒	皮膚科全般、皮膚外科

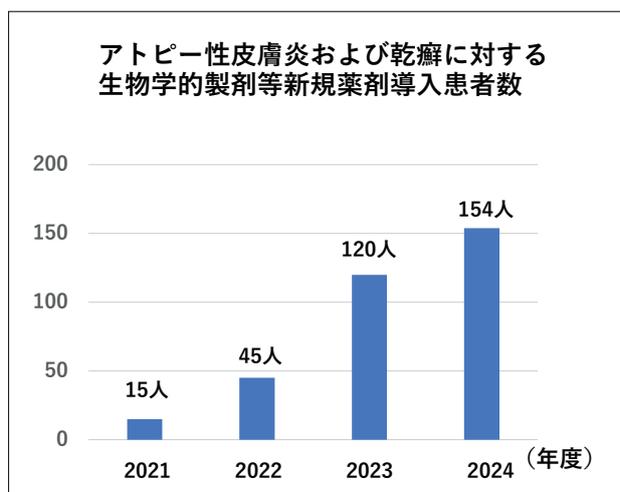
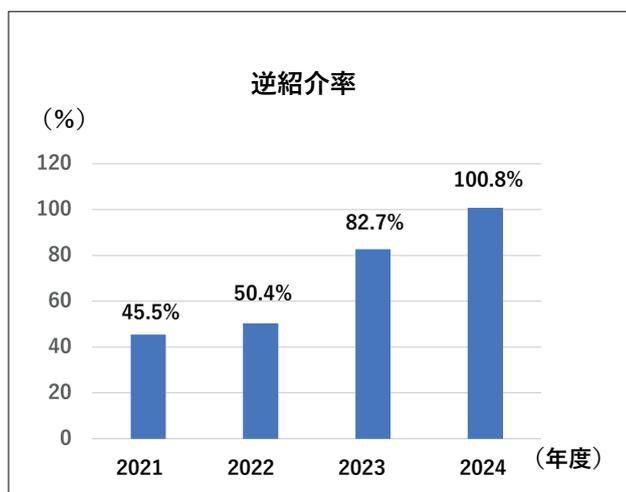
皮膚科

診療科紹介

## 主な診療実績等

2024年度

逆紹介率	皮膚科入院患者延数(年)
100.8 (%)	1,866人



# 放射線科・放射線治療科

## 放射線科診療科長・教授



ふじ さわ ひで ふみ  
藤澤 英文

## 放射線治療科診療科長・准教授



しんじょう ひで のり  
新城 秀典

放射線科・  
放射線治療科

診療科紹介

卒業	昭和大学 平成5年卒
専門	胸部画像診断、画像下治療(IVR)
資格	日本専門医機構：放射線科専門医・放射線診断専門医 日本IVR学会：IVR専門医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本乳がん検診制度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医 日本核医学会：PET核医学認定医

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	放射線治療
資格	日本専門医機構：放射線科専門医、放射線治療専門医 日本核医学会：核医学専門医、PET核医学認定医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医

## 診療内容・特色

診断部門では、画像診断およびIVR(画像下治療)を担当しています。画像診断はCT、MRI、核医学検査のすべての検査に対して、専門医による読影レポートを短時間で作成しています。検査ごとに最適化された撮影プロトコールと最新の画像処理技術で画像を作成し、高精細ディスプレイを用いて診断することで、良質な画像診断が行える環境を構築しております。PET-CTが配置されていることも当院の特徴で、従来からのFDG-PETに加えてアミロイドPETも始めました。IVRでは各種腫瘍に対する経カテーテル的塞栓術、出血の塞栓術、内臓動脈瘤、血管奇形、消化管静脈瘤などの塞栓術、画像ガイド下生検およびドレナージ、中心静脈ポート留置術、ラジオ波焼却術、経皮的椎体形成術などを主に行っています。

治療部門では、最新の放射線治療機器を活用し、患者さん毎に最適な治療法を提案しています。三次元原体照射や定位放射線治療、強度変調放射線治療を更に進化させたRapid-arc、など多彩できめ細やかな治療を行うことで、副作用の低減を図り、治療効果を高めています。昭和医科大学病院及び関連施設とも密に連携し、治療方針や治療方法を検討して標準治療を提供しています。

## 主な対象疾患

- IVR：肝細胞癌、転移性肝癌、転移性骨腫瘍、肺腫瘍、内臓動脈瘤、消化管静脈瘤、動静脈奇形、内臓出血、後腹膜出血、産科危機的出血、深部膿瘍
- 放射線治療：ほぼ全ての悪性腫瘍

## スタッフ

### 講師



にい や あき ふみ  
新谷 暁史

卒業 昭和大 平成24年卒

専門 放射線治療

氏名	卒業	専門
助教 わたなべ こうた 渡邊 孝太	昭和大 平成20年卒	画像診断(頭頸部、骨盤) IVR
助教 はしづめ のりひろ 橋詰 典弘	昭和大 平成22年卒	画像診断(心血管、婦人科) IVR
助教 あいはら まこと 相原 麻琴	宮崎大 令和2年卒	画像診断
助教 むらせ ゆうや 村瀬 悠也	日本医科大 令和2年卒	画像診断
助教 うえはら ちさき 上原 千咲	浜松医科大 令和3年卒	画像診断

氏名	卒業	専門
助教 かとう かずのり 加藤 和憲	名古屋 市立大 令和3年卒	画像診断
助教 ふじおか あもん 藤岡 亜門	慶応義塾大 令和2年卒	画像診断
助教 ふくや こうへい 福谷 光平	昭和大 令和4年卒	画像診断
助教 なかぐち みお 中口 美央	杏林大 令和5年卒	画像診断
助教 ふせがわ こうすけ 府瀬川 浩佑	昭和大 令和5年卒	画像診断

放射線科・  
放射線治療科  
診療科紹介

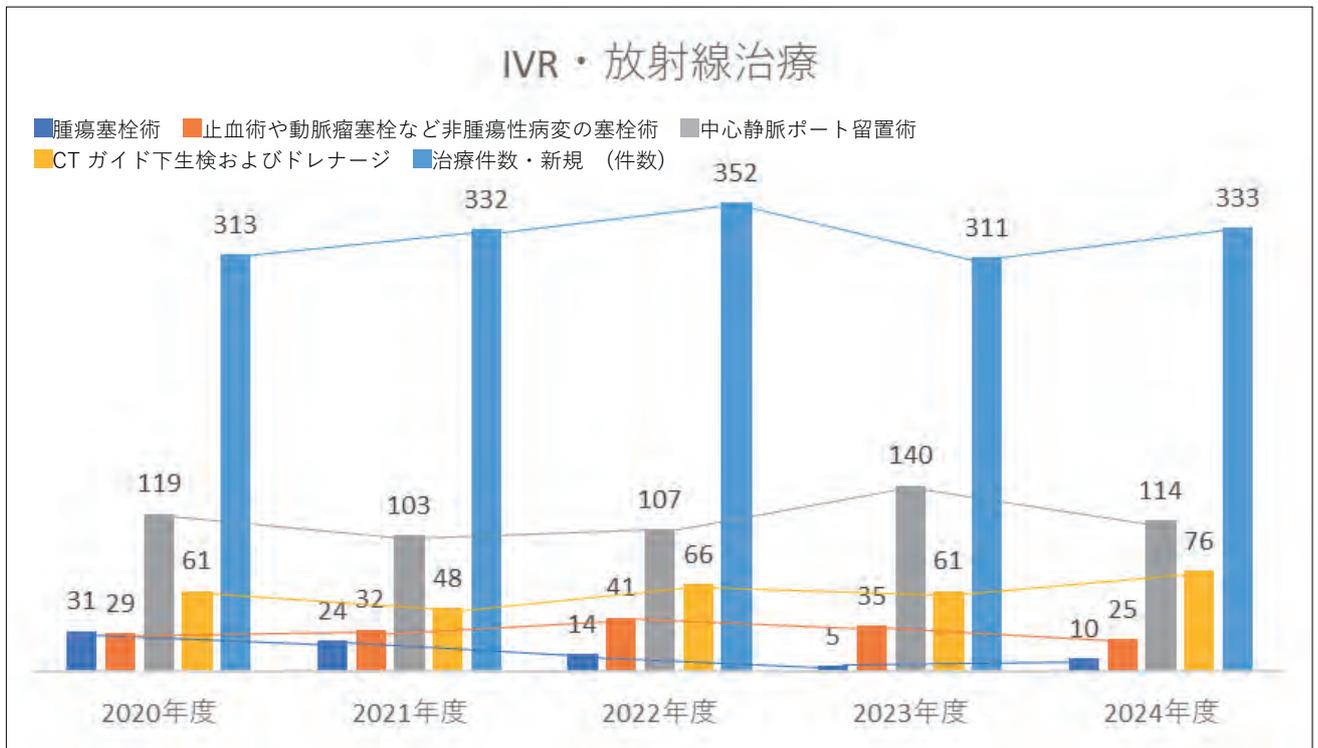
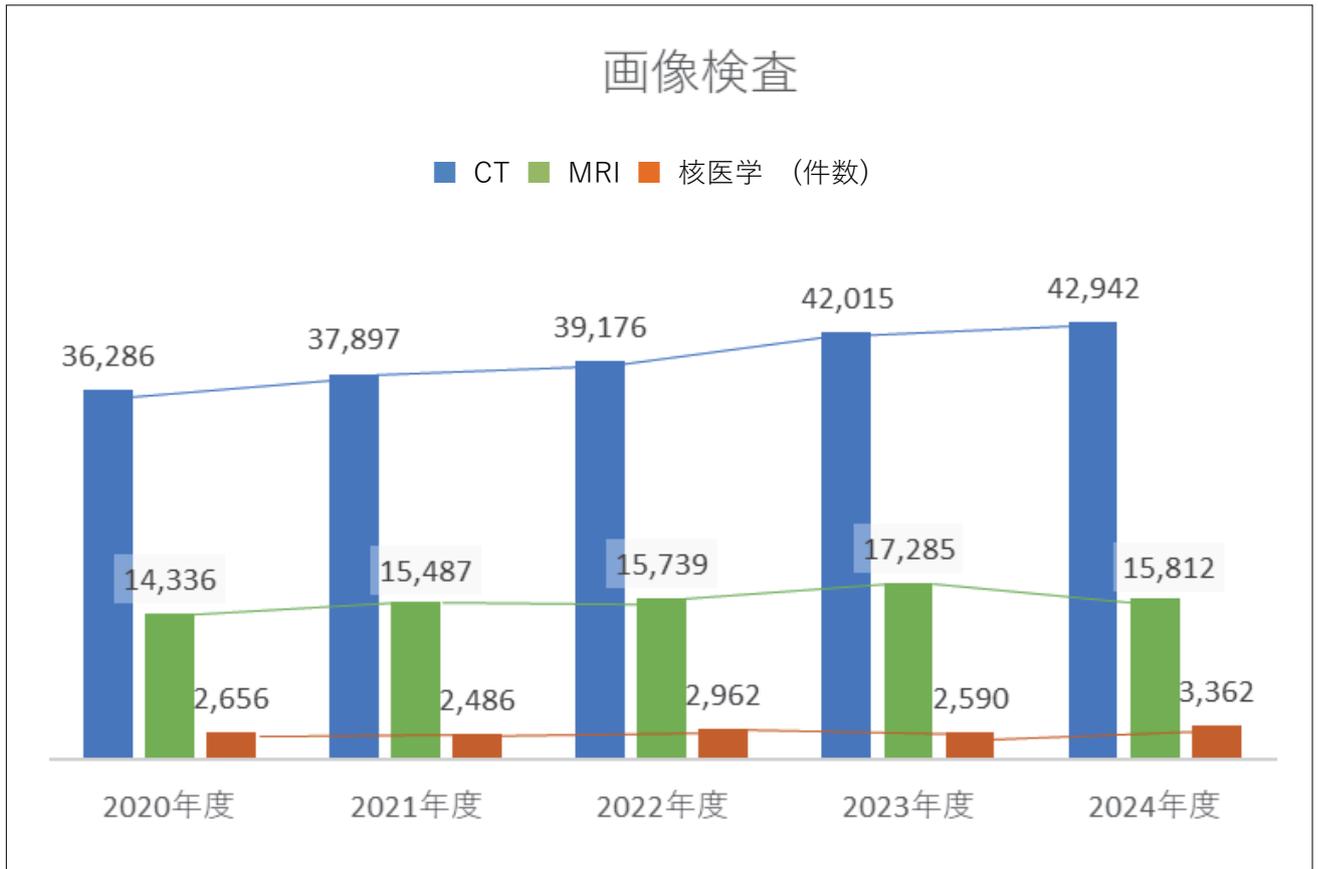
## 主な診療実績等

2024年度

検査件数	CT 42,942件
	MRI 15,812件
	核医学 3,362件 (PET-CT 1,191件)
IVR	腫瘍塞栓術 10件
	止血術や動脈瘤塞栓など非腫瘍性病変の塞栓術 25件
	中心静脈ポート留置術 114件
	CTガイド下生検およびドレナージ 76件
放射線治療 治療件数	新規333件

# 放射線科・放射線治療科

放射線科・  
放射線治療科  
診療科紹介



## 診療科長・教授



ねもと てつお  
根本 哲生

卒業	東邦大学 昭和63年卒
専門	人体病理学、消化管病理学
資格	日本病理学会：病理専門医・病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会：細胞診専門医 日本臨床検査医学会：臨床検査管理医 死体解剖資格 日本病理学会：学術評議員 日本食道学会：評議員 日本消化器内視鏡学会：関東支部会評議員 東京医科歯科大学臨床教授

## 診療内容・特色

当科には病理診断と臨床検査の2つの部門があります。

病理診断は検査・手術で摘出した病変から作製した標本を、病理専門医・細胞診専門医が顕微鏡で観察し診断を下します。病理診断は診療における最終診断と位置づけられ、治療方針の決定に大きな役割を担っています。患者さんに直接お会いすることはありませんが、昭和医科大学横浜市北部病院における質の高い診療の根幹を支えています。

一方、臨床検査領域では、臨床検査と感染症の専門医がおり、検査でパニック値が出た症例への対応や、感染管理業務を行っています。臨床検査技師とともに、法令に定められた臨床検査の品質維持に必要な業務を担当しつつ、極端な異常値、危険な病原体が検出された場合、臨床側に告知、対応を確認する業務です。また、内科外来の一環として不明熱の患者さんや、海外から来られた方の発熱・下痢の診療、梅毒の検査で陽性となられた方の診療や近隣の医療機関を含めた医療従事者の針刺し事故の診療を行っています。

## 主な対象疾患

### ●病理診断

病理診断領域は呼吸器(肺癌、肺炎等)、中枢神経(脳腫瘍、血管奇形等)、造血器(白血病、悪性リンパ腫等)、消化管(胃癌、大腸癌等)、肝臓(肝癌、慢性肝炎等)、膵臓(膵腫瘍、膵炎等)、子宮(子宮頸癌、子宮体癌等)、卵巣(卵巣癌等)、乳腺(乳癌、乳腺症等)、内分泌(甲状腺、副甲状腺、副腎等)、皮膚(腫瘍、炎症性疾患等)、腎臓(糸球体腎炎、腎癌等)、細胞診(婦人科、尿、甲状腺、喀痰、体腔液等) 等

### ●臨床検査

不明熱症例の精査に関するコンサルテーション対応や、針刺し/体液曝露事故の診療、梅毒など検査結果の解釈にお困りの際、火曜午前の内科外来枠で、木村医師が患者さんへのご説明やフォローアップを行っています。

# 臨床病理診断科

## スタッフ

### 教授



きむら さとし  
木村 聡

卒業 新潟大学 昭和59年卒

専門 感染症学、臨床免疫学

氏名	卒業	専門
講師 こいけ ちひろ 小池 千尋	信州大学 平成19年卒	人体病理学
助教 にほんやなぎ やすひろ 二本柳 康博	旭川医科大学 平成6年卒	人体病理学

氏名	卒業	専門
助教 こもぶち えみ 菰淵 瑛美	昭和大学 平成30年卒	消化器内科学、人体病理学
助教 なかやま しんご 中山 真悟	琉球大学 令和4年卒	人体病理学

## 主な診療実績等

### ●2024年病理診断実績

病理組織診断	11,182件	迅速組織診断	300件
細胞診	6,162件	迅速細胞診	27件
病理解剖	12件		

### ●臨床検査

臨床検査領域では、末梢神経伝導速度や睡眠時無呼吸検査など生理機能検査所見へのコメント記載を行なっています。また検体検査では血液培養陽性となった症例に適切なコメントが入っているか、主治医や病棟が的確な対応をとっているかを確認し、適宜コンサルテーションを受けています。さらに木村医師が針刺しや血液暴露事故に遭遇した医療スタッフの外来診療を担当するとともに、産業医として職場環境の改善や職員面談にも取り組んでいます。

## 診療科長・准教授



ふくしま みつひろ  
**福島 光浩**

## 特任教授



ふくなり のぶひろ  
**福成 信博**

卒業	日本医科大学 平成4年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波
資格	日本外科学会：外科専門医・指導医 日本超音波医学会：超音波専門医・指導医 日本内分泌外科学会：内分泌外科専門医・指導医・評議員 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本乳腺甲状腺超音波医学会：甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医・指導医

卒業	昭和大学 昭和59年卒
専門	内分泌外科、甲状腺超音波 甲状腺インターベンション治療
資格	日本外科学会：外科専門医・指導医 日本超音波医学会：超音波専門医・指導医 日本消化器外科学会：消化器外科専門医 日本甲状腺学会：甲状腺学会専門医・評議員 日本内分泌外科学会：内分泌外科専門医・評議員

外科  
診療科紹介

## 診療内容・特色

外科系総合診療科として診療しております。

主に内分泌外科手術を行っており、甲状腺センターの外科チームとして甲状腺、副甲状腺疾患を中心に、外科手術のみならず非手術的な加療(Intervention)を積極的に取り入れています。甲状腺ラジオ波焼灼療法を日本で唯一おこなうなど、より専門性を強く診療しております。(詳細は甲状腺センターの項をご参照ください。)

形成外科は独立した科として、専門の医師が診療に当たります。先天的または後天的に生じた身体の変形や欠損を、整容的(見た目)にも機能的にも改善することを目的とする専門の診療科です。頭部から手足に至るまで体表の異常を中心に診療を行っております。具体的には顔や手足の先天異常、腫瘍、顔面の骨折、手足・顔面の外傷、火傷、傷跡の修正などが対象になります。また当院は日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建用エキスパンダー／インプラント実施施設です。

## 主な対象疾患

- 甲状腺疾患：甲状腺良性腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病、橋本病、甲状腺嚢胞 など
- 副甲状腺疾患：副甲状腺機能亢進症(原発性、続発性)、副甲状腺癌、副甲状腺嚢胞 など
- 形成外科：先天性疾患：口唇口蓋裂、手足の多指症、合指症、臍ヘルニア(でべそ)、  
『耳介変形(埋没耳・副耳・耳瘻孔)  
腫瘍：皮膚良性腫瘍(母斑、血管腫)、皮膚悪性腫瘍およびそれに関する再建、  
軟部腫瘍、乳癌切除に関する乳房再建  
外傷：顔面外傷、顔面骨骨折(頬骨・眼窩・鼻骨・顎骨)、熱傷、  
ケガに伴う瘢痕(きずあと)、瘢痕拘縮、ケロイド、変形  
その他：眼瞼下垂、睫毛内反(逆まつげ)、爪変形(陥入爪) など

## スタッフ(外科)

講師

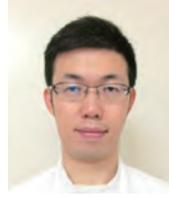


さか うえ さと し  
坂上 聡志

卒業 昭和大学 平成16年卒

専門 内分泌外科、一般消化器外科

講師



なか の まさ ひで  
中野 賢英

卒業 昭和大学 平成18年卒

専門 内分泌外科、甲状腺超音波

氏名	卒業	専門
助教 つかもと だいき 塚本 大樹	昭和大学 平成29年卒	内分泌外科、一般外科 救急医学

## スタッフ(形成外科)

講師



たつ た さ よ  
辰田 紗世

卒業 日本大学 平成25年卒

専門 乳房再建、一般形成外科

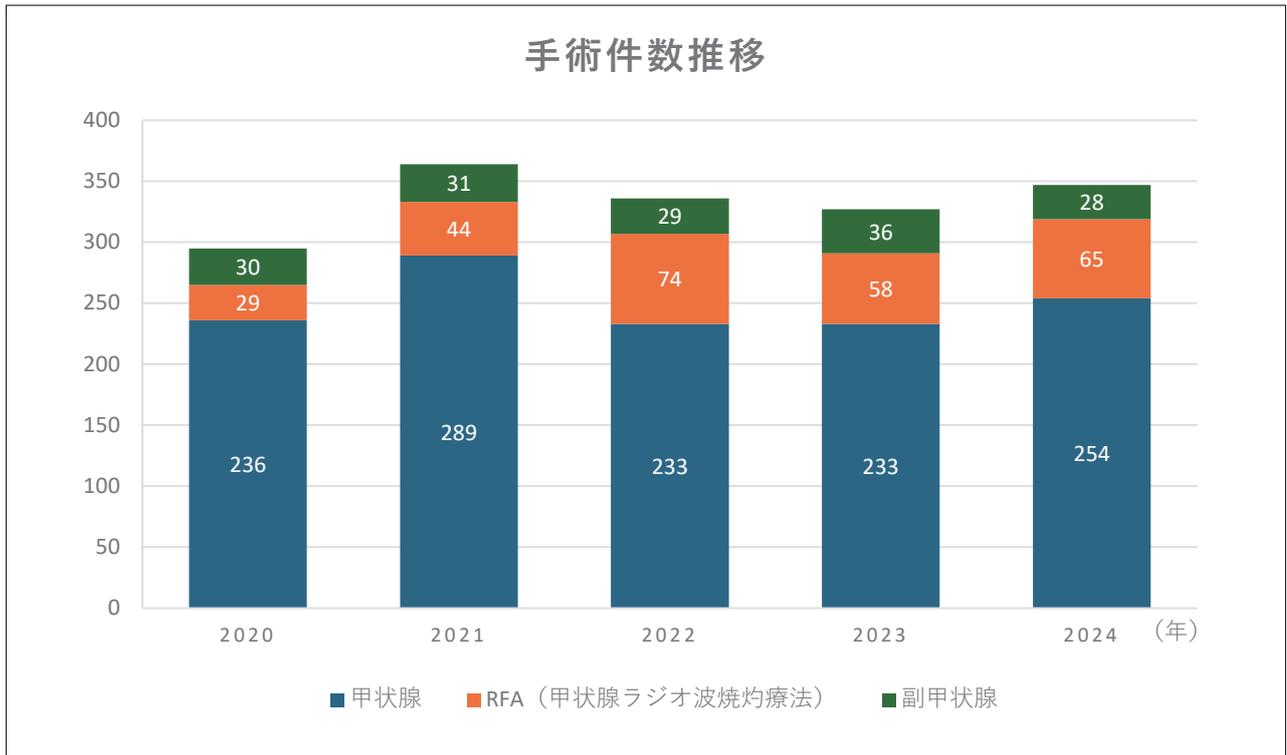
氏名	卒業	専門
助教 もりた ゆうき 森田 裕紀	大阪市立大学 平成28年卒	形成外科、一般形成外科

## 主な診療実績等

### ●2020年～2024年 手術件数推移 (外科)

	2020	2021	2022	2023	2024
甲状腺	236	289	233	233	254
RFA*	29	44	74	58	65
副甲状腺	30	31	29	36	28

※甲状腺ラジオ波焼灼療法



外科

診療科紹介

### ●2024年 手術実績 (形成外科)

手術件数	465件 (入院：159件、外来：306件)
手術内容	良性・悪性皮膚軟部腫瘍摘出術およびそれに関連した再建術、皮弁術、植皮術、顔面骨骨折靦血的整復固定術、眼瞼下垂手術、瘢痕拘縮手術、口唇口蓋裂手術、骨移植術、耳介形成術など

### ●2020年～2024年 手術件数推移 (形成外科)

	2020	2021	2022	2023	2024
外傷	46	47	58	67	52
先天性疾患	34	37	53	45	43
腫瘍	453	481	484	458	264
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	16	32	31	23	21
難治性腫瘍	6	19	12	17	48
炎症・変性疾患	8	17	21	19	24
その他	23	30	25	27	13

# 乳腺外科

## 診療科長・教授



ちしま たかし  
千島 隆司

卒業	福島県立医科大学 平成3年卒
専門	乳腺疾患一般、乳がん検診
資格	日本乳癌学会：評議員・乳腺専門医・指導医 日本外科学会：外科専門医・指導医 日本遺伝性腫瘍学会：遺伝性腫瘍専門医 日本乳癌検診学会：評議員 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会：評議員 日本サイコオンコロジー学会：代議員 日本消化器外科学会：認定登録医(専門医)・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医 日本乳がん検診精度管理中央機構：検診マンモグラフィ読影認定医、乳房超音波検診実施・判定医 日本医師会：認定産業医 米国癌学会(AACR)：Active Member 米国臨床腫瘍学会(ASCO)：Active Member

## 診療内容・特色

現在、日本における乳がんの罹患者数は年間10万人とされています。特に、乳がんは40歳後半から50歳代で罹患者が多く、職場でも家庭でも中心的な役割を担う世代で発症するのが特徴です。その一方で、85%の乳がん患者さんは病気を克服して「もとの人生」へ戻ることができるようになりました。これからの乳がん診療は、治療だけではなく「がんが治った後の生活」も考えた患者支援が必要となってきます。

2023年4月に新設した当科では、乳腺専門医(乳腺外科)、がん薬物療法専門医(腫瘍内科)、放射線治療専門医(放射線科)、形成外科専門医(形成外科)に加え、がん看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、がん専門薬剤師などのがん治療の専門家がチームを作り、患者さんが安心・安全に乳がん治療を受けられるような環境作りに取り組んでいきます。

## 主な対象疾患

- 悪性疾患：乳がん(男性乳がんも含む)、間質肉腫、血管肉腫などの乳腺悪性腫瘍
- 良性疾患：線維腺腫、葉状腫瘍などの乳腺良性腫瘍、乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳腺症、乳頭異常分泌、ホルモン異常による乳房痛、女性化乳房症、腋窩リンパ節腫大
- 二次乳がん検診(精密検査)：腫瘤、石灰化病変に対する組織診断

## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 こまつ 小松	東京女子 医科大学 平成27年卒	乳腺疾患一般、乳がん検診
助教 まつやなぎ 松柳	昭和大学 平成27年卒	乳腺疾患一般、乳がん検診

氏名	卒業	専門
助教 やの 矢野	昭和大学 平成31年卒	乳腺疾患一般、乳がん検診

## 主な診療実績等

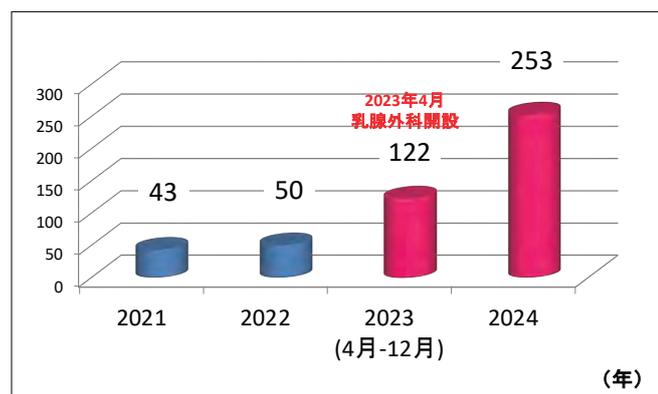
### ●2024年 手術件数

悪性疾患手術件数			
乳房全切除術	124例	センチネルリンパ節生検	197例
乳頭乳輪温存乳房全切除術	11例	腋窩郭清	60例
乳房部分切除術	106例		
その他	12例		

良性疾患手術件数	
腫瘍摘出術	13例
その他	8例

乳房再建（一次一期再建）手術件数	
人工乳房再建術	17例
自家組織再建術	1例

### ●乳房悪性腫瘍根治手術件数／年次推移



2024年度の乳房悪性腫瘍の根治手術件数は253例でした。  
乳腺外科開設以降2倍のペースで増えています。

# 脳神経外科

## 診療科長／教授



わだ あきら  
和田 晃

## 特任教授



てらだ ともあき  
寺田 友昭

卒業	昭和大学 平成8年卒
専門	脳血管障害、脳腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛
資格	医学博士 日本脳神経外科学会：脳神経外科専門医・指導医 脳神経血管内治療学会認定専門医 日本脳卒中学会：脳卒中専門医・指導医 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

卒業	和歌山県立医科大学 昭和55年卒
専門	脳神経血管内治療
資格	医学博士 脳神経血管内治療学会認定指導医 日本脳神経外科学会：脳神経外科専門医・指導医 日本脳卒中学会：脳卒中専門医・指導医 日本脳卒中の外科学会：技術指導医

## 診療内容・特色

当科では、すべての脳神経外科疾患に対応しておりますが、特に大学病院ならではの高度で専門的な手術治療に力を入れています。また、高齢の患者さんに対しても、総合病院としての強みを生かし、他科と連携しながら総合的な治療を行うことが可能です。現在は、脳血管障害を中心に、脳腫瘍をはじめとするあらゆる脳神経外科疾患に対応しています。診療体制としては、脳神経外科と脳血管センターに分かれています。実際の診療は脳神経外科医6名が一体となって、患者さんの治療と管理にあたっています。治療方針については、カンファレンスで直達手術と血管内治療のどちらがより安全で効果的かを慎重に検討し、患者さんにとって最善の治療を選択しています。

当科の得意とする手術は、①脳動脈瘤に対する直達手術 ②血管吻合術を併用した脳血管障害の手術 ③頸動脈狭窄症に対する直達手術 ④良性・悪性の頭蓋内腫瘍の摘出手術 ⑤顔面けいれん・三叉神経痛に対する微小血管減圧術 ⑥正常圧水頭症に対するシャント手術 です。

特に、顔面けいれんや三叉神経痛は命に関わる病気ではないものの、患者さんの生活の質(QOL)に大きく影響します。当科では、精密検査を行ったうえで、手術による根治が期待できると判断された場合には、患者さんとよく相談の上で積極的に手術治療を行っています。三叉神経痛については、特に痛みにより日常生活に大きな支障をきたすケースが多く、薬での痛みのコントロールが難しい患者さんには、80歳を超えるような高齢の方でも積極的に手術を行っております。

また、地域の医療ニーズに応えるため、すべての救急搬送患者を受け入れています。くも膜下出血、脳出血、脳梗塞、頭部外傷をはじめとするあらゆる脳神経系の救急疾患に、24時間365日対応できる体制を整えております。

## 主な対象疾患

- 脳 腫 瘍：髄膜腫など良性腫瘍全般、神経膠腫、神経膠芽腫、悪性リンパ腫、転移性脳腫瘍、眼窩内腫瘍
- 脳血管障害：巨大脳動脈瘤含めた未破裂脳動脈瘤、硬膜動静脈瘻、くも膜下出血、頸動脈狭窄症、虚血性脳疾患（バイパス術や血管内治療）、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞
- 機 能 障 害：三叉神経痛、顔面けいれん
- 水 頭 症：特発性正常圧水頭症
- 神 経 外 傷：慢性硬膜下血腫、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷

## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 やまが 山家 ひろお 弘雄	愛知医科大学 平成7年卒	脳血管内治療
助教 いちかわ 市川 そういちろう 綜一郎	昭和大学 令和2年卒	脳外科全般

氏名	卒業	専門
助教 なかむら 中村 あきひろ 彰宏	昭和大学 令和2年卒	脳外科全般
助教 おかべ 岡部 じゅんや 純也	昭和大学 令和3年卒	脳外科全般

## 主な診療実績等

### ●2024年 主な手術実績

脳腫瘍：15件	髄膜腫、神経鞘腫：3件
	神経膠腫、神経膠芽腫：1件
	転移性脳腫瘍：7件
	その他：4件
脳血管障害：43件	脳動脈瘤クリッピング術：11件 [未破裂：10／破裂：1]
	内頸動脈内膜剥離術：20件 バイパス術：2件
	高血圧性脳出血：3件
	その他：7件
機能外科／水頭症：13件	微小血管減圧術（顔面けいれん、三叉神経痛）：6件
	水頭症に対するシャント手術：7件
外傷：34件	外傷（急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫）：4件
	慢性硬膜下血腫穿頭血腫洗浄ドレナージ：30件
その他：19件	

### ●2024年 脳血管障害診療実績

未破裂脳動脈瘤	146件	急性期脳卒中（発症7日以内）	186件
脳内出血（発症7日以内）	43件	くも膜下出血	14件
脳動静脈奇形	17件	もやもや病	3件

## 診療科長・教授／副院長



かわ さき けい きち  
川崎 恵吉

卒業 昭和大学 平成3年卒

専門 整形外科一般、手外科

資格  
医学博士  
日本整形外科学会：認定整形外科専門医・指導医  
日本手外科学会：認定手外科指導医・専門医  
日本スポーツ協会公認スポーツドクター

## 診療内容・特色

横浜市北部地域の基幹病院として、質が高く専門性の高い医療を提供できるように昭和医科大学病院(東京都品川区)、藤が丘病院、同リハビリテーション病院(横浜市青葉区)と密接に連携をとりあっています。地域医療支援病院として精密検査、入院、手術が必要な症例、および救急症例の診療を主に行っています。

周辺地域開業医の先生方とは、定期的に研究会を行って病診連携をとり、患者さんの情報提供をスムーズに行えるようにしています。入院、手術などが必要でない患者さんには、かかりつけ医として地域診療所の先生方に逆紹介しています。

また、整形外科疾患では、長期入院加療を要する症例も少なくありません。その場合は地域の病院や医療機関、施設に紹介させていただき、引き続き入院加療をしていただくように連携をとっています。

## 主な対象疾患

- 手関節・肘関節疾患：橈骨遠位端骨折、舟状骨偽関節、母指CM関節症、デュプイトレン拘縮、手根管症候群
- 股関節疾患：変形性股関節症、大腿骨頭壊死、臼蓋形成不全、インピンジメント症候群
- 脊椎疾患：腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎圧迫骨折、転移性脊椎腫瘍
- 膝関節・スポーツ関連疾患：膝前十字靭帯断裂、半月板損傷、変形性膝関節症、内反膝
- 小児整形外科：先天性股関節脱臼、内反足
- 上・下肢外傷：大腿骨近位部骨折、脛骨高原骨折、足関節脱臼骨折、上腕骨近位部骨折

## スタッフ

准教授



ふじ まき よし まさ  
藤巻 良昌

卒業 昭和大学 平成8年卒

専門 整形外科一般、膝関節外科  
スポーツ医学

准教授



まえ だ あき ひこ  
前田 昭彦

卒業 昭和大学 平成10年卒

専門 整形外科一般、股関節  
人工関節、小児整形

准教授



おお した ゆう すけ  
大下 優介

卒業 昭和大学 平成13年卒

専門 整形外科一般、脊椎・脊髄外科

講師



やま ぐち まさ や  
山口 正哉

卒業 昭和大学 平成15年卒

専門 整形外科一般、外傷

講師



い とう りょう た  
伊藤 亮太

卒業 昭和大学 平成16年卒

専門 整形外科一般、小児整形、股関節

講師



さか い たけし  
酒井 健

卒業 聖マリアンナ医科大学 平成19年卒

専門 整形外科一般、手外科  
肘関節外科

講師



はや かわ ちか ら  
早川 周良

卒業 昭和大学 平成23年卒

専門 整形外科一般、脊椎・脊髄外科

# 整形外科

氏名	卒業	専門
助教 わきた 脇田 ひろまさ 浩正	千葉大学 平成24年卒	整形外科一般、手外科 肘関節外科
助教 ふくだ 福田 ゆうほ 悠甫	昭和大学 平成26年卒	整形外科一般、膝関節外科 スポーツ医学
助教 みやがみ 宮上 まこと 真	昭和大学 平成27年卒	整形外科一般、膝関節外科 スポーツ医学
助教 かねこ 金児 けんたろう 健太郎	東京医科大学 平成30年卒	整形外科一般、股関節 人工関節

氏名	卒業	専門
助教 うしお 牛尾 ようすけ 洋輔	川崎医科大学 平成31年卒	整形外科一般、手外科 肘関節外科
助教 いりえ 入江 みなみ 美波	東京女子 医科大学 令和5年卒	整形外科一般
助教 いさわ 岩澤 がく 楽	昭和大学 令和5年卒	整形外科一般
助教 さかばら 榎原 れいか 令華	東京女子 医科大学 令和4年卒	整形外科一般

## 主な診療実績等

●2024年度 手術件数 合計：1,703件  
(内訳)

手外科・上肢	734件
下肢 (人工股関節・人工膝関節・半月板)	395件
人工股関節	263件
人工膝関節	108件
半月板	24件
脊椎	206件
外傷	266件
リウマチ	12件
スポーツ	40件
小児	20件
腫瘍	30件

●特徴的な診療領域

<p>上肢の手術</p>	<p>日本手外科学会認定の手外科専門医が治療にあたります。 (手外科専門医については日本手外科学会のホームページをご参照ください： <a href="http://www.jssh.or.jp/ippan/senmon/about_senmoni.html#pict">http://www.jssh.or.jp/ippan/senmon/about_senmoni.html#pict</a>) 手外科の疾患は非常に多彩で手術も多様です。当院では昭和医科大学藤ヶ丘病院、昭和医科大学附属病院や昭和医科大学江東豊洲病院の手外科専門医と密接に連携しながら治療にあたっています。近年、最小侵襲での手術加療が一般的となってきました。当科では小さな傷で治療が可能な関節鏡による治療を積極的に導入し、TFCC 損傷、舟状骨の偽関節などに対する治療も可能な限り最小侵襲での治療を心がけています。近年、ご高齢の方の人口が増え、転倒による橈骨遠端骨折や上腕骨骨折が増えており、これらに対する骨接合手術を数多く施行しています。特に、高齢患者さんの肘周辺骨折に対しては一期的に人工肘関節置換術も行っており、成績は良好です。また骨折後の変形矯正手術（特に小児の肘関節周辺骨折やその後の変形に対する3次元矯正手術）、難治性舟状骨偽関節や月状骨軟化症などの骨壊死に対する血管柄付き骨移植、神経や腱の手術、関節リウマチに対する滑膜切除術や人工肘・手関節置換術、さらには人工関節を用いない手関節形成術なども行っています。更年期女性における手指の痛みに関しても、当科では積極的に加療を行っており、特に母指CM関節症に対する関節形成術の手術件数は増えています。手に関してお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。</p>
<p>股関節手術</p>	<p>股関節のエキスパートが治療にあたります。セメントを用いない人工股関節置換術（THA）は黒木・宮岡両教授による数千例の手術実績と長期成績を有し、これらのデータとアドバイスをもとに手術を行ってきました。変形性股関節症や関節リウマチ、大腿骨頭壊死症にセメントを用いないTHAを行い、きわめて良好な成績を取っています。さらに両側同時人工股関節手術や再置換術などの難しい症例も積極的に取り組んでいます。また若年者には人工関節を使用せずに関節温存に努め、寛骨臼回転骨切り術や大腿骨頭回転骨切り術などの各種骨切り術を行っています。</p>
<p>脊椎外科</p>	<p>日本脊椎脊髄病学会指導医と日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医が中心になり治療にあたります。初代病院長であり、日本整形外科学会理事長であった黒川高秀東大教授発案の頸椎棘突起縦割法を踏襲しております。腰椎手術は側方アプローチ手術なども患者さんの症状にあわせて対応しております。脊柱管狭窄症をはじめとする変性疾患ばかりでなく脊椎外傷、脊椎感染、転移性脊椎腫瘍など脊椎疾患の手術に対応しております。必要な検査やブロックなどの保存療法を行い、診断と診療方針を決定します。骨粗鬆症を認める椎体骨折の急性期には、一般的にコルセットをもちいた保存的な治療が選択されております。しかしながら、椎体の圧壊が進行する方もいます。疼痛のためADLが低下した方で局所後弯の程度により疼痛の軽減を目的にステントを留置しセメントを椎体内に充填するVertebral Body Stenting (VBS) などを施行しております。ステントは経皮的に挿入し、椎体を整復する低侵襲な治療です。椎間板ヘルニアには、コンドリアーゼ注射による治療法や内視鏡による手術も行っております。症状に応じ手術療法を選択しております。</p>
<p>スポーツ：膝関節</p>	<p>日本整形外科学会認定運動器スポーツ医、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会による膝関節鏡技術認定医が中心になり治療にあたります。膝の靭帯損傷、半月板損傷などに対してスポーツ種目別に専門性の高い治療を行います。関節鏡視下手術をはじめ最小侵襲で早期スポーツ復帰をめざした手術を行っています。発育期のスポーツ障害から、学生アスリート、ナショナルチーム選手、ママさんバレーまで幅広く対応しています。また、比較的高齢者の変形性膝関節症の治療や、O脚変形に対する矯正骨切り術なども積極的に行っておりますのでご相談ください。</p>

## 診療科長・教授



いち づか きよ たけ  
市 塚 清 健

卒業	昭和大学 平成5年卒
専門	産婦人科全般、周産期医学、超音波医学、臨床遺伝
資格	母体保護法指定医 日本産科婦人科学会：産婦人科専門医・産婦人科指導医 日本超音波医学会：超音波専門医・超音波指導医 日本周産期新生児医学会：母体・胎児専門医・臨床研修指導医 日本人類遺伝学会：臨床遺伝専門医 Fetal Medicine Foundation オペレータ資格 新生児蘇生法インストラクター J-CIMELS インストラクター

## 診療内容・特色

当院では、周産期学、婦人科腫瘍学、内視鏡手術などの専門分野のみならず、女性の一生を取り扱う「女性科」として、すべての年代における産婦人科疾患の早期発見・治療と健康管理を行うことを目標としております。

産科診療においては多くの診療科を有する大学附属病院の特色を生かし、合併症を有する妊娠、分娩管理についてはそれぞれの疾患に合わせ、該当診療科、センターなどの協力を得て診療にあたります。特に生殖年齢女性に比較的多く見られる甲状腺疾患や膠原病などはそれぞれ甲状腺センター、母性内科担当医師と、最近増加傾向にあるメンタル合併妊娠についてはメンタルケアセンターとそれぞれ協同して診療にあたって参ります。NICUもございまして母体搬送も積極的に受け入れています。出生前検査や出生前診断については臨床ゲノム遺伝センターと緊密に連携して診療に当たっています。胎児異常が疑われる場合には超音波やMRIを駆使し胎児診断を行い対応いたします。胎児胸水や胎児貧血などでは胎児治療も行います。また、無痛分娩の要望の高まりを受け、2022年から当院でも一定の条件を満たし、無痛分娩をご希望される妊婦さんには、麻酔科医師の麻酔管理の下で無痛分娩も実施しております。

婦人科診療では従来からの子宮筋腫などに対する内視鏡手術に加え、さらに体に負担の少ないロボット手術も実施しております。

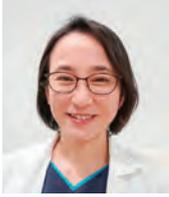
急性期疾患については、治療後、地域医療機関と連携して積極的に逆紹介あるいはかかりつけ医を紹介し、横浜市北部地域の中核病院として機能するよう心がけています。

## 主な対象疾患

- 産科：妊娠悪阻、切迫流産、前置胎盤、羊水過少・過多、胎児発育不全、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、内科疾患合併妊娠、精神疾患合併妊娠、悪性腫瘍合併妊娠、胎児診断、胎児胸水、胎児貧血
- 婦人科：良性腫瘍（子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症）の鏡視下（腹腔鏡、子宮鏡）手術、ロボット手術、悪性腫瘍の手術・化学療法・放射線治療

## スタッフ

准教授



のむら ゆきこ  
野村 由紀子

卒業 昭和大学 平成10年卒

専門 産婦人科全般、骨盤臓器脱  
内視鏡手術

講師



おおば ともひろ  
大場 智洋

卒業 昭和大学 平成16年卒

専門 周産期医学

講師



おくやま あゆみ  
奥山 亜由美

卒業 福島県立医科大学 平成21年卒

専門 周産期医学、超音波医学

講師



せ お こう へい  
瀬尾 晃平

卒業 聖マリアンナ医科大学 平成21年卒

専門 周産期医学、超音波医学  
内視鏡手術

講師



ひろ せ ゆう すけ  
廣瀬 佑輔

卒業 昭和大学 平成22年卒

専門 婦人科腫瘍、内視鏡手術

産婦人科

診療科紹介

氏名	卒業	専門
助教 小谷 美帆子 こたに みほこ	帝京大学 平成16年卒	産婦人科全般
助教 岡田 義之 おかだ よしゆき	産業医科大学 平成22年卒	内視鏡手術、骨盤臓器脱 産婦人科全般
助教 後藤 未奈子 ごとう みなこ	昭和大学 平成23年卒	周産期医学、超音波医学
助教 安井 理 やすい おさむ	高知大学 平成24年卒	周産期医学、超音波医学 臨床遺伝
助教 伊藤 龍也 いとう たつや	昭和大学 平成27年卒	周産期医学、超音波医学 胎児治療
助教 青山 茉莉香 あおやま まりか	昭和大学 平成29年卒	産婦人科全般
助教 小林 弘樹 こばやし ひろき	徳島大学 平成29年卒	産婦人科全般

氏名	卒業	専門
助教 駒瀬 奈央 こませ なお	秋田大学 平成29年卒	産婦人科全般
助教 合田 真優子 ごうだ まゆこ	佐賀大学 平成29年卒	産婦人科全般
助教 水谷 咲紀 みずたに さき	浜松医科大学 平成29年卒	産婦人科全般
助教 三浦 瑠衣子 みうら るいこ	昭和大学 平成30年卒	産婦人科全般
助教 山田 恵美 やまだ えみ	東京女子 医科大学 平成31年卒	産婦人科全般
助教 中崎 駿 なかざき しゅん	福島県立 医科大学 令和2年卒	産婦人科全般
助教 青木 加奈子 あおき かなこ	関西医科大学 令和3年卒	産婦人科全般

# 産婦人科

氏名	卒業	専門
助教 ふくしま 福島 かん た 莞太	東邦大学 令和3年卒	産婦人科全般
助教 しおざき 塩崎 な な 菜々	獨協医科大学 令和5年卒	産婦人科全般
助教 くまざわ 熊澤 けい ご 啓悟	昭和大学 令和5年卒	産婦人科全般

氏名	卒業	専門
助教 みねかわ 峯川 ゆ き 友希	昭和大学 令和5年卒	産婦人科全般
助教 はやし 林 けん た 謙太	東京医科大学 令和5年卒	産婦人科全般

## 主な診療実績等

2024年

手術数	良性開腹手術合計（帝王切開は除く）	53
	腹腔鏡下手術（含悪性）合計	185
	悪性腫瘍手術合計	60
	経腔的手術合計 （頸管縫縮術、流産手術は除く）	311
	子宮鏡下手術合計	55
	ロボット支援下子宮全摘術合計	55

（件）

周産期症例	分娩数（22週以降）	1065
	帝王切開	384
	吸引分娩	55
	鉗子分娩	22
	頸管縫縮術	29
	早産数	77
	流産手術	42

## 診療科長・教授



ふじ こうぞう  
富士 幸藏

卒業	昭和大学 昭和62年卒
専門	泌尿器一般
資格	日本専門医機構：泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会：指導医 日本排尿機能学会：排尿機能専門医

## 診療内容・特色

横浜市北部医療圏の基幹病院として尿路および男性生殖器の腫瘍や結石、排尿障害、感染症など泌尿器科疾患全般に対応しています。当院は地域がん診療拠点病院でもあり、腎、膀胱、前立腺をはじめとする泌尿器科悪性腫瘍(がん)の治療に関しては、手術療法と抗癌化学療法(従来抗がん剤や免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬)や放射線療法を組み合わせた集学的治療に積極的に取り組んでいます。

- 腎癌、腎盂・尿管癌に対する手術は腹腔鏡手術やロボット支援手術を中心に行っていますが、進行した症例に対する開腹手術にも対応しています。また、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬などによる化学療法も積極的に行っています。
- 膀胱癌に対しては経尿道的膀胱腫瘍切除術や膀胱全摘除術といった外科的治療と、膀胱内注入療法や全身化学療法などの内科的治療を病態によって行っています。
- 前立腺癌の治療は病状や御本人の希望を勘案してロボット支援前立腺全摘術、放射線療法、ホルモン療法を単独もしくは併用で行っています。密封小線源療法は昭和医科大学江東豊洲病院と連携して行っています。最近では治療関連合併症によるADLやQOLの低下を軽減させるため、厳重な経過観察のもと至適な開始時期まで治療を遅らせる監視療法も増えています。
- その他の泌尿器悪性腫瘍に対しても、手術、化学療法(抗がん剤)、放射線療法など幅広く対応しております。
- 尿路結石症や尿路感染症の救急診療にも対応しています。病状に応じて外来、入院での治療を行います。
- 排尿障害(前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱など)に対しても積極的に取り組んでいます。前立腺肥大症には経尿道的前立腺切除術、経尿道的前立腺核出術に加え、低侵襲手術である前立腺吊り上げ術などにも取り組み、患者の病態に応じた治療を行っています。
- 女性泌尿器疾患に対しては女性骨盤底センターと連携し診療を行っています。

## 主な対象疾患

- 腎細胞癌、腎盂・尿管・膀胱の尿路上皮癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌(手術、放射線療法、化学療法)
- 尿路・男性生殖器の炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、精巣上体炎)
- 排尿障害(前立腺肥大症、神経因性膀胱、過活動膀胱)
- 尿路結石症(腎結石、尿管結石、膀胱結石)
- 女性泌尿器疾患(尿失禁、間質性膀胱炎)
- 急性陰囊症(精索捻転症、精巣外傷)

# 泌尿器科

## スタッフ

准教授



さいとう かつゆき  
齋藤 克幸

卒業 昭和大学 平成13年卒

専門 泌尿器一般

講師



まつばら えいじ  
松原 英司

卒業 昭和大学 平成17年卒

専門 泌尿器一般

	氏名	卒業	専門
助教	こいずみ しんたろう 小泉 真太郎	昭和大学 平成27年卒	泌尿器一般
助教	みずぬま もゆる 水沼 萌	獨協医科大学 平成30年卒	泌尿器一般
助教	やすだ そう 安田 想	日本大学 平成31年卒	泌尿器一般

	氏名	卒業	専門
助教	もり しゅうじ 森 省二	信州大学 令和2年卒	泌尿器一般
助教	おの りょうたろう 小野 遼太郎	昭和大学 令和5年卒	泌尿器一般

泌尿器科

診療科紹介

## 主な診療実績等

主な手術症例数		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
悪性腫瘍	腎（尿管）悪性腫瘍	43	41	34	46	33
	腹腔鏡下根治的腎摘除術	15	7	14	16	8
	腹腔鏡下腎部分切除術	12	16	8	11	11
	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	8	10	8	18	7
	ロボット支援下腎悪性腫瘍手術					7
	開放腎・尿管悪性腫瘍手術	8	8	4	1	0
	膀胱悪性腫瘍	125	155	156	179	190
	経尿道的切除術	116	151	144	172	183
	開放膀胱全摘除術	8	2	10	6	6
	精巣／陰茎悪性腫瘍	8	6	12	9	7
	前立腺悪性腫瘍	22	16	24	48	71
	開放前立腺全摘除術	2	5	13	4	2
	ロボット支援下前立腺全摘除術				22	45
	精巣摘除術（去勢術）	20	11	6	7	6
良性疾患	前立腺肥大症	28	24	33	48	55
	経尿道的前立腺切除術	12	16	16	19	40
	経尿道的前立腺核出術	14	5	14	21	15
	レーザー蒸散術・前立腺吊り上げ術	2	3	3	8	0
	尿路結石症	42	38	51	24	46
	経尿道的腎・尿管結石碎石術	32	28	36	16	31
	経尿道的膀胱結石碎石術	10	10	15	8	15
	尿路通過障害	91	122	108	108	73
	経皮的腎瘻・膀胱瘻造設術	7	15	13	10	7
	経尿道的尿管ステント留置術	83	105	93	79	66
	尿管膀胱／尿管尿管吻合術など	1	2	2	0	0
	陰嚢疾患	17	5	9	12	12
	精索捻転手術・精索静脈瘤手術	3	1	3	4	2
陰嚢水腫・精液瘤根治術	14	4	6	8	10	
検査	経会陰の前立腺針生検	190	187	204	236	283
	尿管鏡検査	7	16	11	8	7

## 診療科長・教授



ふじさわ くにみ  
藤澤 邦見

卒業	昭和大学 昭和63年卒
専門	網膜硝子体、水晶体
資格	医学博士 日本眼科学会：日本眼科学会認定専門医 日本眼科学会：水晶体嚢拡張リングCTR認定医 日本眼科学会：水晶体再建術併用眼内ドレーンiStent認定医 日本網膜硝子体学会：光線力学療法PDT認定医 身体障害者福祉法指定医 神奈川県難病指定医 臨床研修指導医

## 診療内容・特色

2025年4月より、眼科指導医・専門医3名、専攻医4名の7名体制です。

当院では、白内障、緑内障、角膜、網膜硝子体、外傷、眼窩などの眼科全般を診療しています。

白内障手術は年間1,300件以上行っており、日帰り入院手術が選べます。術中波面収差測定装置ORAを導入しており、乱視用眼内レンズや多焦点レンズ挿入の際に使用しております。ORAがあることで、LASIK後の方の白内障手術など術後の目の度数の精度を高くできます。

網膜硝子体手術は年間300件程度行っています。糖尿病網膜症、網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜などの網膜硝子体疾患を、最新の設備で極小切開硝子体手術を行っております。

緑内障手術は、低侵襲緑内障手術(MIGS)から通常のトラベキュlectミー(線維柱帯切除術)、難治性緑内障にも対応できるインプラント手術も行っております。SLT(選択的レーザー線維柱帯形成術)やプリザーフロ® マイクロシャントも導入しております。

抗VEGF治療に関しまして、硝子体注射の件数は大幅に増加傾向であり、待機時間も長くなっております。このため、近医で開業の先生方と術後の診療等で連携していただき、治療を行わせていただきます。硝子体注射をご協力いただける施設があれば幸いです。当院では、日帰りまたは入院で対応しております。

眼瞼下垂や眼瞼内反症、斜視手術を行っております。

甲状腺眼症は遠藤准教授と大崎非常勤医師が月2回専門外来を行っております。

角膜の専門医は不在です。

涙道内視鏡は現在北部病院には常設しておりません。流涙に関して治療が必要な患者様は、旗の台や藤が丘病院と連携して治療を行います。

急性期疾患は随時受け入れておりますので、直接ご連絡いただければ幸いです。

当科での手術や入院加療などが終了され落ち着いた患者さんには、なるべく早期からご紹介いただいた眼科クリニック様と併診での御加療をお願いさせていただいております。

今後ともよろしくお願い致します。

## 主な対象疾患

白内障・緑内障・網膜剥離・糖尿病網膜症・黄斑円孔・網膜前膜・加齢性黄斑変性症・網膜中心静脈閉塞症・未熟児網膜症・眼瞼下垂・内反症・斜視など、眼科領域全般に対する疾患(手術等を含めた治療を実施)

## スタッフ

准教授



えん どう き み  
遠藤 貴美

講師



ぜん の まこと  
禅野 誠

卒業 昭和大 平成17年卒

専門 眼形成、涙道、甲状腺眼症

卒業 昭和大 平成17年卒

専門 網膜硝子体、水晶体

役職	氏名	卒業	専門
助教 おかべ 岡部	ほなみ 穂奈美	昭和大 平成31年卒	眼科一般
助教 いしだ 石田	わたる 航	昭和大 平成31年卒	眼科一般

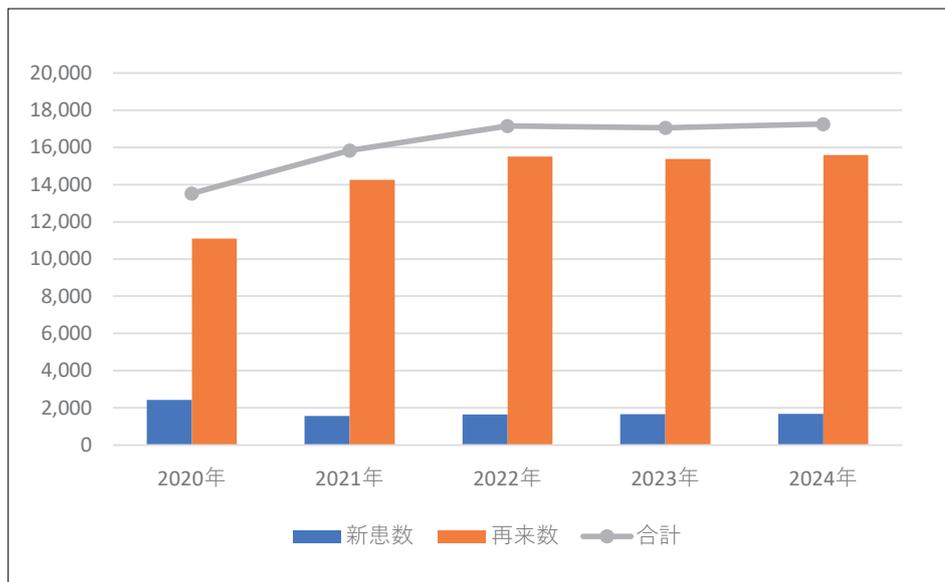
役職	氏名	卒業	専門
助教 すずき 鈴木	こうすけ 康介	東北大 令和3年卒	眼科一般
助教 きい 紀伊	けんたろう 健太郎	日本医科大学 令和4年卒	眼科一般

眼科

診療科紹介

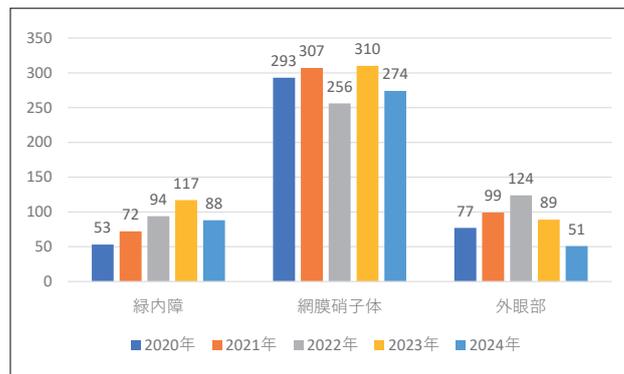
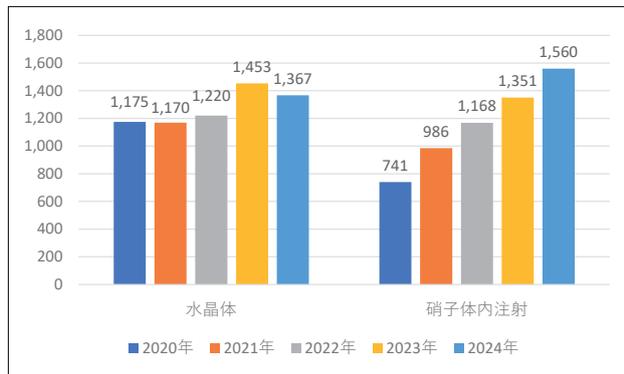
## 主な診療実績等

●患者数



患者数(人)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
新患者数	2,425	1,569	1,652	1,667	1,670
再来数	11,101	14,262	15,505	15,382	15,587
合計	13,526	15,831	17,157	17,049	17,257

## ●主な手術実績



## ●2024年 手術件数

### 内眼手術

疾患	術式	件数
白内障	PEA + IOL	1,367
	PECCE + IOL	10
	ICCE	1
	PECCE	
	PEA	
	IOL 摘出	2
	IOL 縫着術 (SSSまたは強膜内固定術)	10
	2nd IOL	
	後発白内障切開術	
	その他	
緑内障	周辺虹彩切除術	1
	線維柱帯切除術	10
	エキスプレス挿入術	1
	線維柱帯切開術	
	チューブシャント手術 その他緑内障手術	76
網膜硝子体	網膜剥離 (Bucklingのみ)	31
	眼内異物摘出術 網膜硝子体手術 (上記以外)	243
	硝子体注射	1,560
強角膜	強角膜縫合術	2
角膜	角膜移植術	
その他	その他内眼手術	

### 外眼手術

疾患	術式	件数
斜視	斜視手術	1
眼瞼	眼瞼下垂症手術	25
	眼瞼内反症手術	3
	眼瞼外反症手術	
	眼瞼形成術	
	眼瞼結膜腫瘍手術 重瞼術	8
眼球	眼球摘出術	
涙器	涙嚢鼻腔吻合術	
	涙小管縫合術	
	涙道内視鏡手術	
	その他涙器に関する手術	
眼表面	翼状片手術	14
眼窩	視神経管開放術	
	眼窩底骨折整復術	
	眼窩内側壁骨折整復術	
	眼窩内腫瘍摘出術 眼窩内異物摘出術	
その他	その他外眼手術	

### レーザー

術式	件数
網膜光凝固	658
周辺虹彩切開術	22
後発白内障切開	178
SLT	12
その他	

### 合計数

種別	件数
内眼手術	3,314
外眼手術	51
レーザー	870
総計	4,235

## 診療科長・准教授



の が き た け と し  
野 垣 岳 稔

卒業	昭和大学 平成14年卒
専門	耳疾患、鼻・副鼻腔疾患
資格	日本耳鼻咽喉科学会：耳鼻咽喉科専門医・耳鼻咽喉科専門研修指導医 15条指定医 難病医療費助成制度指定医 臨床研修指導医

## 診療内容・特色

当科の理念は、「耳鼻咽喉科疾患の治療のみならず疾病予防に努める」であり、病気の治療を行うと共に全ての受診患者さんに適切な生活指導を行っています。

主な診療分野は鼻副鼻腔疾患で、慢性副鼻腔炎に対しては血液検査、CT等で精査し重症度判定の後、マクロライド療法など薬物療法、内視鏡下鼻副鼻腔手術等で治療を行います。好酸球性副鼻腔炎の術後再発症例に対し生物学的製剤での治療も行っています。アレルギー性鼻炎に対しては従来の内服点鼻による薬物療法のほか、舌下免疫療法、レーザー治療を施行しています。鼻副鼻腔腫瘍に対しては可能な限り鼻内より内視鏡下手術を行っております。慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術は県下でも有数の件数となっております。

耳科領域では急性難聴に対しては、ステロイドホルモン剤を中心とした治療を行っています。単純鼓膜穿孔による難聴に対しては外来で鼓膜穿孔閉鎖術が可能です。慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎に対する鼓室形成術は、藤が丘病院と連携して治療を行っていましたが、体制が準備できたので、当院でも手術を開始しています。補聴器相談は補聴器専門外来での対応が可能です。また聴覚障害者認定を行っています。

頭頸部腫瘍は、良性の耳下腺・顎下腺腫瘍、甲状腺腫瘍、副甲状腺腺腫、頸部嚢胞には手術治療を行っています。悪性の口腔・舌癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌、唾液腺癌などは、昭和医科大学本院の頭頸部腫瘍センター、癌専門施設と連携して診療を行っております。

## 主な対象疾患

- 鼻副鼻腔領域：副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、肥厚性鼻炎、アレルギー性鼻炎、鼻副鼻腔腫瘍、嗅覚障害
- 耳科領域：急性感音難聴、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、顔面神経麻痺、めまい、補聴器外来
- 咽喉頭領域：扁桃炎、声帯ポリープ、喉頭腫瘍
- 頭頸部領域：頸部良性腫瘍、嚢胞性疾患、深頸部感染症
- 禁煙外来

# 耳鼻咽喉科

## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 うるま しょうへい 宇留間 周平	昭和大学 平成28年卒	耳鼻咽喉科全般
助教 なかすじ こうた 中筋 康太	昭和大学 平成29年卒	耳鼻咽喉科全般
助教 おおき あやめ 大氣 采女	昭和大学 平成30年卒	耳鼻咽喉科全般

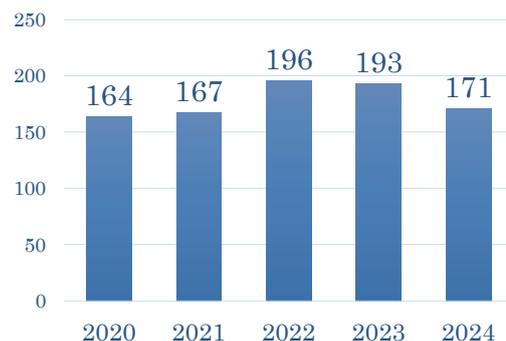
氏名	卒業	専門
助教 てぐち ゆうな 手口 裕奈	昭和大学 令和2年卒	耳鼻咽喉科全般
助教 なべやま あらた 鍋山 新	昭和大学 令和3年卒	耳鼻咽喉科全般
助教 のぞわ こうき 野澤 皓貴	昭和大学 令和4年卒	耳鼻咽喉科全般

## 主な診療実績等

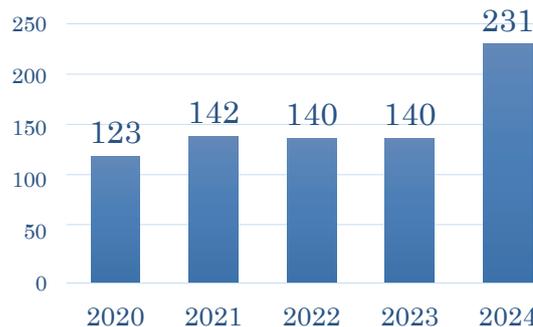
- 2024年度 手術実績 961件
- 2024年度 主な手術件数

内視鏡下鼻内副鼻腔手術	171
粘膜下下鼻甲介骨切除術	137
鼻中隔矯正術	118
喉頭微細手術	24
扁桃摘出	231
耳下腺腫瘍手術	20
顎下腺摘出術	4
鼓膜チューブ挿入	48

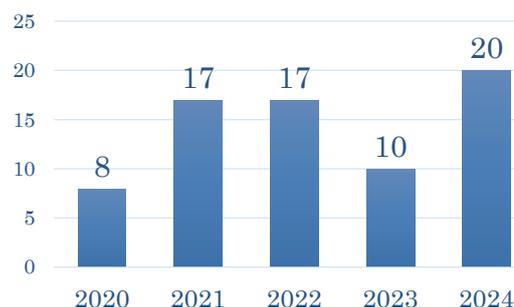
内視鏡下鼻副鼻腔手術



口蓋扁桃摘出術



耳下腺腫瘍手術



## 診療科長・教授



しだ けんじ  
信太 賢治

卒業	昭和大学 昭和61年卒
専門	麻酔全般、ペインクリニック
資格	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会：麻酔科指導医 日本医専門医機構：麻酔科専門医 日本ペインクリニック学会：ペインクリニック専門医 日本慢性疼痛学会：慢性疼痛専門医 日本顔面神経学会：顔面神経麻痺相談医

## 診療内容・特色

当院では年間約11,100件の手術があり、主要な手術のほとんどが行われています。そのうち麻酔科が管理する症例は年間約7,300件です。手術室外でもメンタルケアセンターでECT(電気痙攣療法)の麻酔を年間約670件行っています。また、2022年11月から産婦人科、新生児科と連携し無痛分娩を開始し、2024年度の無痛分娩件数は142件でした。

手術室に併設した周術期外来では歯科口腔外科、手術室看護師と連携し重症患者を中心に年間約1,500件の診察を行っています。

## 主な対象疾患

心臓血管外科、循環器内科、呼吸器外科、消化器外科、消化器内科、脳神経外科、一般外科、乳腺外科、甲状腺センター、小児外科、整形外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、女性骨盤底センター、耳鼻咽喉科、眼科、内科、精神科、歯科口腔外科など多岐にわたる科の手術

# 麻醉科

## スタッフ

准教授



はし もと めぐみ  
橋本 徳

卒業 岡山大学 平成5年卒

専門 麻醉全般

講師



さか もと あつ のり  
坂本 篤紀

卒業 昭和大 平成17年卒

専門 麻醉全般

講師



やま むら あや  
山村 彩

卒業 千葉大学 平成19年卒

専門 麻醉全般

講師



しゃく お とも はる  
釋尾 知春

卒業 昭和大 平成22年卒

専門 麻醉全般

麻醉科

診療科紹介

氏名	卒業	専門
助教 よしだ あい 吉田 愛	琉球大学 平成17年卒	麻醉全般
助教 たかはし けんいち 高橋 健一	川崎医科大学 平成23年卒	麻醉全般
助教 どうせい たくや 道姓 拓也	昭和大 平成23年卒	麻醉全般
助教 おおほし みどり 大橋 みどり	聖マリアンナ 医科大学 平成25年卒	麻醉全般
助教 そうだ ひろあき 荘田 博朗	昭和大 平成26年卒	麻醉全般
助教 つしま ゆきこ 津島 佑季子	香川大学 平成26年卒	麻醉全般
助教 おぐら あやこ 小倉 文子	東海大学 平成30年卒	麻醉全般
助教 まつど さくらこ 松土 桜子	昭和大 平成31年卒	麻醉全般

氏名	卒業	専門
助教 たにもと しゅうた 谷本 翔太	昭和大 平成31年卒	麻醉全般
助教 おの さえ 小野 沙恵	昭和大 平成31年卒	麻醉全般
助教 ひらい けん 平井 顕	昭和大 平成31年卒	麻醉全般
助教 もろとみ しんいちろう 諸富 進一郎	東京医科大学 平成31年卒	麻醉全般
助教 うめたに ゆみ 梅谷 侑未	東海大学 令和2年卒	麻醉全般
助教 ひらき れいな 平木 伶奈	東北大学 令和2年卒	麻醉全般
助教 はぎわら ありさ 萩原 有彩	昭和大 令和3年卒	麻醉全般
助教 ささき のぶひで 佐々木 信英	昭和大 令和3年卒	麻醉全般

氏名	卒業	専門
助教 ますなが 増永 <small>なごさ 渚</small>	獨協医科大学 令和4年卒	麻醉全般
助教 たがわ 田川 <small>りょう 遼</small>	昭和大学 令和4年卒	麻醉全般
助教 やまざき 山崎 <small>ゆう た ろう 雄太郎</small>	昭和大学 令和4年卒	麻醉全般
助教 たみもと 民本 <small>だい 大</small>	昭和大学 令和5年卒	麻醉全般

氏名	卒業	専門
助教 おおき 大氣 <small>みず き 水月</small>	昭和大学 令和5年卒	麻醉全般
助教 たん 唐 <small>アリス</small>	昭和大学 令和5年卒	麻醉全般
助教 こすぎ 小杉 <small>けん た ろう 健太郎</small>	昭和大学 令和5年卒	麻醉全般

## 主な診療実績等

2024年度

手術件数	11,148件（麻醉科管理 7,259件）
無痛分娩件数	142件
周術期外来患者数	1,515件

麻醉科

診療科紹介

# 歯科麻酔科

## 診療責任者・助教



なかざわ みどり  
中澤 碧

卒業	昭和大学 平成27年卒
専門	麻酔全般
資格	日本歯科麻酔学会：歯科麻酔専門医・歯科麻酔認定医

## 診療内容・特色

歯科麻酔科では、口腔外科の手術における麻酔(全身麻酔、静脈内鎮静法)や、一般の歯科医院では治療を受けることができない患者さんを対象に、日帰り全身麻酔下での歯科治療も行っています。

当院は大学病院として多くの専門診療科があり、そうした診療科とリアルタイムに情報を共有しながら治療を行うことが可能で、全身疾患のある患者さんでも安心して治療を受けていただけます。

## 主な対象患者

- 口腔外科の手術を受ける方
- 一般の歯科医院では治療を受けることができない方  
(例：歯科治療恐怖症、異常絞扼反射、全身疾患の合併など)

### 日帰り全身麻酔下歯科診療の対象となる方

- 知的能力障害、精神疾患のある方
- 重度の歯科治療恐怖症の方
- 重度の異常絞扼反射がある方 など

※小児の対応も可能です。口腔外科の手術、全身状態が悪い、独居の方などの場合は原則入院になります。

## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 しのはら 篠原 <small>あかね 茜</small>	昭和大学 平成27年卒	麻酔全般
助教 うぶかた 生方 <small>ゆうへい 雄平</small>	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般
助教 てしま 手嶋 <small>るり 留里</small>	昭和大学 平成31年卒	麻酔全般

氏名	卒業	専門
助教 まつむら 松村 <small>ただし 憲</small>	昭和大学 令和4年卒	麻酔全般
助教 わたなべ 渡部 <small>ゆりか 由理佳</small>	日本歯科大学 令和5年卒	麻酔全般

## 主な診療実績等

2024年度

全身麻酔（入院症例）	180件
全身麻酔（日帰り症例）	17件
静脈内鎮静法	360件

歯科麻酔科

診療科紹介

### ●日帰り全身麻酔下歯科診療の流れ

かかりつけ歯科医の先生方から当院を紹介（紹介先：病院歯科）



【昭和医科大学横浜市北部病院】

1日目（土曜日）

簡単な問診や口腔内診察、全身状態の確認、オルソパントモグラフィなどのレントゲン撮影を行います。  
「日帰り全身麻酔下歯科治療 前日・当日の流れ」を説明します。



2日目

全身麻酔に必要な検査（血液検査・心電図・胸部レントゲンなど）を受けていただきます。



3日目（土曜日）

①全身麻酔下歯科治療を行います。

②治療後1時間程度休んでいただき、麻酔から回復し次第退院となります。

③帰宅後、歯科麻酔科医より体調確認の電話をします。

※治療前日にも歯科麻酔科医より体調確認の電話をします。

※患者さんの口腔内の状態によって、日帰り全身麻酔下歯科治療を複数回行う場合があります。



当院での治療終了後、かかりつけ歯科医の先生方に逆紹介（メンテナンスのご協力をお願いしています）

# リハビリテーション科

## 診療科長・教授



よだ みつまさ  
依田 光正

卒業	昭和大学 平成3年卒
専門	摂食嚥下リハビリテーション、早期リハビリテーション、痙縮治療
資格	日本リハビリテーション医学会：リハビリテーション科専門医・認定医・指導医 日本内科学会：認定内科医 日本脳卒中学会：脳卒中専門医 身体障害者福祉法第15条指定医 義肢装具等適合判定医師 TNT 研修会受講終了

## 診療内容・特色

昭和医科大学リハビリテーション医学講座は患者の生命、健康、暮らしを支えることを目標としており、当院のリハビリテーションもその理念のもとに診療を行っております。当院は横浜市北部地域の急性期医療およびに専門的医療を担っており、地域の方により良い社会復帰していただけるように、専門医による指示・統括の下にアプローチを行っております。

当院では救急センターや集中治療室などまだ病状が不安定な時期である超急性期から積極的に機能訓練を開始するなど“早期リハビリテーション”に力を入れております。また、リハビリテーションは“チーム医療”が重要であり、多職種によるカンファレンスを定期的に行い、方向性を確認しながらリハビリテーションを進めております。また、栄養サポートチーム・褥瘡管理チームなどの多職種参加型横断的活動を重要視しており、特に摂食嚥下障害に関しては、当科医師が嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査などの評価後に、言語聴覚士・作業療法士による嚥下訓練、病棟看護師による摂食機能療法を行い、多職種からなる嚥下サポートチームがフォローする包括的なアプローチを行っております。

### 紹介医療機関の先生方へ

当科には入院病床がありませんが、入院でのリハビリテーションが必要な場合は昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院と連携しております。また、外来での機能療法は行っておらず、外来担当医表にも当科の枠はございませんが、当科の得意とする摂食嚥下障害に対する嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査などの嚥下機能検査や、脳卒中片麻痺による痙縮に対するボツリヌス療法は外来でも実施可能です。そのほかにもリハビリテーション科専門医にご質問・ご相談がございましたらお電話でお問い合わせいただければと思います。

## 主な対象患者

### ①脳血管疾患等リハビリテーション

脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患、脳腫瘍・脊髄損傷などの中枢神経疾患、多発性神経炎・多発性硬化症などの神経疾患、パーキンソン病・脊髄小脳変性症など慢性の神経筋疾患など

### ②運動器リハビリテーション

脊椎損傷、体幹・上・下肢の外傷・骨折、切断・離断、運動器の悪性腫瘍など

### ③呼吸器リハビリテーション

肺炎・無気肺など呼吸器疾患、肺腫瘍その他の呼吸器疾患手術後、慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息・間質性肺炎・肺結核後遺症などの慢性の呼吸器疾患、手術前後の呼吸機能訓練を要する患者など

### ④廃用症候群リハビリテーション

急性疾患等に伴う安静による廃用症候群

### ⑤がん患者リハビリテーション

入院中ががんの治療のための手術・化学療法・放射線治療・造血幹細胞移植が行われる患者、末期がんで在宅復帰を目的としている患者

### ⑥心大血管疾患リハビリテーション

急性心筋梗塞、狭心症、開心術後、慢性心不全、大血管疾患(大動脈解離、解離性大動脈瘤、大血管術後)、末梢動脈閉塞性疾患、経カテーテル大動脈弁置換術後など

また、当院にはメンタルケア病棟があり、精神科作業療法を行っています。

## スタッフ

常勤医師3名で診療にあたっています。また、当院のリハビリテーション室に所属する療法士は、理学療法士15名・作業療法士11名・言語聴覚士2名です。

氏名	卒業	専門	氏名	卒業	専門
助教 しばや たかこ 澁谷 貴子	昭和大学 平成31年卒	リハビリテーション医学 全般	助教 なかかわ ゆうた 中川 湧太	山形大学 令和4年卒	リハビリテーション医学 全般

## 主な診療実績等

2024年度の実績(各療法とも20分：1単位で行われています。)

理学療法	脳血管疾患等リハ	6,697単位/5,385人	運動器リハ	13,131単位/10,609人
	呼吸器リハ	10,329単位/8,593人	廃用症候群リハ料	6,387単位/5,543人
	がん患者リハ	4,431単位/4,997人	心大血管リハ料	3,760単位/2,989人
作業療法	脳血管疾患等リハ	5,559単位/8,028人	運動器リハ	2,293単位/2,749人
	呼吸器リハ	3,289単位/3,810人	廃用症候群リハ	8,457単位/11,517人
	がん患者リハ	1,438単位/1,631人	心大血管リハ料	542単位/658人
言語療法	脳血管疾患等リハ	1,580単位/2,025人	呼吸器リハ	753単位/893人
	廃用症候群リハ	385単位/485人	がん患者リハ	158単位/214人

機能療法は入院患者に特化しており、原則的に外来での機能療法は行っておりません。

## 診療責任者・講師



やす だ あり さ  
安田 有沙

卒業	昭和大学 平成19年卒
専門	口腔外科全般
資格	日本口腔外科学会：口腔外科専門医 スポーツデンティスト

## 診療内容・特色

**【口腔外科領域の診療を行っています】**当科では口腔周囲領域を中心とした疾患に対して診療を行っており、対象疾患は多岐に及びます。疾患によっては、歯科麻酔科と連携して入院管理や全身麻酔下での手術を行います。また、様々な基礎疾患のある患者さんに対しても、全身状態を考慮した適切な処置を行っております。さらに、当院で手術などを受ける周術期の患者さんで口腔に関連する症状が予想される場合は、手術前日から当科にて口腔内環境改善を目的とした診察を行います。

**【地域開業医との地域連携を大切に】**当科では、地域の先生方の多様な要請にこたえ、適切な診断・治療を提供したいと考えております。患者さんに安心・安全な医療を提供するため、医科歯科および地域連携を行いながら診察に努めてまいります。初診患者さんの診察は原則として完全予約制をとらせていただいております。ご紹介いただく際には、事前に当院地域連携室へご連絡いただき診療予約を行ってください。何かご相談などありましたら、いつでも当科へご連絡ください。

**【麻酔下での抜歯を行うことで患者さんの負担を軽減しています】**歯科治療に恐怖心のある患者さんや、侵襲の大きい深部埋伏抜歯や下顎管近接症例に関しては、患者さんごとの相談しながら、静脈内鎮静法や全身麻酔下での手術を実施しております。

**【入院患者さんの口腔ケアを行なっています】**他科での入院患者さんに対して周術期等口腔機能管理や口腔ケア、口腔内トラブルに対する応急的な対応を行っています。

## 主な対象患者

- 口腔外科的疾患
  - 歯・歯周疾患：周術期、入院中の患者さんの歯周病、外科治療の適応となった歯など。
  - 嚢胞性疾患：歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯原性角化嚢胞、粘液嚢胞など。
  - 腫瘍性疾患：エナメル上皮腫、軟組織良性・悪性腫瘍など。
  - 口腔粘膜疾患：白板症、口腔扁平苔癬、口腔カンジダ症など
  - 口腔感染症：顎骨の炎症、ヘルペス性口内炎など
  - 口腔外傷：口腔粘膜裂傷、歯の脱臼、顎骨骨折など
  - 顎関節疾患：顎関節症、顎関節脱臼など
  - 唾液腺疾患：唾石症、唾液腺炎、口腔乾燥症など
- 周術期等口腔機能管理、口腔ケアセンター  
全身麻酔管理下での患者さんの治療が安心・安全に施行されるように、医科の先生方や地域歯科医師会の先生方と連携しながら診療を行っています。また、放射線化学療法患者さんの口腔ケアや骨修飾薬使用前の口腔内環境の整備にも積極的に取り込んでいます。
- マタニティ歯科
- 障がい者歯科

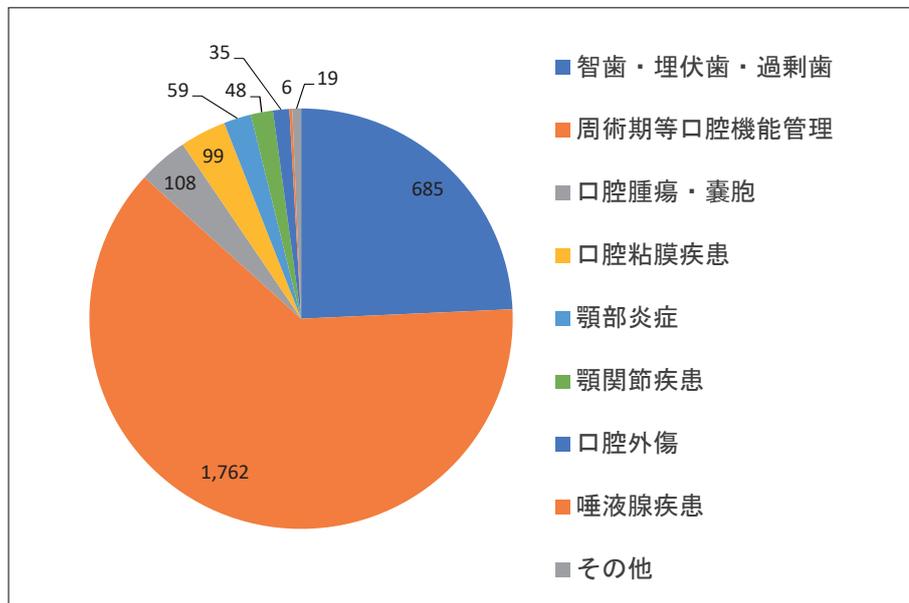
## スタッフ

氏名	卒業	専門
助教 あさくら 朝倉 まりこ 眞莉子	昭和大学 平成29年卒	口腔外科全般

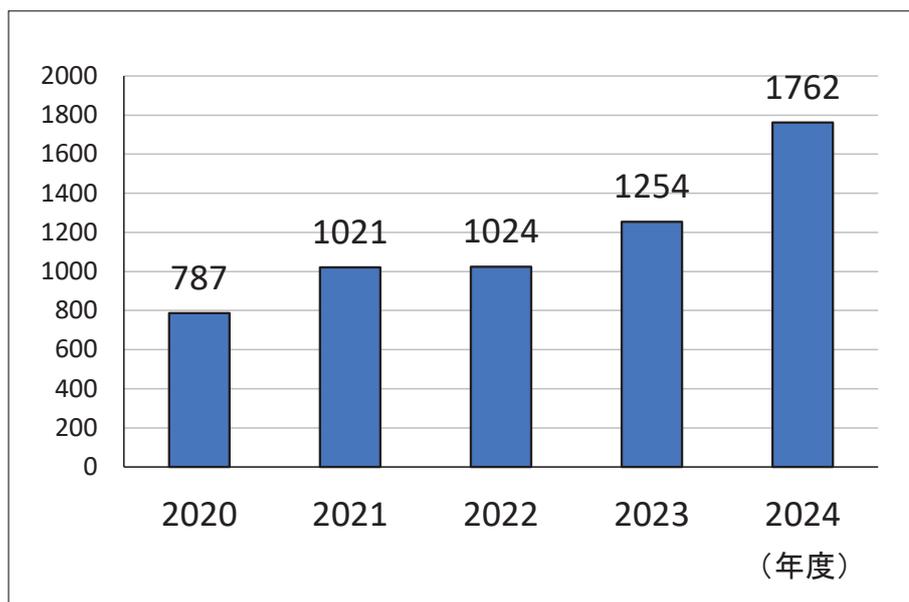
氏名	卒業	専門
助教 とば 戸羽 かずき 一綺	昭和大学 令和元年卒	口腔外科全般

## 主な診療実績等

### 1) 症例数の疾患別内訳



### 2) 年度別周術期等口腔機能管理症例数





# 診療・検査 の予約

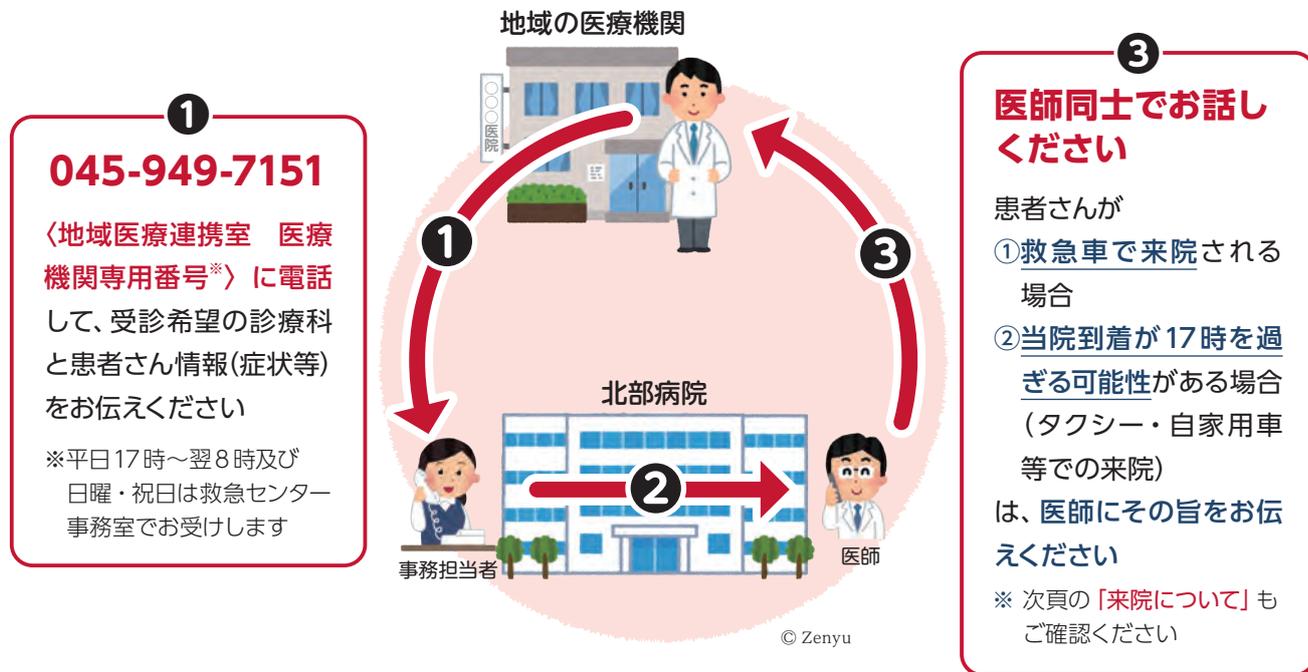
- 医療機関からの緊急受診 (Dr to Dr)  
緊急受診 (Dr to Dr) での来院
- 紹介患者の外来予約
- 医療機関からの検査予約／地域連携医療協力機関制度
- 診療情報提供書
  - CT 検査依頼書
  - MRI 検査依頼書
  - PET／CT 検査依頼書
  - 骨塩定量検査依頼書
  - シンチ検査依頼書

# 医療機関からの緊急受診 (Dr to Dr)

ドクター

ドクター

医療機関の皆様が患者さんを診察する中で、緊急に北部病院に紹介する必要がある場合は、下記のとおり、お電話でご連絡をお願いします。



②

## 事務担当者が医師におつなぎします

- ◆診療時間内(月～土曜日 8時30分～17時)  
各診療科の当番医師におつなぎします
- ◇診療時間外(上記以外の時間帯、日曜日・祝日)  
救急センターの医師におつなぎします

## 地域医療連携室〈医療機関専用電話 045-949-7151〉のご案内

(月曜日～土曜日 8時～17時、祝日・11月15日・年末年始を除く)

緊急受診(Dr to Dr)のほか、医療機関からつぎのようなお電話をお受けしています。

### ▶外来予約(医療機関からのご予約)…90ページ

※緩和ケア病棟 入院判定外来(入院前に受診が必要です)のご予約も承っております。  
詳しくは当院ホームページの「緩和ケア病棟入院判定外来」をご覧ください。

### ▶検査予約…91ページ

検査種類：CT、MRI、PET / CT、骨塩定量、シンチグラフィ

### ▶受診相談…外来受診に際して、配慮が必要な方(ストレッチャー移動、酸素投与など医療処置があるなど)のご相談は看護師におつなぎします。

### ▶その他、転院に関するお問い合わせ など

医療機関からの緊急受診  
(Dr to Dr)

診療・検査の予約

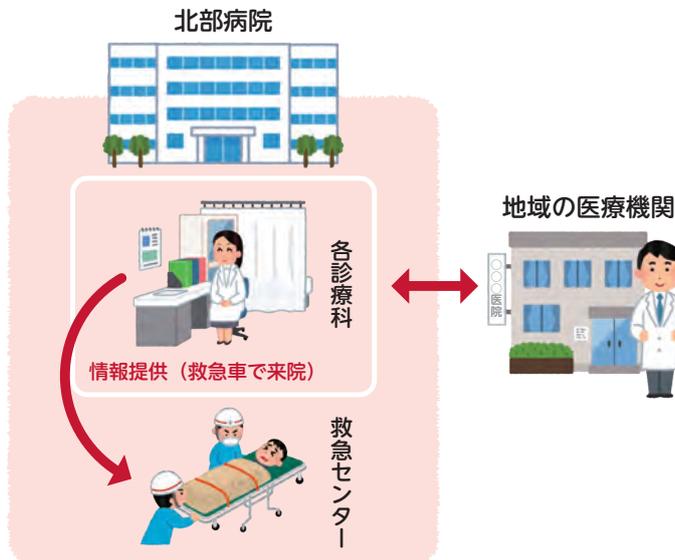
# 緊急受診 (Dr to Dr) での来院

## ① 患者さんが救急車で来院される場合



### ◆ 診療時間内 (月～土曜日 8時30分～17時)

Dr to Dr は各診療科の当番医師におつなぎします。



© Zenyu

▶ 救急車で来院される旨を各診療科の当番医師にお伝えください。

各診療科の当番医師から、救急車が到着する救急センターに搬送方法の情報提供をいたします。

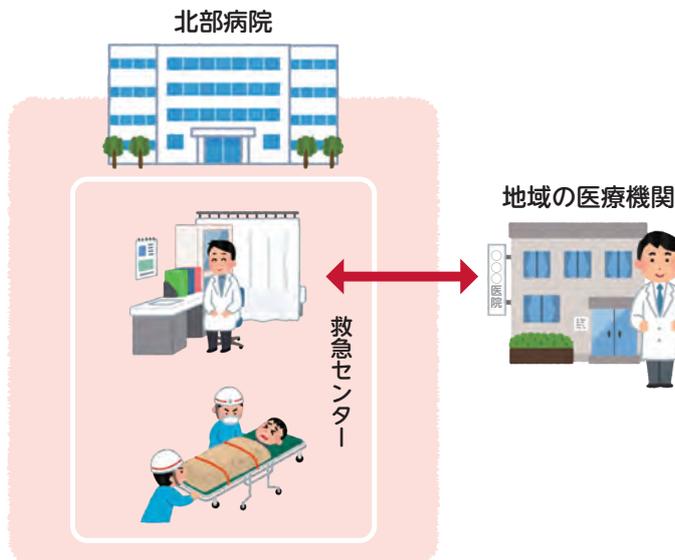
▶ 救急隊に「〇〇科の〇〇先生が了解しています」とお伝えください。

▶ 紹介状は、受入体制の都合上、救急センター宛てではなく各診療科宛てをお願いいたします。

### ◇ 診療時間外 (月～土曜日 17時～翌8時30分、日曜日・祝日)

すべての患者さんを原則救急センターで対応します。

Dr to Dr は救急センター医師におつなぎします。



© Zenyu

▶ 救急隊に「救急センターの〇〇先生が了解しています」とお伝えください。

▶ 紹介状は、救急センター宛をお願いいたします。

なお、目指す診療科が明瞭な場合にはその診療科宛でも構いません。

## ② 患者さんの当院到着が17時を過ぎる可能性がある場合 (タクシー・自家用車等での来院)



▶ 診療場所が救急センター外来になることがありますので、来院手段と到着見込み時間を各診療科の当番医師に伝えてください。

診療・検査の予約  
緊急受診 (Dr to Dr) での来院

# 紹介患者の外来予約

## 医療機関から予約する場合

### 北部病院〈地域医療連携室〉へ電話

**受付時間** 月曜日～土曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

**医療機関専用電話** **045-949-7151**

- 紹介状を患者さんにお渡しください。封筒に、当院名、診療科名、必要であれば医師名をご記入ください。
- 予約日時、受付場所、持参するものをご案内しますので、患者さんへお伝えください。
  - ▶ 初めて受診される方（診察券がない方）  
予約時間の30分前に、1階10番初診受付へ
  - ▶ 当院を受診したことがある方（診察券をお持ちの方）  
予約時間の15分前に、紹介された診療科の外来受付へ
  - ▶ 持参いただくもの：保険証、紹介状、お持ちの場合は診察券、お薬手帳 ほか
- 紹介状の事前送付にご協力をお願いいたします。

## 患者さんから予約する場合

### (1) 北部病院〈予約センター〉へ電話（またはFAX）で予約

**受付時間** 月曜日～金曜日：9時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

**患者専用電話** **045-949-7143**

**FAX** **045-949-7137**

### (2) WEB (PCやスマートフォン) で予約

**「北部病院 予約フォーム」**で検索してください。

- 紹介状を患者さんにお渡しください。封筒に、当院名、診療科名、必要であれば医師名をご記入ください。
- WEB予約またはFAX予約の場合、平日の15時までに受けた申込は、当日中にご回答いたします。土曜日や、日曜・祝日などの当院休診日に受けた申込は、次の外来診療日にご回答いたします（次の外来診療日が受付日となります）。  
当日及び受付日のご予約はお受けできません。
- 紹介状を受け取られましたら、なるべく早く受診するようお伝えください。  
受診までに期間（概ね6か月）が空いてしまうと、症状が変化して紹介状の内容と相違が出てしまい、紹介状をお持ちの患者さんとしての対応ができない場合があります。

## 医療機関からの検査予約

**検査種類** CT、MRI、PET/CT、骨塩定量、シンチ

**北部病院〈地域医療連携室〉へ電話**

**受付時間** 月曜日～土曜日：8時～17時（祝日、11月15日、年末年始を除く）

**医療機関専用電話** **045-949-7151**

**FAX** **045-949-7137**

- 検査種類ごとの検査依頼書を北部病院へFAX送信してください。
- 北部病院から必要書類（検査によって同意書、問診票等）を医療機関へFAX送信しますので、患者さんにお渡しください。
- 患者さんに、案内された受付場所へ、保険証、紹介状、（診察券）、検査によって同意書、問診票などを持参して来院するようお伝えください。

## 地域連携医療協力機関制度（ご案内）

地域の医療機関と昭和医科大学横浜市北部病院とが相互に緊密な連携を図り、患者さんに最適な質の高い医療を提供することを目的に、「地域連携医療協力機関制度」を導入しています。

当院は本制度について、都筑区・青葉区・港北区・緑区・川崎市宮前区の各医師会と協定を締結しており、これらの区の医師会員で本制度の趣旨に賛同する医療機関の皆様には、各区医師会と協定を締結していただきます。

ご登録いただいた医療機関には「地域連携医療協力機関登録証」をお送りし、当院のホームページで「地域連携医療協力機関」としてご紹介させていただきます。また、各医療機関で受入可能な診療内容（登録時に照会します）を院内で共有して逆紹介に活用するなど、積極的な連携を図ります。

お問い合わせ先：地域医療連携室 **045-949-7151**

# 診療情報提供書(CT検査依頼書)

昭和医科大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症			
フリガナ		HBs 抗原 ( + - 未 )			
患者氏名 :		HCV 抗体 ( + - 未 )			
生年月日 :		血清梅毒反応 ( RPR TPLA )			
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA ( + - 未 )			
性別 男・女	身長 cm	体重 kg	HIV抗原・抗体 ( + - 未 )		
			その他 ( )		
依頼医療機関名 :		出力方法			
TEL( - - )		CD-ROM ・ フィルム			
依頼医師 :					
【医療機関記入欄】					
検査予定日:		年	月	日	午前・午後 時 分
臨床診断(病名)					
(病名は日本語で適切に記載願います)					
臨床経過／検査対象病名／検査目的					
ヨード造影剤副作用歴:(有, 無)		喘息:(有, 無) (小児喘息含む)		糖尿病薬:(+, -)	
薬剤アレルギー:(有, 無)		妊娠:(+, -)		(+)の場合薬剤名( )	
<p>※副作用歴、喘息(小児喘息含む)のある患者さんは単純検査となります。                  ※ビグアナイド系糖尿病薬を服用している患者さんは、検査日の2日前(検査当日は含まない)から検査日の2日後(検査当日は含まない)まで休薬してください。 ※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。                  ※造影剤使用時は検査前に3時間程度の食止めを行う必要があります。</p>					
検査の部位を○で囲んで選択してください。					
脳	眼窩	胸部	胸部～上腹部	頸髄	ミギ上肢(部位: )
下垂体	副鼻腔	上腹部	胸部・上腹・骨盤	胸髄	ヒダリ上肢(部位: )
頸部	中耳半軸位	骨盤	上腹部～骨盤	腰髄	ミギ下肢(部位: )
冠動脈					ヒダリ下肢(部位: )
禁忌チェック	心臓ペースメーカー:(有, 無) 除細動器:(有, 無) ※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入された患者さんは必ずペースメーカーや除細動手帳を持参いただき、当院のルールに従い検査を行わせていただきます。(除細動器挿入患者は除細動器部分の撮影はできないため、スキップします。)ただし手帳を忘れた場合は全例において該当部分はスキップします。				
造影 (下記を○で囲んで選択してください。)			血清クレアチニン mg/dl		
有り		無し		(採血日: 年 月 日)	
「有り」を選択した場合はCT又はMRIの「検査及び造影剤の説明と同意書」に準じて患者様の同意を得て下さい。 ※臨床診断、検査目的から放射線科医が造影検査を不必要と判断した場合は、単純検査とさせていただきます。			クレアチニンが未記入、または採血日から半年以上経過している場合、造影剤は使用せず単純検査となります。		

# 診療情報提供書 (MRI検査依頼書)

昭和医科大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症			
フリガナ		HBs 抗原 ( + - 未 )			
患者氏名 :		HCV 抗体 ( + - 未 )			
生年月日 :		血清梅毒反応 ( RPR TPLA )			
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA ( + - 未 )			
性別 男・女 身長 cm 体重 kg		HIV抗原・抗体 ( + - 未 )			
依頼医療機関名 :		その他 ( )			
TEL ( - - )		出力方法			
依頼医師 :		CD-ROM ・ フィルム			
【医療機関記入欄】					
検査予定日:		年	月	日	午前・午後 時 分
臨床診断(病名)					
(病名は日本語で適切に記載願います)					
臨床経過／検査対象病名／検査目的					
ガドリニウム造影剤副作用歴:(有, 無) 喘息:(有, 無) 閉所恐怖症:(有, 無)					
(小児喘息含む)					
薬剤アレルギー:(有, 無) 妊娠:(+, -)					
※副作用歴、喘息(小児喘息含む)のある方患者さんは単純検査となります。					
※閉所恐怖症のある方は検査を行えない場合があります。※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。					
※腹部と骨盤部の検査は、検査前から3時間程度の食止めを行って下さい。					
検査の部位を○で囲んで選択してください。					
脳	顎関節	胸部	脳血管	頸髄	ミギ上肢(部位: )
下垂体	頸部	乳房	頸部血管	胸髄	ヒダリ上肢(部位: )
聴器	副鼻腔	上腹部	胸部血管	腰髄	ミギ下肢(部位: )
眼窩	骨盤	MRCP	上腹部血管	股関節	ヒダリ下肢(部位: )
			骨盤部血管		
禁忌チェック		心臓ペースメーカー:(有, 無) 除細動器:(有, 無) 人工内耳:(有, 無)			
		ステント:(有, 無) 非磁性体と確認できない脳動脈瘤止血クリップ:(有, 無)			
		シャントバルブ:(有, 無) その他( )			
		※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入されている患者さんの検査は受け入れておりません。			
造影 (下記を○で囲んで選択してください。)			血清クレアチニン mg/dl		
有り 無し			(採血日: 年 月 日)		
「有り」を選択した場合はCT又はMRIの「検査及び造影剤の説明と同意書」に準じて患者様の同意を得て下さい。			クレアチニンが未記入、または採血日から半年以上経過している場合、造影剤は使用せず単純検査となります。		
※臨床診断、検査目的から放射線科医が造影検査を不必要と判断した場合は、単純検査とさせていただきます。					

# 診療情報提供書 (PET/CT検査依頼書)

昭和医科大学横浜市北部病院

北部病院 ID :		感染症	
フリガナ		HBs 抗原	( + - 未 )
患者氏名 :		HCV 抗体	( + - 未 )
生年月日 :		血清梅毒反応	( RPR TPLA )
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA	( + - 未 )
性別 男・女	身長 cm 体重 kg	HIV抗原・抗体	( + - 未 )
		その他	( )
依頼医療機関名 :		空腹時血糖値	
TEL( - - )			
依頼医師 :		mg/dl	
検査予定日: 年 月 日		午前・午後 時 分	
薬剤アレルギー(有 無) 閉所恐怖症(有 無) 30分制止(可 不可) 妊娠(+ -) ※介助が必要な患者さんに対するPET/CT検査は受け入れておりません。 ※閉所恐怖症の患者さんは検査を行えない場合があります。 ※妊娠またはその可能性がある患者さんの検査は受け入れておりません。 心臓ペースメーカー(有 無) 除細動器(有 無) ※心臓ペースメーカー、除細動器を挿入された患者さんは、PETのみの検査になります。			
臨床診断(病名)			
(下記保険適応項目に該当しない場合、保険診療として取扱うことができませんので、適切な病名を日本語で記載願います)			
臨床経過/検査目的(※病理診断結果、腫瘍マーカー値、画像診断検査等を併せてご記載願います)			

予約取得者 :

(1) 保険適用に関する注意事項

【悪性腫瘍】

●早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む全ての悪性疾患	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発が確定できない患者(確定診断がついていることが必要です。)
----------------------------	---

【悪性腫瘍以外の疾患】

●てんかん	難治性部分てんかんで外科的切除が必要とされる患者
●虚血性心疾患	虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリティ診断が必要とされる患者(ただし、通常的心筋シンチグラフィで判定困難な場合に限定する。)
●心サルコイドーシス	心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者

(2) 保険適用を判断するポイント

- 腫瘍マーカー高値のみでは不十分です。
- 「疑い」病名では適応になりません。

(3) 保険適用とならない事例

- ヘビースモーカー、肺気腫があり、肺癌ができていないかスクリーニング目的でのPET依頼
- 腫瘍マーカーCEAの上昇を指摘され、胸腹部CTを行うも腫瘍性病変を発見できずPET依頼
- 悪性リンパ腫の化学療法後、定期的フォローアップの目的によるPET依頼 など

## 診療情報提供書(骨塩定量検査依頼書)

昭和医科大学横浜市北部病院

北部病院 ID:		感染症	
フリガナ		HBs 抗原	( + - 未 )
患者氏名 :		HCV 抗体	( + - 未 )
生年月日 :		血清梅毒反応	( RPR TPLA )
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA	( + - 未 )
性別 男・女		HIV抗原・抗体	( + - 未 )
身長	cm	体重	kg
その他		( )	
依頼医療機関名 :		出力方法	
TEL( - - )		測定結果用紙 ・ CD-ROM	
依頼医師 :			
【医療機関記入欄】			
検査予定日:		年 月 日	午前・午後 時 分
臨床診断(病名)			
(病名は日本語で適切に記載願います)			
臨床経過／検査対象病名／検査目的			
妊娠:( + , - )			
※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。			
検査の部位を○で囲んで選択してください。			
腰椎(L2~L4)前後		ヒダリ大腿骨頭	ヒダリ橈骨遠位端
その他( )			
体内金属 有( 腰椎 ・ 股関節 ・ 前腕 ) ・ 無			
※検査部位に金属や残存した造影剤がある場合、検査結果は参考値となります。			
※ヒダリ大腿骨頭、ヒダリ橈骨遠位端に金属がある場合は対側で検査を行います。			
※両側に金属がある場合、左側で検査を行います。ただし、検査結果は参考値となります。			

# 診療情報提供書(シンチ検査依頼書)

昭和医科大学横浜市北部病院

北部病院 ID :		感染症	
フリガナ		HBs 抗原	( + - 未 )
患者氏名 :		HCV 抗体	( + - 未 )
生年月日 :		血清梅毒反応	( RPR TPLA )
(明・大・昭・平・令) 年 月 日		MRSA	( + - 未 )
		HIV抗原・抗体	( + - 未 )
		その他	( )
性別 男・女	身長 cm 体重 kg		
依頼医療機関名 :		出力方法	
TEL( - - )		CD-ROM ・ フィルム	
依頼医師 :			
<b>【医療機関記入欄】</b>			
検査予定日:		年 月 日	午前・午後 時 分
臨床診断(病名)			
(病名は日本語で適切に記載願います)			
臨床経過／検査対象病名／検査目的			
薬剤アレルギー:(有, 無) 妊娠:(+, -)			
※妊娠の可能性のある患者さんは検査を行えない場合があります。			
検査の部位を○で囲んで選択してください。			
骨シンチグラム		ガリウムシンチ	
脳血流シンチ (ECD)		脳血流シンチ (IMP)	ドパミン輸送体シンチ
その他 ( )			
乳幼児がいる女性:(+, -, ) 授乳中:(+, -, )			

## 2025年 診療科ガイド

発行：令和7年5月31日

発行者：昭和医科大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

編集：地域医療連携室

印刷：株式会社 野毛印刷社